



# 大学演習林年報

第37号

< 2022 >

---

---

## 目 次

大学演習林年報第37号の発刊にあたって .....	会長 久保田 耕平
1. 演習林の最近の話題 .....	1
2. 令和3年度研究業績 .....	17
3. 演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 .....	65
4. 令和4年度春季理事会	
(1) 理事会日程、議題等 .....	81
(2) 令和3年度決算及び令和4年度予算 .....	82
5. 令和4年度秋季総会	
(1) 秋季各種委員会・技術職員連絡会議・理事会日程 .....	87
(2) 総会日程、議題等 .....	88
6. 公開森林実習の報告 .....	95
7. 全国大学演習林協議会規約 .....	103
8. 森林管理技術賞授与規定 .....	105
9. 公開森林実習運営委員会内規 .....	107
10. 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則 .....	108
11. 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ .....	109
12. 会員名簿 .....	110

---

---

令和5年3月

全国大学演習林協議会

# 大学演習林年報

第37号

< 2022 >

---

---

## 目 次

大学演習林年報第37号の発刊にあたって .....	会長 久保田 耕平
1. 演習林の最近の話題 .....	1
2. 令和3年度研究業績 .....	17
3. 演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 .....	65
4. 令和4年度春季理事会	
(1) 理事会日程、議題等 .....	81
(2) 令和3年度決算及び令和4年度予算 .....	82
5. 令和4年度秋季総会	
(1) 秋季各種委員会・技術職員連絡会議・理事会日程 .....	87
(2) 総会日程、議題等 .....	88
6. 公開森林実習の報告 .....	95
7. 全国大学演習林協議会規約 .....	103
8. 森林管理技術賞授与規定 .....	105
9. 公開森林実習運営委員会内規 .....	107
10. 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則 .....	108
11. 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ .....	109
12. 会員名簿 .....	110

---

---

令和5年3月

全国大学演習林協議会

## 大学演習林年報 37 号の発刊にあたって

日頃より、全国演習林協議会（以下、全演協）の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。2022 年度は新型コロナウイルスの感染防止に配慮しつつ、手探りの状態で対面講義、野外の実習、調査などの活動を行う年となりました。

全演協の活動として、春の理事会、各種委員会等は昨年までと同様、オンライン会議・メール等を活用して実施されました。一方、秋の理事会・各種委員会・総会は、つくば国際会議場にてハイブリット方式で実施することができました。翌日のエクスカージョンでは、名所である筑波山の自然や植生を堪能でき、皆さんとともにフィールドに行くことの喜びを改めて実感できました。秋の理事会・総会、エクスカージョンについては、とくに筑波大学の教職員の皆様に準備から運営まで、多大なるご協力を頂きました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

総会では、文部科学省高等教育局専門教育課の奥井さまに、大学設置基準の改正、令和 4 年度教育関係共同利用拠点の認定についてご説明をいただき、質疑応答を通じて理解を深めることができました。

今年度の森林管理技術賞については、特別功労賞 3 名、技術貢献賞 2 名、学術貢献賞 3 名、若手奨励賞 4 名の表彰が行われました。ハイブリットとならでは、オンサイトとオンライン会場での授賞セレモニーの後、受賞者からコメントを頂く形となりました。受賞者のスピーチはいずれも素晴らしく、演習林の技術職員にとって今後の目標・励みになったことと思います。

教育関係共同利用拠点については、これまで、北海道大学、岩手大学、新潟大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、京都大学、宮崎大学、鹿児島大学の 9 大学が認定されていること、筑波大学が 3 期目の再認定を受けたことが報告されました。コロナの影響が残る中、こうした実績を支えるために、各大学がさまざまな形で受け入れ数を増やすための努力をされていることが認識できました。

公開森林実習については、昨年度まではコロナの影響で中止やオンラインでの実施が多かったのに対し、今年度については実習の件数が大幅に伸び、参加者数も増えたことが報告されました。また、宇都宮大学が協定に加わる方向で準備中であることが報告・承認されました。

共同研究については、5 課題の実施状況が報告されました。また、新規 1 課題が筑波大学から提案・了承されました。全演協のネットワークをうまく生かした共同研究がさらに盛り上がり、成果が上がることを期待したいと考えています。

報告事項として、北海道大学の柴田先生からデジタル森林教育コンテンツの紹介がありました。これまで各大学でそれぞれに取り組んできた動画やオンライン素材をウェブ公開していただく予定となっています。この取り組みについては、北海道大学の柴田先生をはじめ

めとして、京都大学の教職員の皆さまのご尽力をいただいたとのことで、今後の演習林の魅力をさらに高めていくヒントがたくさん詰まっていると思われま

総会では、ハイブリット方式の効果もあって、報告事項・承合事項についても活発な意見交換が行われました。また、その他の報告では、演習林に風力発電など再生可能エネルギーの場として期待されているが、生態系への影響が懸念されるという事例が報告され、今後の新しい検討事項として考えていく必要があるという認識を得ることができました。

各大学のトピックス・研究業績については、年報 37 号の中で紹介しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。なお、今年度から年報の発行形式が変更となり、主要な部分についてはウェブ公開することとなりました。全演協の活動をより幅広く PR できるのではないかと期待しています。

最後になりましたが、文部科学省高等教育局専門教育課の奥井さまほか関係各位、演習林が所属する各大学、農学部・大学院農学系の教職員の皆さま、地元関係者の皆さまに、大学演習林の活動に対して、引き続き、ご支援・ご指導をお願い申し上げます。

以上をもちまして、「大学演習林年報 37 号」の発刊に当たってのご挨拶といたします。

2023 年 1 月 全国大学演習林協議会 久保田耕平

## <演習林の最近の話題>

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	3
宇都宮大学農学部附属演習林	5
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	6
三重大学大学院生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター 附帯施設演習林	7
京都大学フィールド科学教育研究センター	8
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	9
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	10
愛媛大学農学部附属演習林	11
高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	12
九州大学農学部附属演習林	13
鹿児島大学農学部附属演習林	15

## 『ブナ林ピック』を7年ぶりに開催しました

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター  
流域保全部門長 菊池 俊一

著しい豊凶性を持つブナ。山形県では今年の実りはどうだったのでしょうか。2022年7月15日に山形県環境科学研究センターが発表した豊凶予測では県内14箇所の調査地点のうちの半数の7地点で並作、5地点が豊作、2地点が凶作となっていました。そして10月21日に発表された東北森林管理局の結実結果では今秋は並作（豊凶指数3.1）であったと報告されました。当林のブナ林でも実が着いている個体が多いように見え、凶作が続いていたここ数年間とは様子が違うなあと感じられたシーズンでした。

これを背景に森林文化都市研究会（当方もメンバー）と鶴岡市は、『第2回ブナ林ピック』を2022年11月13日に開催しました。同研究会は森林散策イベントである『つるおか森の時間』を鶴岡市とともに企画・運営しています。市民に森で過ごす楽しさを知ってもらい、森林や森林地域についての理解を深めることを目的に年に3~4回実施されているイベントです。当林でもこれまでに何度も開催され、市民に演習林を知ってもらう機会となってきました。『第2回ブナ林ピック』はその『特別編』として実施されました。

『ブナ林ピック』とは何か。それは、ブナの実の種皮を手で器用に剥いて、食べられる部分（胚乳）を取り出すアクティビティーのことです。ブナの豊凶について精力的に研究を展開されていた故小山浩正氏（山形大学農学部教授、2016年3月逝去）が提唱し、豊作であった2015年10月に第1回大会が開催されました。並作となった今年はその第2回大会として7年振りに開催しました。開催できるかどうかはブナの実りに左右されますから、本当のオリンピックみたいです。

第2回大会は3部構成としました。第1部はブナの木に関するミニレクチャーを当方が担当しました。第2部はブナ林ピックの競技会です。制限時間15分間にどれだけ多くのブナの実が剥けるかを参加者が競うものです。勝敗は重さで競います。第1回大会で記録されたワールドレコードは16.57gでした。この記録突破が目標となります。そして第3部はブナの実を使った料理作り体験でした。ブナの実を使った新しい料理を市内のプロの料理人に創作してもらい、実技指導をしてもらいながら調理しました。

当日は親子数組による20数名に大会参加をいただきました。実は鶴岡市のみならず県内各地からかなり多くの申込みが寄せられていましたが、会場の収容人数の関係から抽選で人数を絞らざるを得ず、残念でした。その一方、このようなイベントへの市民の関心の高さをうかがい知ることができました。さて、ブナ林ピック競技ではワールドレコードは破られたのか、新記録は出たのか。はい、新記録が出てかなりの盛り上がりとなりました！新記録は18.19g!! 15分間でおおよそ110個の実を剥いての記録となりました。競技中は参加者の皆さんの手元、手の動きを観察していましたが、優勝者はかなりの手際の良さでした。お疲れ様でした。

プロの料理人考案のメニューは『ブナの実とカラトリ芋のニョッキ』でした。在来作物のカラトリ芋や地物の小麦、米粉にブナの実をすりつぶして混ぜてニョッキをつくり、ブナに生える天然キノコのクリームソースをかけたものでした。子どもたちは先ほど観察したブナの実の形を模したニョッキを作っていました。仕上げにカラトリ芋を揚げたチップスを載せ、料理は完成しました。この時季のブナ林を歩いた時の落ち葉のカサカサ具合がチップスで表現されていました。ブナの実が入ったニョッキは「火の通ったブナの実は香りがさらに香ばしくなる」との感想が多くの方から寄せられました。また、香り高い天然キノコの入ったクリームソースは大人好みかと思いましたが、子どもたちも「美味しい！」を連発しながらたくさん食べてくれました。美味し

かったね。ご馳走様でした。

ブナ林ピックという誰でもトライできる競技を通じて知る地元の森のこと。ブナの実や地域の食材を使った世界のどこにもない創作料理を通じて知る地元の豊かさ。第2回ブナ林ピックは、森林文化都市を標榜し、さらにユネスコ食文化創造都市でもある鶴岡らしい森林環境教育の機会となったと思います。当演習林は、今回はブナの実の採集への協力にとどまりましたが、『ブナ林ピック』のような独自の仕掛けを介して地域社会と森、さらには地域社会と科学をつなぐ取り組みを展開していきたいと思います。

次の『ブナ林ピック』はいつ、とはまだいえませんが、皮剥き競技の新記録に、ブナの実を使った新たな創作料理に次回もどうぞご期待、です。

PS 第2回ブナ林ピックの様子を収めた動画を後日公開する予定です。



写真1 ブナ林ピック『皮剥き競技』の様子



写真2 ブナの実を使った料理作り体験の様子

## 宇都宮大学

### 宇都宮大学農学部附属演習林と栃木県立林業大学校（仮称）の連携等

#### 宇都宮大学農学部附属演習林

栃木県立林業大学校（仮称）の令和 5 年度設置に伴い宇都宮大学農学部附属演習林船生演習林の一部を栃木県林業大学校（仮称）の実習地の一部として使用する計画が進んでおります。

このため本学農学部と栃木県との協定締結にむけて協議が進んでおり令和 5 年 3 月に締結予定となっております。

また、栃木県が設置を計画している砂防堰堤用地の一部に船生演習林が掛かっておりそのための用地買収手続きが進んでおります。許可が下り次第対象地の伐採、関連設備の移設等を行う計画です。砂防堰堤は、令和 8 年 3 月に完成予定となっており、設置工事中には砂防工学実習の一部として見学等をさせて頂く予定です。

さらに、船生演習林では宇都宮大学内のサークル等の利用も進めており野鳥見学や演習林フィールドを利用したボランティア等にも利用計画（一部実施）が進んでおります。

今後は日本野鳥の会による野鳥見学等の利用に繋がりたいと野鳥見学サークルと船生演習林内に生息する野鳥の確認等を行っていく予定です。



## 信州大学農学部附属演習林における 2022 年のトピック

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

### 教育共同利用

2022 年は新型コロナウイルスが依然として収束しない状況であったが、「AFC 利用における感染拡大防止対策」を徹底し、学生宿舎の利用を一部制限する等した上で学外の教育利用、研究利用の受け入れを行った。2022 年度は 11 月末現在で、京都大学、山形大学、慶應義塾大学、筑波大学、横浜国立大学、岐阜森林文化アカデミー等が西駒ステーション、手良沢山ステーション、野辺山ステーションにて教育利用を行った。

### 公開森林実習

公開森林実習は予定していた 5 つのプログラムをすべて開講した。受講者には抗原検査キットを郵送し、陰性であることを確認した上で実習に参加していただいた。

### 生産事業

国有林が素材生産請負事業の入札開始時期を早めたこと等の理由により、間伐事業の請負業者の確保に苦勞している。そのような背景のもと、96 年生高齢ヒノキ林分では直営作業による定性間伐と林業専用道の開設を行っている。直営作業と連動して各種研究と教育プログラムの受け入れを行い、演習林の生産事業と教育研究利用の両立を目指している。

### 木材販売

昨年度はウッドショックによる木材価格の高騰により、2,300 万円の高収入を得たが、木材価格が落ち着きを取り戻した本年度の木材販売収入は例年並みに戻りそうな気配である。



96 年生ヒノキ林における直営による林業専用道の開設と定性間伐

## 最近の話題

三重大学大学院生物資源学研究科  
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林

新型コロナウイルス新規感染者数等の収束が見込まれない状況が続き、殆どの実習が通常計画どおり実施できず、延期された実習や、1回あたり参加者を縮小したうえでの日帰り分散開催、一部オンライン等の代替措置などの対応に追われた。フィールドサイエンスセンターでは演習林の他、農場、水産実験所、さらに練習船などへの実習も多く、新型コロナウイルス感染症対応で大学ないし各部局で定められた乗車定員制限のため必要台数が増加し、バスの確保（車両・予算等）も課題となった。宿泊実習について、第5波と第6波の間に1人1部屋1泊で実施した。2021年度に演習林からバイオマス利用に向けて出荷された未利用材は19.48tとなった。林内のナラ枯れ被害は2021年度に49本確認され、依然継続しており防除対策を継続している。



オンラインでの実習の様子



未利用バイオマス出荷の様子

## 上賀茂試験地で公開森林実習 III ー森林・里山の生態系サービスを学ぶーを実施

京都大学フィールド科学教育研究センター

京都大学上賀茂試験地では、人と自然のつながりを学ぶ森林フィールドの教育関係共同利用拠点として、全国の大学生への共同利用実習科目提供を拡充するため、2020年度より公開森林実習 IIIー森林・里山の生態系サービスを学ぶーを新たに開講しました。上賀茂試験地の設置当初の目標は、外国産樹種の導入による樹木見本園の造成であり、外国からマツ属を始めとする多くの樹種が集められました。1970年代以降は、マツ枯れ被害の増大に伴い、マツノザイセンチュウの研究や被害の抑制に関する研究や、マツ属の生育に関する研究を中心に行われました。近年はマツの生育調査等が終了した林班が多くなり、そこを新しい教育や研究に活用することとなり、その一つの取り組みがこの公開森林実習 III です。

公開森林実習 III では、里山がエネルギーや食糧の供給場所として日本人の生活を支えてきた重要な生態系の一つであること、またその生態系サービスに関する学術的知見を体験的に学び、学生が自らの責任で里山整備の計画を立案し実行する能力を醸成することを目標にしています。さらに今後 10 年、20 年と里山の整備を継続することを念頭に置き、学生と共に中・長期的に活動が継続するような整備の計画を作っています。

2020年度は 5 月から 6 月の期間に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて 10 月に変更しました。2021 年度から本格実施となり、同時に大学コンソーシアム京都の提供科目となったことで、京都市内の大学生が受講し単位を取得可能となり、京都工業繊維大学、同志社大学、京都先端科学大学など多くの他大学学生が参加しています。実習は 10 月から 12 月にかけて、週末に 5 回程度上賀茂試験地に集まり講義と実習を行います。担当教員による里山の歴史や生態系についての講義のほか、植物分類実習や、バイオマス測定実習、また技術職員の補助を受けながら炭作り、薪づくり、椎茸栽培、草木染めなど、里山の恵みを体験したり、アカマツ林の整備や、コナラ二次林の整備の方法を学んだりします。

実習に参加した学生が、実習終了後にも上賀茂で里山の整備活動をしたいと希望しており、今後は実習に参加した OB・OG たちが実習の終了後も活動が継続できる仕組みを作り、活動を広げてくことを予定しています。



写真 1：里山エリアでの整備作業



写真 2：炭窯の点火の様子を見学

## 鳥取大学教育研究林の近況

鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

鳥取大学では、新型コロナウイルスの影響で延期した実習もあったが、宿泊者数を制限する、食堂の机の上にアクリル板を設置する、体温測定など基本的な感染対策を徹底するといった対策を行ったうえで実習が実施できるようになった。また、老朽化した重機の更新に加え、立ち遅れていた演習林施設のネットワーク環境について整備が開始された。とくに、これまで脆弱だった無線 LAN 環境は大きく改善した。この結果、実習に参加する学生全員が支障なくタブレット端末などを使用できるようになり、実習における学習環境が向上した。生産活動では、ウッドショックの影響で収益が大きく向上した。



島根大学

## 島根大学農林業就業希望者支援リカレント教育プログラム

島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

令和3年度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター（演習林および農場）から申請していた「島根大学農林業就業希望者支援リカレント教育プログラム」が採択されました。令和4年9月から令和5年2月までの事業期間で、島根県内で農林業への新規就業を希望する者を対象とし、島根労働局、島根県、島根県立農林大学校など県内諸機関と連携しながら、農林業に就業できるよう支援します。具体的にはコロナ禍により普及したオンライン講義システムを活用し、農林業に必要な知識と技術をオンデマンド講義とともにオンデマンド実習を通して提供する予定です。とくにスマート農林業についての講義実習を取り入れることで農林業DXに関心のある受講生の要望に応えたいと思います。

現在50名をこえる受講生がオンライン授業サイトに登録され、動画視聴を通して農林業就業の基礎を学んでおられます。11月12日（土）には、秋晴れの中、鳥取県日原郡日南町の木材団地、伐採現場、新植地、苗木生産工場を見学してきました（写真1）。

本プログラムの受講生は随時受付中ということで、今後もさらに受講生が増えることが期待されます。



写真1. 日南町内の若齢林分の様子

## 大径木の伐採

愛媛大学農学部附属演習林

当演習林にはセンペルセコイア(*Sequoia sempervirens (Lamb.) Endl.*)が植栽されており、大きいものは胸高直径が100 cmを超え、樹高は約45mになります。センペルセコイアは北米大陸西岸を原産とする樹木で、山火事に対する耐性が強いことが知られています。

この度、「なぜ山火事に強いのか?」「樹皮と木質部の構造はどうなっているのか?」という疑問と、「大きな木を伐倒してみたい!」という気持ちから、センペルセコイアを伐採することになりました。

当演習林内に生えているセンペルセコイアは大小さまざまですが、今回はその中でも大きめの胸高直径85cm、樹高37mの樹を選びました。技術職員は普段の伐採ではせいぜい直径40 cm程の樹しか伐らないので、この度の伐倒は大きなチャレンジになります。林野庁編集の立木幹材積表を参考に試算して、幹重量7~8tという想定のもと、伐倒からその後の処理の方法まで細かく打合せしました。

チェーンソーは既存のSTIHL088、ガイドバーとソーチェーンはこの日のために105 cmのものを用意しました。伐倒の際には、グラップルに付属しているウインチで牽引して伐倒方向を規制して、安全に、確実に作業をおこないました。

作業開始から2時間。準備のかいもあり、センペルセコイアは無事に林道沿いに倒れました。木が倒れてからは教員と学生たちが樹皮や円盤などのサンプルを採取します。円盤採取は5.5tグラップルと3.5tショベルで伐倒木を操りながらの大仕事となりました。2日間にわたる作業の末、無事にサンプリングを終えることができました。

サンプリングの結果、センペルセコイアの樹齢は約50年、下部の樹皮は厚さが5 cmもあるのに対し、上部の樹皮はそれほど厚いものではないということがわかりました。その他の結果はこれからわかってくるはずです。

## 高知大学演習林の近況

高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター森林生産環境部門

関係教職員について、本年4月から、演習林に関わる教員として新しく、動物生態学を専門とする富田幹次助教が赴任した。農林海洋科学部が、令和4年度から農林水産業のDS/DX（デジタルサイエンス/デジタルトランスフォーメーション）関連の教育を強化するために改組することに伴い、学部として新規採用した4名の助教のうちの1名で、森林科学と演習林に関する教育研究を担当していただくこととなっている。このDS/DX教育強化関連の経費により、講義や実習で使用するための地上LiDAR機器や複数台の実習用ドローンなども購入できた。学部共通の講義や実習に加え、演習林関係の実習でもこれらを活用していく予定である。

本学演習林で長年勤務され管理運営業務に多大な貢献をされてきた今安清光フィールド室長が、森林管理技術賞特別功労賞を受賞された。関係教職員一同にも今年度随一の朗報であった。今年度で退職されるため、一部不明瞭であった林班・小林班界の明確化や資源管理情報や施業計画情報など、年度内に必要な引継ぎ業務を関係教職員により実施している。

令和2年度から引き続いていっているコロナ禍の下での実習に関しては、令和4年度の1学期においては感染状況も比較的落ち着いていたため、十分な感染対策を施したうえで演習林宿舎における宿泊を伴う実習も実施することができた（写真1）。令和2年度、3年度と開催を中止した公開森林実習（中四国農学系7大学のフィールド演習と併催）については、今年度は開催する予定で準備を進めていたが、8月上中旬に高知県の感染状況が再び悪化したことから、残念ながら今年度も中止という判断を下すこととなった。準備の過程で議論された実習内容の見直しなどは、来年度以降の実習に反映する。なお、中四国農学系7大学のフィールド演習に関する隔年実施の会議は、今年度は久しぶりに対面で幹事校である広島大学に置いて開催され、情報交換も行いつつ、連携実習を継続することの効果と意義に加えて、関係者が定期的に対面で集まることの意義も改めて確認され、いったんは不定期開催が提案されていた対面会議も継続されることとなった。

秋以降の学内学生向けの演習林を利用した実習については、全演協秋季総会に備えた近況報告の原稿を執筆した8月下旬時点では見通しは不明であったが、9月中旬の測量関係の実習はここ2年間と同様に宿泊なしで行うため演習林でなく学部キャンパス内での実施となったものの、9月末の3年生最後の育林実習および10月中旬の2年生最初の育林実習ともに、宿泊を伴うかたちで演習林を使用して実施することができた（写真2）。関係各位にこの場を借りてお礼申し上げる。

（森林生産環境部門長 鈴木保志）



写真1 春の育林実習（西団地にて植林）



写真2 秋の育林実習（宿舎にて用具取扱）

## 100周年を迎えて～九州大学農学部附属演習林福岡演習林百周年記念事業

九州大学農学部附属演習林  
福岡演習林長 菱 拓雄

九州大学附属演習林福岡演習林は1922年10月に設立され、今年で百周年を迎えた。これに際して、福岡演習林では百周年記念事業として福岡演習林の一般市民への施設開放、篠栗九大の森見学会、福岡演習林を利用した研究成果の発表会を開催するとともに、総長および理事、学部長、所在地域の町長、教育や管理運営に携わる地元協力者を招いての百周年記念式典を執り行った。式典後、記念講演会を開催し、九州大学の長期研究施設を代表する福岡演習林を代表して菱が福岡演習林の百周年のあゆみとこれからについて、また久山町ヘルスC&Cセンター・センター長、清原裕九州大学名誉教授を招いて、久山町研究と久山町の疾病対策事業－60年の軌跡と成果－と題して、久山町で行われた長期に渡る久山町の疫病対策事業とこれに関わる長期研究の歴史と重要性についてご講演いただいた。大学と自治体による長期の研究事業が、強い覚悟と信頼関係によって維持されてきたことを知り、大学における実学研究が一般市民や地元民の応援あってこそ続くのだということが実感できた。私からは、福岡演習林の百年を振り返り、福岡演習林が無軌道に現在の姿になったわけではなく、過去の人為的、自然的災厄や、地元との軋轢や協力、これに対して学生の教育のために先人が行ってきた努力があって現在があること、これを踏まえて進むべき方向はどのようにすべきかについて考える機会となった。

1922年に九州大学の林学科が設立された当初、九州大学は南朝鮮、樺太、北朝鮮、台湾演習林と海外に4万ヘクタールの演習林を財産として有していた。これらは林学の教育施設としてはあまりに遠く、箱崎のキャンパスに近い森林の現場教育施設がもとめられた。そこで九州大学の林学学生が現場で林業の勉強をするために篠栗町、勢門村（現篠栗町）と久原村（現久山町）に設置されたのが福岡演習林である。1923年には初めての実習、森林経理測樹実習がおこなわれ、以来百年間学生の実習を続けてきた。つまり、福岡演習林は設立の当初から森林を学ぶ学生の教育を目的とした施設として設立され、その役割は100年間変わっていない。しかし果たす役割は変わらずとも教育に含まれるコンテンツや思想は100年の間に大きく様変わりしている。また、森林の様子も大きく変貌を遂げてきた。

福岡演習林の設立の当初は、わずかに古い二次林を残すのみのアカマツを主体とする二次林がほとんどで、他にも火災跡の二次林や萱原、利用の激しい二次林、成績不良の造林地などで構成され、状態の良い森林は殆ど見られなかったようである。さらに、第二次世界大戦の末期、終戦後十年ほどの間は木材需要が急増し、計画を遥かに上回る伐採が行われた。戦後10年までで伐採された木材は、福岡演習林が設立から現在まで伐採した木材の積算量の7割にのぼる。また、この頃マツ枯れ被害が拡大したため、マツを中心とした林相を持つ当演習林はひとたまりもなく、被害が大きい年には年間伐採量の3倍ものマツが老齢大径木を中心に枯損した。また1956年の雪害、台風被害は年間伐採量の5年分ほどに当たる4千㎡の材積に被害が出たため、当時の経営計画案を破棄し、臨時の経営案を立てる必要に迫られた。このように、戦中、戦後においては経営計画に沿った林地施業は殆どできなかった。こうして荒れ果てた林地の回復をするために、林業の育種試験を核とする総合開発研究や事務所構内の樹木園などを含む総合試験施設地区の造成などに取り組み続けてきた。こうして現在まで、なんとか必死に林地回復に努めているが、当初の乱伐とその回復の施業の位置や記録の情報が混乱したままであり、現在もなお現地調査、空撮、地理情報などを統合して、正確な森林情報の提供ができるように整備を続けている。

1980年代後半になると、九大演習林は、林学のための林業経営の場から、より多様な学術研究



や科学的要請に応えるための大型野外実験施設として再定義された。さらに 1990 年代には福岡演習林は都市近郊林として位置づけられ、地域社会との連携や市民教育の強化なども進められた。特に 1990 年代に入ると、国際的にも、また国内の大学生、一般市民の間でも環境問題や気候変動の進行や、これを緩和しうる森林生態系の役割が注目されるようになった。国際的には生物多様性条約や、気候変動枠組条約が採択され、日本でも種の保存法や環境基本法が公布された時期である。現実に国際的な環境対策への取り組みや研究が求められるなか、福岡演習林は 2003 年に重要生態系監視地域モニタリング推進事業モニタリングサイト 1000 へ加入し、また、長期の国内外とのネットワーク研究を推進する日本長期生態学研究ネットワーク (JaLTER) に 2006 年から加入している。また、国際的なネットワーク研究だけでなく、地域固有の文化的な森林利用への貢献として、檜皮生産を行う 100 年生ヒノキ林、木材生産を行うクスノキ林が文化庁ふるさと文化財の森として登録されている。

福岡演習林では、2005 年から毎年、地元との協議会を開催している。九州大学演習林は独自の取り組みとして地元との協議会を通じた良好な地域連携を実現している。協議会は九大と地元自治体、教育関係者、消防・警察等の公的機関や地元住民で構成され、演習林を活用した地元連携や社会連携について協議する場である。社会教育では、周辺地域の初等、中等教育施設を対象とした森林・環境教育に取り組んでいる。また、福岡県教育センターと共催で公開講座を開催し、初等・中等教育を担う教職員を対象とした環境教育の実践を通して、児童生徒に還元できる研修を提供している。これらの社会教育における取り組みについても、福岡演習林協議会で常に地元住民と共有し、よりよい方法を模索している。また、地域連携の目玉として、2010 年に福岡演習林の林地を篠栗町と共同管理し、一般市民に開放する初の試みである篠栗九大の森のオープンが挙げられる。市民の憩いの場、散策路として開放し、オープン当初は年間 2 万人強だったが、ラクウショウが水面から生える姿が SNS で人気を呼び、一時期は 13 万人を超えた。コロナ禍もあり、現在は 6 万人ほどに落ち着いている。多くの人に愛されている一方で、過剰な人気による地元住民の困惑もあるため、地元自治体、住民、公的機関関係者と篠栗九大の森で生じる問題について話し合う篠栗九大の森協議会を開催している。

九州大学の学生の教材とするための林地づくりの努力も続けられている。例えば、分子生物学的手法に基づいた新しい植物の分類体系に沿って、植物進化を学習するための進化果木区や、亜熱帯、宮崎演習林がある九州山岳の中間温帯、北海道演習林の冷温帯林など様々な気候帯の樹木の展示や、さまざまな森林に関わる資料を集めた「かすや資料館」の整備などである。一方で、自分を含めて九州大学や我々演習林スタッフが、森林や環境の現在の課題として取り組んでいる研究の現場で何がおこっているのか、という進行する研究への展示に関して不足していることが課題であると感じた。現場の科学を実践する場としての演習林は、地元の抱えている課題の解決を示すことでそうした展示に繋がるのではないかと感じられる。百年前と今では、置かれている状況は大きく異なっているが、現場で生じた問題に取り組み、答えを見つけ、これを教育の材料とする取り組みは、昔も今も同じかもしれない。



1926年(大正15年)9月実習学生

## 鹿児島大学

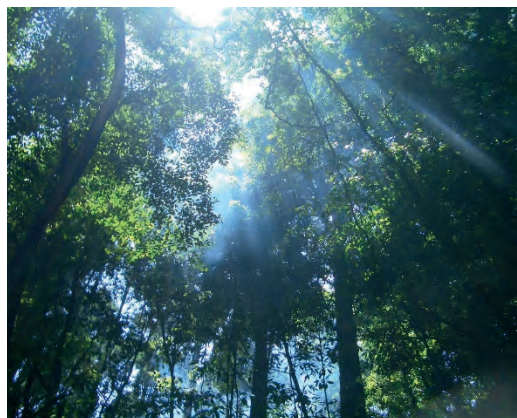
### 農学部附属高隈演習林が SGEC 森林認証(国際相互認証)を取得しました

鹿児島大学農学部附属演習林

鹿児島大学農学部附属高隈演習林(3,068ha)は、世界最大規模の PEFC 森林認証制度相互認証プログラム(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes)に加盟する日本国内の認証制度である SGEC(Sustainable Green Ecosystem Council)認証を取得しました。

2021 年度の学内予算を活用して本格的に取組みを開始しました。森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて審査される「森林管理(FM: Forest Management)認証」取得に向けて9月から申請準備に着手し、森林管理基準を明確化する「高隈演習林 SGEC 森林管理計画」、森林生態系を保全するための「生物多様性管理指針」、樹木の伐採前後の状態変化をモニタリングする体制などを順次整え、森林経営における体制強化を行いました。そして、2022年2月に実施された SGEC による現地審査において認証基準を満たしたとして、2022年4月1日付で国内の大学演習林としては宇都宮大学、信州大学、宮崎大学に次いで4例目となる SGEC 森林認証を取得することができました。

今後は、高隈演習林周辺地域の林業分野や森林環境に関わる多くの人たちと関わりながら、この仕組みを積極的に活用していきたいと思っています。今回の認証取得を機に、高隈演習林の森林資源、動植物の存在を見つめ直すとともに、各種モニタリングにも注力していきたいと考えており、学生実習においても森林認証林の管理について教育する場として一層の利用を図っていききたいと思っています。



## <令和3年度研究業績>

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	19
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	26
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	26
山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	28
宇都宮大学農学部附属演習林	29
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	29
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	30
東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	35
筑波大学山岳科学センター	36
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	38
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	41
日本大学生物資源科学部演習林	41
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	41
名古屋大学大学院生命農学研究科附属 フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド	42
岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	44
三重大学大学院生物資源学研究科附属 紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター 附帯施設演習林	44
京都大学フィールド科学教育研究センター	46
京都府立大学生命環境学部附属演習林	53
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	55
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	55
愛媛大学農学部附属演習林	56
高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	56
九州大学農学部附属演習林	57
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター 田野フィールド	62
鹿児島大学農学部附属演習林	63
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	63

演習林を利用した研究業績及び演習林教職員の研究業績  
2021年度 (2021年4月～2022年3月)

北海道大学

北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション

- Amit Kumar BATAR, Hideaki SHIBATA, Teiji WATANABE: A Novel Approach for Forest Fragmentation Susceptibility Mapping and Assessment; A Case Study from the Indian Himalayan Region. *Remote Sensing* 13(20): 4090, <https://doi.org/10.3390/rs13204090>, (2021), ヒマラヤ地域
- Athanasios RAGKOS, Kentaro HAYASHI, João SERRA, Hideaki SHIBATA, Efstratios MICHALIS, Sadao EGUCHI, Azusa OITA, Claudia Marques-dos-Santos CORDOVIL: Contrasting Considerations among Agricultural Stakeholders in Japan on Sustainable Nitrogen Management. *Sustainability*, 13(9): 4866, <https://doi.org/10.3390/su13094866>, (2021), 日本全域
- Aye Myat Myat PAING, Shufen CHEN, Yoshihiko TSUMURA, Nobuhiro TOMARU, Kousuke HOMMA, Masahiko KADOMATSU, Toshiya YOSHIDA, Hajime KOBAYASHI, Atsuhiko IIO, Katsuhiko OSUMI, Haruhiko TANEDA, Yoko HISAMOTO, Susumu GOTO: Determination of intraspecific variation in seed weight, leaf functional traits, and sapling size of *Betula ermanii* using a common garden experiment. *Journal of Forest Research*, 26(6): 419-426, <https://doi.org/10.1080/13416979.2021.1964151>, (2021), 名寄林木育種試験地
- Chisato TERADA, Tetsukazu YAHARA, Arika KUROIWA, Takashi SAITOH: Spatial genetic structure of the sika deer (*Cervus nippon*) population on Yakushima; Significant genetic differentiation on a small island. *Mammal Study*, 46(3): 225-235, <https://doi.org/10.3106/ms2020-0088>, (2021), 屋久島
- Christoph WOHLNER, Thomas OHNEMUS, Steffen ZACHARIAS, Hannes MOLLENHAUER, Erle C. ELLIS, Hermann KLUG, Hideaki SHIBATA, Michael MIRTTL: Assessing the biogeographical and socio-ecological representativeness of the ILTER site network. *Ecological Indicators*, 127: 107785, <https://doi.org/10.1016/j.ecolind.2021.107785>, (2021), 世界各地
- Evgenios AGATHOKLEOUS, Mitsutoshi KITAO, Cong SHI, Noboru MASUI, Shahenda ABU-ELELA, Kyohsuke HIKINO, Fuyuki SATOH, Takayoshi KOIKE: Ethylenediurea (EDU) spray effects on willows (*Salix sachalinensis* F. Schmid) grown in ambient or ozone-enriched air; Implications for renewable biomass production. *Journal of Forestry Research*, 33: 397-422, <https://doi.org/10.1007/s11676-021-01400-1>, (2021), 札幌研究林
- Hideaki SHIBATA, Ryosuke BAN, Nanae HIRANO, Sadao EGUCHI, Shin-Ichiro MISHIMA, Masaaki CHIWA, Naoyuki YAMASHITA: Comparison of spatial and temporal changes in riverine nitrate concentration from terrestrial basins to the sea between the 1980s and the 2000s in Japan; Impact of recent demographic shifts. *Environmental Pollution*, 288: 117695, <https://doi.org/10.1016/j.envpol.2021.117695>, (2021), 日本全域
- HINO Takafumi, Yuri KANNO, Shin ABE, Tetsuto ABE, Tsutomu ENOKI, Toshihide HIRAO, Tsutomu HIURA, Kazuhiko HOSHIZAKI, Hideyuki IDA, Ken ISHIDA, Masayuki MAKI, Takashi MASAKI, Shoji NAOE, Mahoko NOGUCHI, Tatsuya OTANI, Takanori SATO, Michinori SAKIMOTO, Hitoshi SAKIO, Masahiro TAKAGI, Atsushi TAKASHIMA, Naoko TOKUCHI, Shunsuke UTSUMI, Amane HIDAKA, Masahiro NAKAMURA: Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan. *Ecological Research*, 36(3): 562-572, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12215>, (2021), 雨龍研究林
- Hiroki MIZUMOTO, Osamu KISHIDA, Kotaro TAKAI, Naru MATSUURA, Hitoshi ARAKI: Utilizing environmental DNA for wide-range distributions of reproductive area of an invasive terrestrial toad in Ishikari river basin in Japan. *Biological Invasions*, 24: 1199-1211, <https://doi.org/10.1007/s10530-021-02709-y>, (2021), 苫小牧研究林
- Hiroshi UNO, Mizushi YOKOI, Keitaro FUKUSHIMA, Yoichiro KANNO, Osamu KISHIDA, Wataru MAMIYA, Rei SAKAI, Shunsuke UTSUMI: Spatially variable hydrological and biological processes shape diverse post-flood aquatic communities. *Freshwater Biology*, 67(3): 549-563, <https://doi.org/10.1111/fwb.13862>, (2022), 雨龍研究林
- Hisanori OKAMIYA, Masataka TAGAMI, Michael CROSSLAND, Osamu KISHIDA: Are toxic effects of alien species affected by their prey? Evaluation by bioassay with captive-bred toad embryos and a vulnerable predator. *Hydrobiologia*, 848(19): 4445-4452, <https://doi.org/10.1007/s10750-021-04650-6>, (2021), 苫小牧研究林
- Hisanori OKAMIYA, Osamu KISHIDA: Proximate stimuli; An overlooked driving force for risk-induced trait responses affecting interactions in aquatic ecosystems. *Population Ecology*, 64(3): 205-213, <https://doi.org/10.1002/1438-390X.12115>, (2022), 苫小牧研究林
- Hisanori OKAMIYA, Ryohei SUGIME, Chiharu FURUSAWA, Yoshihiro INOUE, Osamu KISHIDA:

- Paedomorphosis in the Ezo salamander (*Hynobius retardatus*) rediscovered after almost 90 years. *Zoological Letters*, 7: 14, <https://doi.org/10.1186/s40851-021-00183-x>, (2021), 苫小牧研究林
- Hisanori OKAMIYA, Yoshihiro INOUE, Kotaro TAKAI, Michael R. CROSSLAND, Osamu KISHIDA: Native frogs (*Rana pirica*) do not respond adaptively to alien toads (*Bufo japonicus formosus*) 100 years after introduction. *Ecological Research*, 36(6): 1005-1014, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12259>, (2021), 苫小牧研究林
- James S. SANTANGELO, Rob W. NESS, Beata COHAN, Yoshino ANDO, Shunsuke UTSUMI, et al.: Global urban environmental change drives adaptation in white clover. *Science*, 75(6586): 1275-1281, <https://www.science.org/doi/10.1126/science.abk0989>, (2022), 札幌研究林, 札幌市近郊
- Jun UETAKE, Denis SAMYN, Simon ANGUMA, Nozomu TAKEUCHI: Spatial Distribution of Unique Biological Communities and Their Control Over Surface Reflectivity of the Stanley Glacier, Uganda. *Frontiers in Earth Science*, 10: 740998, <https://doi.org/10.3389/feart.2022.740998>, (2022), ルウェンゾリ山地, ウガンダ
- Jun UETAKE, Yutaka TOBO, Satoshi KOBAYASHI, Keisuke TANAKA, Satoru WATANABE, Paul J. DeMOTT, Sonia M. KREIDENWEIS: Visualization of the seasonal shift of a variety of airborne pollens in western Tokyo. *Science of The Total Environment*, 788: 147623, <https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2021.147623>, (2021), 東京都立川市
- Junko SHINDO, Azusa OITA, Kentaro HAYASHI, Hideaki SHIBATA: Comparison of food supply system in China and Japan based on food nitrogen footprints estimated by a top-down method. *Environmental Research Letters*, 16(4): 45003, <https://doi.org/10.1088/1748-9326/abcd5b>, (2021), 日本及び中国全域
- Karibu FUKUZAWA, Ryunosuke TATENO, Shin UGAWA, Tsunehiro WATANABE, Nanae HOSOKAWA, Shogo IMADA, Hideaki SHIBATA: Timing of forest fine root production advances with reduced snow cover in northern Japan: implications for climate-induced change in understory and overstory competition. *Oecologia*, 196: 263-273, <https://doi.org/10.1007/s00442-021-04914-x>, (2021), 京都大学北海道研究林(標茶町)
- Kazuo ISOBE, Hiroaki OKA, Tsunehiro WATANABE, Ryunosuke TATENO, Keishi SENOO, Hideaki SHIBATA: Soil microbial community response to winter climate change is phylogenetically conserved and highly resilient in a cool-temperate forest. *Soil Biology and Biochemistry*, 165: 108499, <https://doi.org/10.1016/j.soilbio.2021.108499>, (2022), 京都大学北海道研究林(標茶町)
- Kei YOSHIKAWA, Kentaro TAKAGI, Tomotsugu YAZAKI, Takashi HIRANO, Shintaro HAYAKASHI, Reiko IDE, Hiroyuki OGUMA, Yasuo HIROSE, Junichi KURIHARA: Exploring a best vegetation index to explain the seasonal variation of a forest photosynthesis using a hyper-spectral camera equipped with liquid crystal tunable filter. *農業気象*, 77(4): 253-261, <https://doi.org/10.2480/agrmet.D-21-00005>, (2021), 天塩研究林
- Kentaro HAYASHI, Hideaki SHIBATA, Azusa OITA, Kazuya NISHINA, Akihiko ITO, Kiwamu KATAGIRI, Junko SHINDO, Wilfried WINIWARTER: Nitrogen budgets in Japan from 2000 to 2015; Decreasing trend of nitrogen loss to the environment and the challenge to further reduce nitrogen waste. *Environmental Pollution*, 286: 117559-117559, <https://doi.org/10.1016/j.envpol.2021.117559>, (2021), 日本全域
- KOBAYASHI Makoto, Elizaveta SUSLOPAROVA, Ikutaro TSUYAMA, Takuya SHIMASE, Satoshi NAKABA, Naoki TAKAHASHI, Toshiya YOSHIDA: Influence of soil properties on the heartwood colour of *Juglans mandshurica* var. *sachalinensis* in a cool temperate forest. *Journal of Wood Science*, 67(1): 49, <https://doi.org/10.1186/s10086-021-01981-9>, (2021), 中川町
- Masahiro NAKAMURA, Moeko MINOSHIMA, Chisato TERADA, Kentaro TAKAGI, KOBAYASHI Makoto, Hideaki SHIBATA, Tsutomu HIURA: Response of Background Herbivory in Mature Birch Trees to Global Warming. *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 675401, <https://doi.org/10.3389/ffgc.2021.675401>, (2021), 中川研究林, 羊蹄山
- Nanami SUZUKI, Toshiya YOSHIDA, Toshizumi MIYAMOTO, Karibu FUKUZAWA, Takeshi TANIGUCHI, Haruka YAMAZAKI: Early establishment of spruce (*Picea glehnii* [Fr. Schm.] Masters) seedlings on disturbed soil with the aim of assisted natural regeneration, *Scandinavian Journal of Forest Research*, 36(2-3):126-134, <https://doi.org/10.1080/02827581.2021.1901980>, (2021), 雨龍研究林
- Patrick MEYFROIDT, Ariane De BREMOND, Casey M. RYAN, Emma ARCHER, Richard ASPINALL, Hideaki SHIBATA, et al.: Ten facts about land systems for sustainability. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 119(7): e2109217118, <https://doi.org/10.1073/pnas.2109217118>, (2022), 世界各地
- Piotr ROZWALAK, Paweł PODKOWA, Jakub BUDA, Przemysław NIEDZIELSKI, Jun UETAKE, et al.: Cryoconite - From minerals and organic matter to bioengineered sediments on glacier's surfaces. *The Science of the total environment*, 807(2): 150874, <https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2021.150874>, (2021), 世界各地の33箇所の氷河

- Ryo FUTAMURA, Kentaro MORITA, Koume ARAKI, Masato AYUMI, Shoji KUMIKAWA, Yuichi MATSUOKA, Atsushi OKUDA, Hiroshi SUGIYAMA, Hiroyuki TAKAHASHI, Taro TAKAHASHI, Jiro UCHIDA, Osamu KISHIDA: Occurrence of mature male white-spotted charr (*Salvelinus leucomaenis*) in spring, an unusual season. *Ichthyological Research*, 69(1): 194-196, <https://doi.org/10.1007/s10228-021-00823-4>, (2022), 苫小牧研究林
- Ryo FUTAMURA, Kentaro MORITA, Yoichiro KANNO, Osamu KISHIDA: Size-selective mortality occurs in smolts during a seaward migration, but not in river residents, in masu salmon (*Oncorhynchus masou*). *Environmental Biology of Fishes*, <https://doi.org/10.1007/s10641-022-01213-z>, (2022), 苫小牧研究林
- Ryo FUTAMURA, Kentaro MORITA, Yoichiro KANNO, Shoji KUMIKAWA, Yuichi MATSUOKA, Atsushi OKUDA, Hiroshi SUGIYAMA, Hiroyuki TAKAHASHI, Jiro UCHIDA, Osamu KISHIDA: Size-dependent growth tactics of a partially migratory fish before migration. *Oecologia*, 198: 371-379, <https://doi.org/10.1007/s00442-022-05111-0>, (2022), 苫小牧研究林
- Samuel R. P.-J. ROSS, Jorge García MOLINOS, Atsushi OKUDA, Jackson JOHNSTONE, Keisuke ATSUMI, Ryo FUTAMURA, Maureen A. WILLIAMS, Yuichi MATSUOKA, Jiro UCHIDA, Shoji KUMIKAWA, Hiroshi SUGIYAMA, Osamu KISHIDA, Ian DONOHUE: Predators mitigate the destabilising effects of heatwaves on multitrophic stream communities. *Global Change Biology*, 28(2): 403-416, <https://doi.org/10.1111/gcb.15956>, (2022), 苫小牧研究林
- Shih Chieh CHANG, Taku M. SAITOH, Hideaki SHIBATA, Satoshi N. SUZUKI: Recent advances in the understanding of ecosystem processes at eddy covariance CO<sub>2</sub> flux sites in East Asian forest ecosystems; a review. *Journal of Agricultural Meteorology*, 77(152): 65, <https://doi.org/10.2480/agrmet.D-20-00018>, (2021), 東アジア全域
- Shinichi TATSUMI, Shunsuke MATSUOKA, Saori FUJII, KOBAYASHI Makoto, Takashi OSONO, Forest ISBELL, Akira S. MORI: Prolonged impacts of past agriculture and ungulate overabundance on soil fungal communities in restored forests. *Environmental DNA*, 3(5): 930-939, <https://doi.org/10.1002/edn3.198>, (2021), 知床国立公園
- TaeOh KWON, Hideaki SHIBATA, Sebastian KEPFER-ROJAS, Inger K. SCHMIDT, Klaus S. LARSEN, Claus BEIER, Björn BERG, Kris VERHEYEN, Jean-Francois LAMARQUE, Frank HAGEDORN, Nico EISENHAUER, Ika DJUKIC, TeaComposition Network: Effects of Climate and Atmospheric Nitrogen Deposition on Early to Mid-Term Stage Litter Decomposition Across Biomes. *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 678480, <https://doi.org/10.3389/ffgc.2021.678480>, (2021), 雨龍研究林, 苫小牧研究林, 世界各地
- Takahiro INOUE, Fumiko NAKAGAWA, Hideaki SHIBATA, Urumu TSUNOGAI: Vertical Changes in the Flux of Atmospheric Nitrate From a Forest Canopy to the Surface Soil Based on  $\Delta^{17}\text{O}$  Values. *Journal of Geophysical Research: Biogeosciences*, 126(4): e2020JG005876, <https://doi.org/10.1029/2020JG005876>, (2021), 雨龍研究林
- Tomomi NAKASHIMA, Jun UETAKE, Takahiro SEGAWA, Lenka PROCHÁZKOVÁ, Akane TSUSHIMA, Nozomu Takeuchi: Spatial and Temporal Variations in Pigment and Species Compositions of Snow Algae on Mt. Tateyama in Toyama Prefecture, Japan. *Frontiers in Plant Science*, 12: 689119, <https://doi.org/10.3389/fpls.2021.689119>, (2021), 富山県立山町
- Toshiya YOSHIDA: Regeneration Dynamics on Treefall Mounds and Pits for 10 Years after a Windfall in a Natural Mixed Forest. *Forests*, 12(8): 1064, <https://doi.org/10.3390/f12081064>, (2021), 雨龍研究林
- Wataru HOTTA, Junko MORIMOTO, Chihiro HAGA, Satoshi N. SUZUKI, Takahiro INOUE, Takanori MATSUI, Toshiaki OWARI, Hideaki SHIBATA, Futoshi NAKAMURA: Long-term cumulative impacts of windthrow and subsequent management on tree species composition and aboveground biomass; A simulation study considering regeneration on downed logs. *Forest Ecology and Management*, 502: 119728, <https://doi.org/10.1016/j.foreco.2021.119728>, (2021), 東京大学北海道演習林(富良野市)
- Yoichiro KANNO, Audrey C. HARRIS, Osamu KISHIDA, Shunsuke UTSUMI, Hiromi UNO: Complex effects of body length and condition on within-tributary movement and emigration in stream salmonids. *Ecology of Freshwater Fish*, 31(2): 317-329, <https://doi.org/10.1111/eff.12632>, (2021), 雨龍研究林
- Youhei YAMASHITA, Daiki KOJIMA, Natsumi YOSHIDA, Hideaki SHIBATA: Relationships between dissolved black carbon and dissolved organic matter in streams. *Chemosphere*, 271: 129824, <https://doi.org/10.1016/j.chemosphere.2021.129824>, (2021), 雨龍研究林
- Yu FUKASAWA, Kimiyo MATSUKURA, Jörg G. STEPHAN, KOBAYASHI Makoto, Satoshi N. SUZUKI, Yuji KOMINAMI, Masahiro TAKAGI, Nobuaki TANAKA, Shuhei TAKEMOTO, Haruo KINUURA, Kunihiko OKANO, Zewei SONG, Mayuko JOMURA, Kohmei KADOWAKI, Satoshi YAMASHITA, Masayuki USHIO: Patterns of community composition and diversity in latent fungi of living *Quercus*

- serrata* trunks across a range of oak wilt prevalence and climate variables in Japan. *Fungal Ecology*, 101095, <https://doi.org/10.1016/j.funeco.2021.101095>, (2021), 苫小牧研究林
- 揚妻 直樹, 揚妻-柳原 芳美, 杉浦 秀樹: 捕獲圧のない地域におけるヤクシカ密度指標の18年間の増減; 屋久島世界遺産地域・照葉樹林の事例. *保全生態学研究*, 26(1): 87-100, <https://doi.org/10.18960/hozen.1923>, (2021), 屋久島
- 馬谷 佳幸, 森田 桃, 奥田 篤志: 天塩川中流域におけるオジロワシの巣内に搬入された餌動物の分析; 自動撮影カメラと餌残渣の比較. *北方森林保全技術*, 39: 19-30, <http://hdl.handle.net/2115/83339>, (2021), 道北
- 奥田 篤志: 生物相リスト作成のための植物調査について. *北方森林保全技術*, 39: 40-41, <http://hdl.handle.net/2115/83337>, (2021) 苫小牧研究林
- 小塚 力: 雨龍研究林における森林経営計画の運用について. *北方森林保全技術*, 39: 31-39, <http://hdl.handle.net/2115/83338>, (2021), 雨龍研究林
- 高橋 太郎: 幌延町における醸造用ブドウの栽培試験報告(2017~2020年). *北方森林保全技術*, 39: 42-56. <http://hdl.handle.net/2115/83336>, (2021), 天塩研究林, 幌延町
- 高橋 太郎: 名寄林木育種試験地における病虫害発生とその対処(2017~2020年). *北方森林保全技術*, 39: 6-18, <http://hdl.handle.net/2115/83340>, (2021), 雨龍研究林
- 増井 昇, 小池 孝良, 北岡 哲, 渡邊 陽子, 佐藤 冬樹, 渡部 敏裕: オゾン存在下でのヤマナラシ属二種の病虫害への応答, *樹木医学研究*, 26(1): 26-27, (2022), 札幌研究林
- 増井 昇, 谷 晃, 塩尻 かおり, 佐藤 冬樹, 小池 孝良: BVOCから見た農林緑地の生態系バランス; 対流圏オゾンの影響を中心に. *北海道の農業気象*, 73: 30-36, (2021), 札幌研究林
- 増井 昇, 谷 晃, 松浦 英幸, 渡部 敏裕, 藤戸 永志, 佐々木 圭子, 佐藤 冬樹, 高木 健太郎, アガトクレオス, エフゲニオス, 小池 孝良: 多樹種の生物起源揮発性有機炭素(BVOC)の計測と植食性昆虫の動態解明. *北方森林保全技術*, 39: 1-5, <http://hdl.handle.net/2115/83341>, (2021), 札幌研究林
- 福澤 加里部: 林床にササが生育する冷温帯林における細根バイオマス, 生産量および枯死量の時間変化. *根の研究*, 31(1): 7-20, <https://doi.org/10.3117/rootres.31.7>, (2022), 天塩研究林
- 揚妻 直樹: 第6章 野生動物と森林管理 (はじめに, 1森林保護学での野生動物の位置づけ, 2野生動物による林業被害と対策, 3シカの個体数変遷と森林生態系保全), コラム6-1「大台ヶ原と屋久島のシカ」, pp133-143 (小池 孝良, 中村 誠宏, 宮本 敏澄: 森林保護学の基礎, 農山漁村文化協会, 東京)(2021.4)
- 小林 真: コラム3-9「山火事による森林の破壊と維持」, pp59 (小池 孝良, 中村 誠宏, 宮本 敏澄: 森林保護学の基礎, 農山漁村文化協会, 東京)(2021.4)
- 中路 達郎: コラム5-7「リモートセンシングで解析がすすむ森林と植食性昆虫の関係」, pp132 (小池 孝良, 中村 誠宏, 宮本 敏澄: 森林保護学の基礎, 農山漁村文化協会, 東京)(2021.4)
- 中村 誠宏: 第5章 害虫-昆虫による樹木への影響, pp104-131 (小池 孝良, 中村 誠宏, 宮本 敏澄: 森林保護学の基礎, 農山漁村文化協会, 東京)(2021.4)
- 柴田 英昭: (林 健太郎・梅澤 有): 図説室素と環境の科学; 人と自然のつながりと持続可能な室素利用, vi, 181p (朝倉書店, 東京)(2021.12)
- 中村 誠宏: (小池 孝良, 宮本 敏澄): 森林保護学の基礎, 191p (農山漁村文化協会, 東京)(2021.4)
- Chisato TERADA, Tetsukazu YAHARA, Arika KUROIWA, Takashi SAITOH: Spatial genetic structure of the sika deer (*Cervus nippon*) population on Yakushima: Significant genetic differentiation on a small island. *Mammal Study*, 46(3): 225-235, <https://doi.org/10.3106/ms2020-0088>, (2021) 屋久島, 札幌研究林
- Hisanori OKAMIYA, Ryohei SUGIME, Chiharu FURUSAWA, Yoshihiro INOUE, Osamu KISHIDA: Paedomorphosis in the Ezo salamander (*Hynobius retardatus*) rediscovered after almost 90 years. *Zoological Letters*, 7(14), <https://doi.org/10.1186/s40851-021-00183-x>, (2021) 苫小牧研究林
- James S. SANTANGELO, Rob W. NESS, Beata COHAN, Yoshino ANDO, Shunsuke UTSUMI, et al.: Global urban environmental change drives adaptation in white clover. *Science*, 375(6586): 1275-1281, <https://www.science.org/doi/10.1126/science.abk0989>, (2022) 札幌研究林, 札幌市近郊
- Masahiro NAKAMURA, Moeko MINOSHIMA, Chisato TERADA, Kentaro TAKAGI, KOBAYASHI Makoto, Hideaki SHIBATA, Tsutomu HIURA: Response of Background Herbivory in Mature Birch Trees to Global Warming. *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 675401, <https://doi.org/10.3389/ffgc.2021.675401>, (2021) 中川研究林, 羊蹄山
- Ryo FUTAMURA, Kentaro MORITA, Koume ARAKI, Masato AYUMI, Shoji KUMIKAWA, Yuichi MATSUOKA, Atsushi OKUDA, Hiroshi SUGIYAMA, Hiroyuki TAKAHASHI, Taro TAKAHASHI, Jiro

- UCHIDA, Osamu KISHIDA: Occurrence of mature male white-spotted charr (*Salvelinus leucomaenis*) in spring, an unusual season. *Ichthyological Research*, 69(1): 194-196, <https://doi.org/10.1007/s10228-021-00823-4>, (2021) 苫小牧研究林
- Ryo FUTAMURA, Kentaro MORITA, Yoichiro KANNO, Osamu KISHIDA: Size-selective mortality occurs in smolts during a seaward migration, but not in river residents, in masu salmon(*Oncorhynchus masou*). *Environmental Biology of Fishes*, <https://doi.org/10.1007/s10641-022-01213-z>, (2022) 苫小牧研究林
- Ryo FUTAMURA, Kentaro MORITA, Yoichiro KANNO, Shoji KUMIKAWA, Yuichi MATSUOKA, Atsushi OKUDA, Hiroshi SUGIYAMA, Hiroyuki TAKAHASHI, Jiro UCHIDA, Osamu KISHIDA: Size-dependent growth tactics of a partially migratory fish before migration. *Oecologia*, 198: 371-379, <https://doi.org/10.1007/s00442-022-05111-0>, (2022) 苫小牧研究林
- Samuel R. P.-J. ROSS, Jorge García MOLINOS, Atsushi OKUDA, Jackson JOHNSTONE, Keisuke ATSUMI, Ryo FUTAMURA, Maureen A. WILLIAMS, Yuichi MATSUOKA, Jiro UCHIDA, Shoji KUMIKAWA, Hiroshi SUGIYAMA, Osamu KISHIDA, Ian DONOHUE: Predators mitigate the destabilising effects of heatwaves on multitrophic stream communities. *Global Change Biology*, 28(2): 403-416, <https://doi.org/10.1111/gcb.15956>, (2022) 苫小牧研究林
- SHIOJIRI Kaori, ISHIZAKI Satomi, ANDO Yoshino: Plant-plant communication and community of herbivores on tall goldenrod. *Ecology and Evolution*, 11(12): 7439-7447, <https://doi.org/10.1002/ece3.7575>, (2021) 京都大学生態学研究センター
- 石黒 智基: Mechanisms of urban evolution in white clover: multi-functionality and multi-level polymorphism in defense traits (シロツメクサ被食防衛形質の階層性と多面的機能に着目した植物の都市適応機構の解明), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 市川 翔太: エゾシカの影響が異なる環境における下層植物が持つ二次代謝物質の応答, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 井上 嘉大: Impacts of alien toxic toad hatchlings (*Bufo japonicus formosus*) on early life history stages of native predatory salamanders (*Hynobius retardatus*) (有毒な国内外来種アズマヒキガエルの孵化幼生が在来捕食者エゾサンショウウオの初期生活史に与える影響), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 菊地 孝介: アカネズミとエゾヤチネズミの餌探索における空間記憶, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 朱 詩瑤: Spatial variation of nitrogen dynamics and microbial activity in surface soil of forest ecosystem (森林生態系における表層土壌の窒素動態および土壌微生物活性の空間変動), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 杉目 良平: エゾサンショウウオ幼生の個体発生反応基準における集団間変異, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 張 徳洋: Influencing factors of element leaching from tree leaf during the deciduous period (落葉期における樹木葉からの物質溶脱に影響する要因), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 仲野 友太: 環境DNAアプローチによって捉える節足動物群集の応答: 森林再生における植物多様性と食害の効果, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 南雲 優哉: Interactions between leaf beetle evolution and insect communities under natural environments: a feedback cycle through negative frequency-dependence(非制御環境におけるハムシの進化と昆虫群集の相互作用: 負の頻度依存効果によるフィードバック・サイクル), 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 藤井 信亮: 森林流域における長期的な河川水質の変動とその要因, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 吉田 桃子: エゾシカ(*Cervus nippon yezoensis*)における母親の育仔行動: 仔の発達段階および性別による育仔投資の違い, 環境科学院・生物圏科学専攻・森林圏 フィールド科学コース, 修士論文, (2022.3)
- 石黒 智基: 都市構造が植物の適応進化に及ぼす影響: 景観アプローチから見てきたこと, 日本生態学会公開シンポジウム「都市化による生態系および生物の変化を理解する」, オンライン, (2021.6.20)
- Evgenios AGATHOKLEOUS, Mitsutoshi KITAO, Cong SHI, Noboru MASUI, Shahenda ABU-ELELA, Kyohsuke HIKINO, Fuyuki SATOH, Takayoshi KOIKE: Ethylenediurea (EDU) spray effects on willows (*Salix sachalinensis* F. Schmid) grown in ambient or ozone-enriched air: Implications for renewable biomass



- production, *Journal of Forestry Research*, 33: 397-422, <https://doi.org/10.1007/s11676-021-01400-1>, (2021) 札幌研究林
- Donato CHIATANTE, Kasten DUMROESE, Douglas GODBOLD, Takayoshi KOIKE, Antonio MONTAGNOLI, Boris REWALD: Modulation of Growth and Development of Tree Roots in Forest Ecosystems, *Frontier in Plant Science*, 850163, <https://doi.org/10.3389/978-2-88974-648-4>, (2022) 札幌研究林, 天塩研究林
- E. NOVRIYANTI, M. WATANABE, Q. MAO, T. KOIKE: Growth performance of eucalypts and acacia seedling under elevated CO<sub>2</sub> load in the changing environment, *Earth and Environmental Science*, 918: 012030, <https://doi.org/10.1088/1755-1315/918/1/012030>, (2021) 札幌研究林
- Evgenios AGATHOKLEOUS, Damià BARCELÓ, Jörg RINKLEBE, Christian SONNE, Edward J. CALABRESE, Takayoshi KOIKE: Hormesis induced by silver iodide, hydrocarbons, microplastics, pesticides, and pharmaceuticals: Implications for agroforestry ecosystems health, *Science of The Total Environment*, 820: 153116, <https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2022.153116>, (2022) 札幌研究林
- Evgenios AGATHOKLEOUS, Mitsutoshi KITAO, Takayoshi KOIKE: Ethylenediurea (EDU) effects on hybrid larch saplings exposed to ambient or elevated ozone over three growing seasons, *Journal of Forestry Research*, 33: 117-135, <https://doi.org/10.1007/s11676-021-01352-6>, (2022) 札幌研究林
- HAGIWARA Tomika, IWAMOTO ISHIHARA Masae, TAKABAYASHI Junji, HIURA Tsutom, SHIOJIRI Kaori: Effective distance of volatile cues for plant–plant communication in beech, *Ecology and Evolution*, 11(18): 12445–12452, <https://doi.org/10.1002/ece3.7990>, (2021), 苫小牧演習林
- HINO Takafumi, Yuri KANNO, Shin ABE, Tetsuto ABE, Tsutomu ENOKI, Toshihide HIRADO, Tsutom HIURA, Kazuhiko HOSHIZAKI, Hideyuki IDA, Ken ISHIDA, Masayuki MAKI, Takashi MASAKI, Shoji NAOE, Mahoko NOGUCHI, Tatsuya OTANI, Takanori SATO, Michinori SAKIMOTO, Hitoshi SAKIO, Masahiro TAKAGI, Atsushi TAKASHIMA, Naoko TOKUCHI, Shunsuke UTSUMI, Amane HIDAHA, Masahiro NAKAMURA: Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan, *Ecological Research*, 36(3): 562-572, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12215>, (2021) 苫小牧研究林
- Hiroshi ICHIHARA, Toru MOGI, Toshihiro UCHIDA, Hideyuki SATOH, Yusuke YAMAYA, Masakazu FUJII, Shusaku YAMAZAKI, Kenji OKAZAKI, Noriko TADA: Imaging of a serpentinite complex in the Kamuikotan Zone, northern Japan, from magnetotelluric soundings, *Earth, Planets and Space*, 73:154, <https://doi.org/10.1186/s40623-021-01482-5>, (2021) 天塩研究林
- Jin LEE, Masahiro NAKAMURA, Tsutom HIURA: Effects of Large-Scale Nitrogen Fertilization on Insect–Plant Interactions in the Canopy of Tall Alder Trees with N<sub>2</sub>-Fixing Traits in a Cool Temperate Forest, *Forests*, 12(2): 210-218, <https://doi.org/10.3390/f12020210>, (2021), 苫小牧演習林
- Masahiro NAKAMURA, Moeko MINOSHIMA, Chisato TERADA, Kentaro TAKAGI, KOBAYASHI Makoto, Hideaki SHIBATA, Tsutom HIURA: Response of Background Herbivory in Mature Birch Trees to Global Warming, *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 675401, <https://doi.org/10.3389/ffgc.2021.675401>, (2021) 中川研究林
- Masato SHIBUYA: Long-term stand-level resilience in natural secondary forest stands recovering from severe windthrow damage, *Ecosphere*, 12(9): e03732, <https://doi.org/10.1002/ecs2.3732>, (2021) 苫小牧演習林, 有
- MATUSO Tomonari, HIURA Tsutom, ONODA Yusuke: Vertical and horizontal light heterogeneity along gradients of secondary succession in cool- and warm-temperate forests, *Journal of Vegetation Science*, 33(3), p.e13135, <https://doi.org/10.1111/jvs.13135>, (2022) 苫小牧演習林
- MIZUGUCHI Yuuka, FUJIOKA Emyo, HEIM Olga, FUKUI Dai, HIRYU Shizuko: Discriminating predation attempt outcomes during natural foraging using the post-buzz pause in the Japanese large-footed bat, *Myotis macrodactylus*, *Journal of Experimental Biology*, 225(7): jeb243402, <https://doi.org/10.1242/jeb.243402>, (2022) 苫小牧演習林
- Noboru MASUI, Evgenios AGATHOKLEOUS, Akira TANI, Hideyuki MATSUURA, Takayoshi KOIKE: Plant–insect communication in urban forests: Similarities of plant volatile compositions among tree species (host vs. non-host trees) for alder leaf beetle *Agelastica coerulea*, *Environmental Research*, 204(part A): 111996, <https://doi.org/10.1016/j.envres.2021.111996>, (2022) 札幌研究林
- TOCHIHARA Yukito, HOSOYA Tsuyoshi: Examination of the generic concept and species boundaries of the genus *Erioscyphella* (*Lachnaceae*, *Helotiales*, *Ascomycota*) with the proposal of new species and new combinations based on the Japanese materials, *MycKeys*, 87: 1–52, <https://doi.org/10.3897/mycokeys.87.73082>, (2022) 天塩研究林
- Tomika HAGIWARA, Masae IWAMOTO ISHIHARA, Junji TAKABAYASHI, Tsutom HIURA, Kaori SHIOJIRI: Effective distance of volatile cues for plant–plant communication in beech, *Ecology and Evolution*, 11(18): 12445-12452, <https://doi.org/10.1002/ece3.7990>, (2021) 苫小牧研究林, 有

- WAKUI Akimi, KUDO Gaku: Ecotypic differentiation of a circumpolar Arctic-alpine species at mid-latitudes; variations in the ploidy level and reproductive system of *Vaccinium vitis-idaea*, *AoB Plants*, 13(3): plab015, <https://doi.org/10.1093/aobpla/plab015>, (2021), 天塩研究林
- YAMADA Hiroyuki, WADA Satoshi: Morphological evolution reduces downstream displacement in juvenile landlocked salmon, *Evolution*, 75(7): 1850-1861, <https://doi.org/10.1111/evo.14281>, (2021), 和歌山研究林, 古座川水系「古座川, 平井川」
- Yoko WATANABE, Kiyomi HINATA, Laiye QU, Satoshi KITAOKA, Makoto WATANABE, Mitsutoshi KITAO, Takayoshi KOIKE: Effects of Elevated CO<sub>2</sub> and Nitrogen Loading on the Defensive Traits of Three Successional Deciduous Broad-Leaved Tree Seedlings, 12(7), 939: <https://doi.org/10.3390/f12070939>, (2021) 札幌研究林
- Zhaozhong FENG, Evgenios Agathokleous, Xu YUE, Elina OKSANEN, Elena PAOLETTI, Hiroyuki SASE, Anthony GANDIN, Takayoshi KOIKE, Vicent CALATAYUD, Xiangyang YUAN, Xuejun LIU, Alessandra De MARCO, Yves JOLIVET, Sari KONTUNEN-SOPPELA, Yasutomo HOSHIKA, Hikaru SAJI, Pin LI, Zhengzhou LI, Makoto WATANABE, Kazuhiko KOBAYASHI: Emerging challenges of ozone impacts on asian plants: actions are needed to protect ecosystem health, *Ecosystem Health and Sustainability*, 7(1): 1911602, <https://doi.org/10.1080/20964129.2021.1911602>, (2021) 札幌研究林, 天塩研究林
- 来田和人, 小池 孝良: 日本の林木育種の過去・現在・未来 ; (1)カラマツ-1 カラマツ・グイマツ雑種 F<sub>1</sub>の林木育種小史-シリーズ開始に寄せて-, 森林遺伝育種, 11(1): 8-13, [https://doi.org/10.32135/fgtb.11.1\\_8](https://doi.org/10.32135/fgtb.11.1_8), (2022) 札幌研究林, 天塩研究林
- 小池孝良: 日本の林木育種の過去・現在・未来 ; (1)カラマツ-2 カラマツの地球規模における環境保全上の重要性, 森林遺伝育種, 11(1): 14-17, [https://doi.org/10.32135/fgtb.11.1\\_14](https://doi.org/10.32135/fgtb.11.1_14), (2022) 札幌研究林, 天塩研究林
- 小池孝良: 樹木の虫害への”そなえ”, 高翔, 76(7): 34-37, (2021) 札幌研究林, 天塩研究林, 苫小牧研究林
- 小池孝良: 変動環境下での樹木の虫害と回避, 兵庫生物, 16: 37-41, (2021) 札幌研究林, 天塩研究林, 苫小牧研究林
- 小池孝良: 美しい森のつくり方をドイツ林業からどう学ぶか, ランドスケープ・デザイン, 143:6-11, (2022) 和歌山研究林, 苫小牧研究林
- 増井 昇, 谷 晃, 松浦 英幸, 小池 孝良: ハンノキハムシの宿主選択における香気成分 (BVOC) の類似性, 樹木医学研究, 26(1): 24-25 (2022) 札幌研究林
- 増井 昇, 小池 孝良, 北岡 哲, 渡邊 陽子, 佐藤 冬樹, 渡部 敏裕: オゾン存在下でのヤマナラシ属二種の病虫害への応答, 樹木医学研究, 26(1): 26-27, (2022) 札幌研究林
- 増井 昇, 谷 晃, 塩尻 かおり, 佐藤 冬樹, 小池 孝良: BVOCから見た農林緑地の生態系バランス : 対流圏オゾンの影響を中心に, 北海道の農業気象, 73: 30-36, (2021) 札幌研究林
- 増井 昇, 谷 晃, 松浦 英幸, 渡部 敏裕, 藤戸 永志, 佐々木 圭子, 佐藤 冬樹, 高木 健太郎, アガトクレオス, エフゲニオス, 小池 孝良: 多樹種の生物起源揮発性有機炭素 (BVOC) の計測と植食性昆虫の動態解明, 北方森林保全技術, 39: 1-5, <http://hdl.handle.net/2115/83341>, (2022) 札幌研究林
- 小池 孝良: 森林美学への旅: ザーリッシュの森をもとめて, 204p (海青社, 大津)(2021)
- Qu LY, Wang YN, Masyagina O, Kitaoka S, Fujita S, Kita K, Prokushukin A, Koike T.: Larch: a promising deciduous conifer as an eco-environmental resource, Chapters 5 (Ana Cristina Gonçalves; Teresa Fonseca: Conifers - Recent Advances, IntechOpen)(2022)
- 小池 孝良, 中村 誠宏, 宮本 敏澄: 森林保護学の基礎, 191p (農山漁村文化協会, 東京) (2021)
- 碓 陽太: 北海道に産するキシメジ類数種について, 北海道大学大学院農学院, 修士論文, (2022.3)
- 白鳥 充樹: 河畔林におけるヤナギ属生立木の腐朽および変色に関わる菌類, 北海道大学 農学院 環境フロンティアコース 森林・緑地管理ユニット, 修士論文, (2022.2)
- 藤田 浩介: LPWAを用いたセンサネットワークにおける連続送信時間制限を考慮した送信制御手法の提案, 和歌山大学大学院 システム工学研究科, 修士論文, (2022.2)
- 石田 将一朗: カラマツ苗木における根切りが硬い土壌での伸長性に与える影響, 北海道大学 農学部・森林科学科, 卒業論文, (2022.2)
- 尾木 太一: LPWA通信におけるモバイルエージェントを用いた無線センサ・アクチュエータネットワークの提案と実装, 和歌山大学 システム工学部・システム工学科・ネットワーク情報学メジャー, 卒業論文, (2022.2)
- 小黒 浩平: 食用担子菌の菌糸成長に及ぼすヤナギ類樹皮成分の影響について, 北海道大学農学部森林科学科, 卒業論文, (2022.3)

- 前田 唯眞:ブナのみトコンドリアゲノムにおける適応的遺伝子と系統地理, 北海道大学農学部・森林科学科, 卒業論文, (2022.2)
- 柘田 孝太: 木ダボ接合によるアーチ構造の特性と小屋屋根への応用, 北海道大学農学部・森林科学科, 卒業論文, (2022.3)
- 米山 彰香: ヤナギ樹皮成分の特徴づけ, 北海道大学農学部森林科学科, 卒業論文, (2022.3)

## 岩手大学

### 農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

- 相田 謙:植栽後のウルシ苗木の初期成長 - 1年生コンテナ苗, 2年生コンテナ苗, 裸苗の比較-, 岩手大学農学部卒業論文(2021):滝沢演習林
- 畠 広一郎:過密なスギ壮齢人工林における 41 年間への間伐が樹冠長や幹の成長に及ぼす影響, 岩手大学農学部卒業論文(2021):滝沢演習林
- 國崎 貴嗣:広葉樹林筋残し刈り試験地における幼齢天然生林の3年間の林分動態, 岩手大学農学部演習林報告, 52:1-16(2021):滝沢演習林
- 上田 智, 齊藤 友記, 國崎 貴嗣:広葉樹林筋残し刈り試験地におけるクリとコナラのサイズ構造と空間分布, 岩手大学農学部演習林報告, 52:17-35(2021):滝沢演習林
- 阿部 優希, 設楽 みさき, 山本 信次, 高田 乃倫予:小規模森林組合の現状と課題—東日本大震災への対応を中心に—, 岩手大学農学部演習林報告, 52:37-50(2021)
- 國崎 貴嗣, 山崎 遥:過密なスギ老齢人工林における 41 年間の林分成長経過, 日本森林学会誌, 103 : 285-290(2021):滝沢演習林
- 國崎 貴嗣, 白旗 学, 松木 佐和子:過密なスギ人工林における樹冠長と直近5年間の胸高直径成長量との関係, 日本森林学会誌, 103:401-404(2021):滝沢演習林
- 高野 涼, 山本 信次, 伊藤 幸男:地域住民による森林整備を支援する森林政策の論点-森林・山村多面的機能発揮対策交付金を例に-, 林業経済, 74(2):1-18(2021)
- 山本 信次, 高田 乃倫予, 土屋 ほんか:原発事故が福島県内の市民活動としての薪利用に及ぼした影響, 林業経済研究, 67(3):62-68(2021)
- 高田 乃倫予, 山本 信次, 小川 晃弥:岩手県立森林公園におけるバリアフリー化の現状と課題-車椅子と杖歩行による園路利用からの考察-, 東北森林科学会誌, 26(2):55-66(2021)
- 高田 乃倫予:森林レクリエーションにおけるインディペンデンス・トレールの現状と課題:平庭高原インディペンデンス・トレールの事例—, 林業経済研究, 67(3):69-78(2021)
- 高田 乃倫予, 永田 信, 山岸 健一:林業集落排水事業からみた山村の生活基盤整備政策の現状 - 全国市町村の動向と富山県南砺市の事例 -, 林業経済, 74(6):1-17(2021)
- 伊藤 幸男, 陸 海璐, 高野 涼, 滝沢 裕子, 遠藤 元治, 高田 乃倫予:発電用燃料材需要に対する林業事業体の対応 - 岩手県を事例に -, 東北森林科学会誌, 26(2):67-72(2021)
- 白旗 学, 相田 謙, 大村 元春:ウルシ1年生コンテナ苗の山出し後3年間の成長, 第133回日本森林学会大会学術講演集:152(2021)
- 島田 卓哉:野ネズミとドングリ-タンニンという毒とうまくつきあう方法, 東京大学出版会:202 ページ(2022)
- 山本 信次:森林ボランティア活動の発展と参加型森林管理, 「森林学の百科事典」(日本森林学会編), 丸善出版, 東京:560-563(2021)
- 山本 信次:コロナ禍の農山漁村への影響と都市集中是正, 「森林環境 2021」, 朝日新聞出版, 東京:9-12(2021)

## 東北大学

### 大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

- Hirata, M., Mitsuyuki, C., Moritsuka, E., Chhang, P., Tagane, S., Toyama, H., Sokh, H., Rueangruea, S., Suddee, S., Suyama, Y., Yahara, T., Teshima, K.M., Tachida, H., Kusumi, J.: Evaluating the genetic diversity in two tropical leguminous trees, *Dalbergia cochinchinensis* and *D. nigrescens*, in lowland forests in Cambodia and Thailand using MIG-seq. *Genes & Genetic Systems* 96: 1-13 (2021).
- Onosato, K., Shitara, T., Matsumoto, A., Matsuo, A., Suyama, Y., Tsumura, Y.: Contact zone of two different chloroplast lineages and genetic guidelines for seed transfer in *Quercus serrata* and *Q. crispula*. *Plant Species Biology* 36(1): 72-83 (2021).

- Mori, G.M., Madeira, A.G., Cruz, M.V., Tsuda, Y., Takayama, K., Matsuki, Y., Suyama, Y., Iwasaki, T., Souza, A.P., Zucchi, M.I., Kajita, K.: Testing species hypotheses in the mangrove genus *Rhizophora* from the Western hemisphere and South Pacific islands. *Estuarine, Coastal and Shelf Science* 248: 106948 (2021).
- Makishima, D., Sutou, R., Goto, A., Kawai, Y., Ishii, N., Taniguchi, H., Uchida, K., Shimazaki, M., Nakashizuka, T., Suyama, Y., Hikosaka, K., Sasaki, T.: Potential extinction debt due to habitat loss and fragmentation in subalpine moorland ecosystems. *Plant Ecology* 222: 445-457 (2021).
- Sakaguchi, S., Abe, A., Nagasawa, K., Takahashi, D., Setoguchi, H., Maki, M., Kyan, R., Nishino, T., Ishikawa, N., Hirota, S., Suyama, Y., Ito, M.: Functional traits divergence in parallelly evolved rheophytic populations of *Solidago virgaurea* L. complex (Asteraceae) in Japan. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 72(2): 93-111 (2021).
- Okabe, N., Yahara, T., Tagane, S., Mitsuyuk, C., Matsuo, A., Sasaki, T., Moritsuka, E., Fuse, K., Shimizu-Kaya, U., Sang, J.A., Pungga, R.S., Suyama, Y.: A new species of *Actinodaphne* (Lauraceae), *A. lambirensis* from Sarawak, Malaysia, and an analysis of its phylogenetic position using MIG-seq and ITS sequences. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 72(1): 43-59 (2021).
- Miyazaki, K., Kinoshita, A., Fukui, R., Kurashima, O., Ohbayashi, K., Ito, M., Suyama, Y.: A study on countermeasures for pathogenic fungi of shiitake mushroom cultivation with bed-logs using designated harmless agricultural chemicals (IV) -Effect on fruiting body yield of shiitake mushrooms when edible vinegar was applied-. *Kyushu J. Fore. Res.* 74: 47-50 (2021). (in Japanese)
- Hiura, T., Yoshioka, H., Matsunaga, S.N., Saito, T., Kohyama, T.I., Kusumoto, N., Uchiyama, K., Suyama, Y., Tsumura, Y.: Diversification of terpenoid emissions proposes a geographic structure based on climate and pathogen composition in Japanese cedar. *Scientific Reports* 11: 8307 (2021) : 川渡フィールドセンター
- Souladeth, P., Tagane, S., Suyama, Y., Ishii, N., Nagahama, A., Souvannakhommane, K.: *Impatiens subfalcata* (Balsaminaceae), a new species from Laos. *Edinburgh Journal of Botany* 78(358): 1-10 (2021).
- Nakahama, N., Asai, T., Matsumoto, S., Suetsugu, K., Kurashima, O., Matsuo, A., Suyama, Y.: Detection and dispersal risk of genetically disturbed individuals in endangered wetland plant species *Pecteilis radiata* (Orchidaceae) in Japan. *Biodiversity and Conservation* 30: 1913-1927 (2021).
- Tagane, S., Souladeth, P., Kongxaysavath, D., Rueangrua, S., Suddee, S., Suyama, Y., Suzuki, E., Yahara, T.: Two new species and 18 new records for the flora of Laos. *Thai Forest Bulletin (Botany)* 49(1): 111-126 (2021).
- Magota, K., Sakaguchi, S., Hirota, S.K., Tsunamoto, Y., Suyama, Y., Akai, K., Setoguchi, H.: Comparative analysis of spatial genetic structures in sympatric populations of two riparian plants, *Saxifraga acerifolia* and *Saxifraga fortunei*. *American Journal of Botany* 108(4): 1-14 (2021).
- Watanabe, Y., Ono, E., Tsunamoto, Y., Matsuo, A., Suyama, Y., Uehara, K.: How co-distribution of two related azaleas (*Rhododendron*) developed in the Japanese archipelago, insights from evolutionary and demographic analyses. *Tree Genetics & Genomes* 17:30 (2021).
- Kikkawa, H.S., Matsuo, A., Sasaki, T., Sato, M., Suyama, Y., Tsuge, K.: Discrimination of genus *Camellia* using MIG-seq analysis. *DNA Polymorphism* 29(1): 25-31 (2021). (in Japanese)
- Sato, M.P., Matsuo, A., Hirota, S.K., Kinoshita, A., Miyazaki, K., Fukui, R., Suyama, Y.: Development of cultivar identification technology for *Lentinula edodes* by MIG-seq. *DNA Polymorphism* 29(1): 55-57 (2021). (in Japanese)
- Suetsugu, K., Hirota, S.K., Suyama, Y.: First record of *Goodyera* × *tamnaensis* (Orchidaceae) from Boso Peninsula, Chiba Prefecture, Japan, based on morphological and molecular data. *Taiwania* 66: 113-120 (2021).
- Suetsugu, K., Hirota, S.K., Suyama, Y.: A new natural hybrid, *Goodyera* × *tanakae* (Orchidaceae) from Japan with a discussion on the taxonomic identities of *G. foliosa*, *G. sonoharae*, *G. velutina*, *G. ×maximo-velutina* and *G. henryi*, based on morphological and molecular data. *Taiwania* 66(3): 277-286 (2021).
- Yahara, T., Hirota, S.K., Fuse, K., Sato, H., Tagane, S., Suyama, Y.: Validation of *Hosta alata* (Asparagaceae) as a new species and its phylogenetic affinity. *PhytoKeys* 181: 79-93 (2021).
- Hirota, S.K., Yasumoto, A.A., Nitta, K., Tagane, M., Miki, N., Suyama, Y., Yahara, T.: Evolutionary history of *Hemerocallis* in Japan inferred from chloroplast and nuclear phylogenies and levels of interspecific gene flow. *Molecular Phylogenetics and Evolution* 164: 107264 (2021).
- Mokodongan, D.F., Taninaka, H., Sara, L., Kikuchi, T., Yuasa, H., Suyama, Y., Yasuda, N.: Spatial autocorrelation analysis using MIG-seq data revealed the gamete and larval dispersal range of the blue coral, *Heliopora coerulea*, within reefs. *Frontiers in Marine Science* 8:702977 (2021).
- Takaya Iwasaki, T., Okuda, M., Ando, H., Matsuo, A., Suyama, Y., Nakahama N., Izumi, S.: Foraging plants of Japanese deer estimated by DNA metabarcoding analysis: Examples from the Shonan Hiratsuka Campus of Kanagawa University. *Science Journal of Kanagawa University* 32: 59-67 (2021). (in Japanese)

- Ishii, N.I., Takahashi, M., Yoshihara, Y., Dashzeveg, N., Ayush, T., Suyama, Y., Sasaki, T.: Genetic diversity, population size, and population stability of common plant species in a Mongolian grassland. *Journal of Arid Environments* 194: 104607 (2021).
- Nakajima, S., Sueyoshi, M., Hirota, S.K., Ishiyama, N., Matsuo, A., Suyama, Y., Nakamura, F.: A strategic sampling design revealed the local genetic structure of cold-water fluvial sculpin, a focus on groundwater-dependent water temperature heterogeneity. *Heredity* 127: 413-422 (2021).
- Usami, K., Niimi, K., Matsuo, A., Suyama, Y., Sakai, Y., Sato, S., Fujihashi, K., Kiyono, H., Uchino, S., Furukawa, M., Islam, I., Ito, K., Moriya, T., Kusumoto, Y., Tomura, M., Hovey, R.C., Sugawara, J., Yoneyama, H., Kitazawa, H., Watanabe, K., Aso, H., Nochi, T.: The gut microbiota induces Peyer's-patch-dependent secretion of maternal IgA into milk. *Cell Reports* 36: 109655 (2021).
- Ngoc, N.V., Binh, H.T., Nagahama, A., Tagane, S., Toyama, H., Matsuo, A., Suyama, Y., Yahara, T.: Morphological and molecular evidence reveals three new species of *Lithocarpus* (Fagaceae) from Bidoup-Nui Ba National Park, Vietnam. *PhytoKeys* 186: 83-92 (2021).
- Kurata, S., Vasques, D.T., Hirota, S., Kurashima, O., Suyama, Y., Nishida, S., Ito, M.: Phylogenetics of Japanese *Geranium* (Geraniaceae) using chloroplast genome sequences and genome-wide single nucleotide polymorphisms. *Plant Systematics and Evolution* 307: 63 (2021).
- Yahara, T., Hirota, S., Kengo, F., Sato, H., Tagane, S., Suyama, Y.: A new subspecies of *Stellaria undulata* (Caryophyllaceae) from Yakushima, Japan. *PhytoKeys* 187: 177-188 (2021).
- Fukasawa, Y., Kaga, K.: Timing of resource addition affects the migration behavior of wood decomposer fungal mycelia. *Journal of Fungi* 7: 654 (2021).
- Fukasawa, Y.: Invertebrate assemblages on *Biscogniauxia sporocarps* on oak dead wood: an observation aided by squirrels. *Forests* 12: 1124 (2021).
- Fukasawa, Y.: Ecological impacts of fungal wood decay types: A review of current knowledge and future research directions. *Ecological Research*: 36(6): 910-931 (2021).
- Fukasawa, Y., Matsukura, K.: Decay stages of wood and associated fungal communities characterise diversity-decomposition relationships. *Scientific Reports* 11:8972 (2021).
- Fukasawa, Y., Matsukura, K., Ando, Y., Suzuki, S.N., Okano, K., Song, Z., Aizawa, M., Sakuma, D.: Relative importance of climate, vegetation, and spatial factors in the community and functional composition of wood-inhabiting fungi in discontinuously distributed subalpine spruce forests. *Canadian Journal of Forest Research*: 51: 1-10 (2021).

## 山形大学

### 農学部附属やまがたフィールド科学センター流域保全部門（上名川演習林）

- Ryoga Watabe, Masayuki U. Saito: Effects of vehicle-passing frequency on forest roads on the activity patterns of carnivores, *Landscape and Ecological Engineering* 17(2): 225-231 (2021): 上名川演習林
- Kyosuke Shizukuda, Masayuki U. Saito: Effects of human-dominated landscape on the community structure of silphid and dung beetles collected by carrion pitfall traps, *Entomological Science* 24(2): 157-168(2021): 上名川演習林
- 本田 鈴香, 斎藤 昌幸: 冷温帯におけるニホンリスの営巣場所選択: 複数の空間スケールによる評価, *景観生態学*, 26(1): 45-52(2021): 上名川演習林
- 渡部 凌我, 斎藤 昌幸: 山形県庄内地方における外来哺乳類ハクビシンの日周活動, *東北森林科学会誌*, 27(1): 11-17(2022): 上名川演習林
- Yoko Kurosawa, Shigeta Mori, Mofei Wang, Juan Pedro Ferrio, Keiko Yamaji, Kohei Koyama, Toshikatsu Haruma, Kohei Doyama: Initial burst of root development with decreasing respiratory carbon cost in *Fagus crenata* Blume seedlings. *Plant Species Biology*, 36, 146-156(2021): 生物多様性保全研究園, 上名川演習林
- 黒澤 陽子, 王 莫非, 森 茂太, 春間 俊克, 野路 健太, 土山 紘平, 山路 恵子, 富山 眞吾: 鉾山集積場の緑化のための多様な植物の初期成長と呼吸特性の評価. *環境資源工学*, 第67巻: 122-127(2021): 生物多様性保全研究園
- Mofei Wang, Shigeta Mori, Yoko Kurosawa, Juan Pedro Ferrio, Keiko Yamaji & Kohei Koyama: Consistent scaling of whole-shoot respiration between Moso bamboo (*Phyllostachys pubescens*) and trees, *Journal of Plant Research*, 134: 989-997(2021): 生物多様性保全研究園

## 宇都宮大学

### 農学部附属演習林

- 松英 恵吾, 宇都宮大学船生演習林における長伐期施業試験林の蓄積調査 (IX), 宇都宮大学農学部演習林報告, 58: 9-15 (2022) : 船生演習林
- 飯塚 和也, 星野 祐介, 安田 菜生, 山本 美穂, 大島 潤一, 逢沢 峰昭, 大久保 達弘: 宇都宮大学船生演習林におけるシイタケ原木に関する放射性セシウムの調査, 宇都宮大学農学部演習林報告, 58: 17-22 (2022) : 船生演習林
- 大貫 維真, 大島 潤一, 飯塚 和也: 船生演習林に植栽されたヒノキコンテナ苗の初期成長, 宇都宮大学農学部演習林報告, 58: 23-30 (2022) : 船生演習林
- 宇都宮大学農学部森林科学科: 森林科学科総合実習報告書 (令和3年度), 宇都宮大学農学部演習林報告, 58: 31-39 (2022) : 船生演習林
- 大島 潤一, 加藤 大河, 飯塚 和也: ヒノキ新植地における干害の発生状況及び苗タイプの違いによる干害耐性の検証, 日本緑化工学会誌, 47(1): 27-32 : 船生演習林
- 大島 潤一, 川崎 聖也, 野寺 開斗, 飯塚 和也, 石栗 太, 横田 信三: ニホンツキノワグマによる剥皮害を受けたスギ樹幹における腐朽の進行 (II) -剥皮後5年経過したスギを対象として-, 日本緑化工学会誌, 47(1): 33-38 : 船生演習林
- Within-tree and radial variations of wood properties in naturally regenerated trees of *Betula platyphylla* grown in Nikko, Japan Togtokhbayar Erdene-Ochir, Futoshi Ishiguri, Ikumi Nezu, Bayasaa Tumenjargal, Murzabyek Sarkhad, Jyunichi Ohshima, Shinso Yokota International Wood Products Journal:12(2) 95-106 2021年:日光演習林

## 新潟大学

### 佐渡自然共生科学センター演習林

- 阿部 晴恵, ポリネーションシフトに基づくツバキ節の種分化, インターナショナルカメラリアジャーナル 2020 日本語版:33-36 (2021,9) :新潟大学演習林
- 阿部 晴恵, 中川 清太郎, 佐渡市レッドデータブック維管束植物, pp77-113 (2021) :新潟大学演習林
- Paing AMM, Chen S, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Kadomatsu M, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Osumi K, Taneda H, Hisamoto Y, Goto S. 2021. Determination of intraspecific variation in seed weight, leaf functional traits, and sapling size of *Betula ermanii* using a common garden experiment. Journal of Forest Research. DOI: 10.1080/13416979.2021.1964151 : 新潟大学演習林
- Homma K.2021.Sado's satoyama in harmony with Japanese crested ibis.in Ryusuke Hatano, Hitoshi Shinjo, Yusuke Takata(eds.). The Soils of Japan.Springer Verlag Tokyo.p.245-271. : 新潟大学演習林
- Norihiro Furukori, Keiko Kishimoto-Yamada, Kosuke Homma: Impacts of burning and herbicide disturbances on soil animals and organic matter decomposition in terraced paddy field levees in Japanese satoyama, Journal of Soil Science and Plant Nutrition, 22: 270-280(2022)
- Amin Niazaï, Akira Osawa, Nahoko Kurachi, Tomiyasu Miyaura, Takuya Kajimoto, Juha M. Metsaranta, Masako Dannoura, Naoki Okada: Application of a u-w method for the detection of boreal forest response to environmental changes in Canada, Journal of Forest Research, 26:303-313 (2021)
- Hino T, Kanno Y, Abe S, Abe T, Enoki T, Hirao T, Hiura T, Hoshizaki K, Ida H, Ishida K, Maki M, Masaki T, Naoe S, Noguchi M, Otani T, Sato T, Sakimoto M, Sakio H, Takagi M, Takashima A, Tokuchi N, Utsumi S, Hidaka A, Nakamura M:Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan. Ecological Research, 36:562-572(2021)
- Sakio H, Kubo M:Flowering and fruiting of the dioecious canopy tree *Cercidiphyllum japonicum* over an 8-year period in central Japan. Journal of Forest Research, 27(1):45-52(2022)
- Nakamura M, Terada C, Ito K, Matsui K, Niwa S, Ishihara M, Kenta T, Yoshikawa T, Kadoya T, Hiura T, Muraoka H, Ishida K, Agetsuma N, Nakamura R, Sakio H, Takagi M, Mori SA, Kimura MK, Kurokawa H, Enoki T, Seino T, Takashima A, Kobayashi H, Matsumoto K, Takahashi K, Tateno R, Yoshida T, Nakaji T, Maki M, Kobayashi K, Fukuzawa K, Hoshizaki K, Ohta K, Kobayashi K, Hasegawa M, Suzuki SN, Sakimoto M, Kitagawa Y, Sakai A, Kondo H, Ichie T, Kageyama K, Hieno A, Kato S, Otani T, Utsumi Y, Kume T, Homma K, Kishimoto K, Masaka K, Watanabe K, Toda M, Nagamatsu D, Miyazaki Y, Yamashita T, Tokuchi N: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan. Ecological Research,37:432-445(2022)
- Sakio H, Nirei T:Is the high proportion of males in a population of the self-incompatible *Fraxinus platypoda* (Oleaceae) indicative of true androdioecy or cryptic-dioecy? Plants, 11:753(2022)
- 崎尾 均: 屋久島のスギ, 佐渡島のスギ—異なる環境下でスギはいかに生きるか?—。日本の科学者

56(6):48-51(2021)

崎尾 均：佐渡島の自然環境について—森林と草地—。フォレストコンサル 165:27-36(2021)

崎尾 均：屋久島の巨木「中洲杉」。巨樹・巨木林データベース，環境省生物多様性センター，  
[https://kyoju.biodic.go.jp/?\\_action=gtcontents&\\_command=column050](https://kyoju.biodic.go.jp/?_action=gtcontents&_command=column050) (2022)

崎尾 均：屋久島におけるサツキの分布特性と生存戦略。屋久島通信80:4-5(2022)

## 東京大学

### 大学院農学生命科学研究科附属演習林

Shigyo N, Hirao T : Saprotrophic and ectomycorrhizal fungi exhibit contrasting richness patterns along elevational gradients in cool-temperate montane forests, *Fungal Ecology*, 50 : 101036(2021) : 秩父演習林

Oda T, Egusa T, Ohte N, Hotta N, Tanaka N, Green MB, Suzuki M : Effects of changes in canopy interception on stream runoff response and recovery following clear-cutting of a Japanese coniferous forest in Fukuroyamasawa Experimental Watershed in Japan, *Hydrological Processes*, 35 : e14177(2021) : 千葉演習林

Nainar A, Tanaka N, Sato T, Mizuuchi Y, Kuraji K : A comparison of hydrological characteristics between a cypress and mixed-broadleaf forest: Implication on water resource and floods, *Journal of Hydrology*, 595 : 125679(2021) : 生態水文学研究所

Nainar A, Kishimoto K, Takahashi K, Gomyo M, Kuraji K : How do ground litter and canopy cover regulate surface runoff? – a paired-plot investigation after 80 years of forest regeneration, *Water*, 13(9) : 1205(2021) : 生態水文学研究所

Hino T, Kanno Y, Abe S, Abe T, Enoki T, Hirao T, Hiura T, Hoshizaki K, Ida H, Ishida K, Maki M, Masaki T, Naoe S, Noguchi M, Otani T, Sato T, Sakimoto M, Sakio H, Takagi M, Takashima A, Tokuchi N, Utsumi S, Hidaka A, Nakamura M : Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan, *Ecological Research*, 36(3) : 562-572(2021) : 秩父演習林

Nakanishi A, Goto S, Sumiyoshi C, Isagi Y : Directional seed and pollen dispersal and their separate effects on anisotropy of fine-scale spatial genetic structure among seedlings in a dioecious, wind-pollinated, and wind-dispersed tree species, *Cercidiphyllum japonicum*, *Ecology and Evolution*, 11 : 7754-7767(2021) : 北海道演習林

Saragih SA, Takemoto S, Kusumoto D, Kamata N : Fungal diversity in the mycangium of an ambrosia beetle *Xylosandrus crassiusculus* (Coleoptera: Curculionidae) in Japan during their late dispersal season, *Symbiosis*, 84(1) : 111-118(2021) : 田無演習林

Suzuki M, Karukome T, Fujihira K, Mitsugi M, Hisamoto Y : Clear-cutting triggers regeneration of abandoned secondary forests but risks alternative successional trajectories with high deer density, *Applied Vegetation Science*, 24(3) : e12596(2021) : 千葉演習林

Matsuda H, Elsayed AM, Kim WG, Yamauchi S, Libra M, Kamata N, Yukawa J, Tokuda M : A new species of *Pseudasphondylia* (Diptera: Cecidomyiidae) associated with *Magnolia kobus* DC. var. *borealis* Sarg. (Magnoliaceae) in Japan, *Biodiversity Data Journal*, 9 : e68016(2021) : 千葉演習林

Abe T, Volf M, Libra M, Kumar R, Abe H, Fukushima H, Lilip R, Salminen JP, Novotny V, Kamata N, Murakami M : Effects of plant traits on caterpillar communities depend on host specialisation, *Insect Conservation and Diversity*, 14 : 756–767(2021) : 千葉演習林

Ishizuka W, Kon H, Kita K, Kuromaru M, Goto S : Local adaptation to contrasting climatic conditions in Sakhalin fir (*Abies sachalinensis*) revealed by long-term provenance trials, *Ecological Research*, 36(4) : 720-732(2021) : 北海道演習林

Matsunaga H, Matsuo N, Nakai T, Yoshifuji N, Tanaka N, Tanaka K, Tantasirin C : Absorption and emission of water vapor from the bark of teak (*Tectona grandis*), a deciduous tree, in a tropical region during the dry season, *Hydrological Research Letters*, 15 : 58-63(2021) : 北海道演習林

Mizuuchi Y, Nakamura KW : Landscape assessment of a 100-year-old sacred forest within a shrine using geotagged visitor employed photography, *Journal of Forest Research*, 26(4) : 267-277(2021) : 生態水文学研究所

Torii M, Kusumoto D, Yamada T : Variation in virulence and its relation to hyphal growth and enzyme activity of *Raffaelea quercivora*, a Japanese oak wilt pathogen, *Forest Pathology*, 51(4) : e12702(2021) : 田無演習林

Goto S, Mori H, Uchiyama K, Ishizuka W, Taneda H, Kono M, Kajiya-Kanegae H, Iwata H : Genetic dissection

- of growth and eco-physiological traits associated with altitudinal adaptation in Sakhalin fir (*Abies sachalinensis*) based on QTL mapping, *Genes*, 12(8) : 1110(2021) : 田無演習林
- Parhizkar M, Shabanpour M, Lucas-Borja ME, Zema DA, Li SY, Tanaka N, Cerdà A : Effects of size and rate of rice straw mulch on surface runoff and soil loss under laboratory simulated rainfall, *International Journal of Sediment Research*, 36 : 468-478(2021) : 北海道演習林
- Paing AMM, Chen SF, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Kadomatsu M, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Osumi K, Taneda H, Hisamoto Y, Goto S : Determination of intraspecific variation in seed weight, leaf functional traits, and sapling size of *Betula ermanii* using a common garden experiment, *Journal of Forest Research*, 26(6) : 419-426 (2021) : 田無演習林
- Hirao T, Fujii M, Shigyo N, Kojima H, Fukui M : Influence of understory vegetation on soil bacterial communities and nitrogen cycling gene abundance in cool-temperate and sub-alpine forests along an elevational gradient, *Pedobiologia*, 87-88 : 150746(2021) : 秩父演習林
- Fibich P, Ishihara MI, Suzuki SN, Doležal J, Altman J : Contribution of conspecific negative density dependence to species diversity is increasing towards low environmental limitation in Japanese forests, *Scientific Reports*, 11 : 18712(2021)
- Saragih SA, Kusumoto D, Takemoto S, Torii M, Kamata N : Virulence of fungi isolated from ambrosia beetles to *Acer amoenum* branches, *Plant Disease*, 105(10) : 3087-3091(2021) : 田無演習林
- Heim O, Puisto AE, Sääksjärvi I, Fukui D, Vesterinen EJ : Dietary analysis reveals differences in the prey use of two sympatric bat species, *Ecology and Evolution*, 11 : 18651-18661(2021) : 北海道演習林
- Hotta W, Morimoto J, Haga C, Suzuki SN, Inoue T, Matsui T, Owari T, Shibata H, Nakamura F : Long-term cumulative impacts of windthrow and subsequent management on tree species composition and aboveground biomass: A simulation study considering regeneration on downed logs, *Forest Ecology and Management*, 502 : 119728(2021) : 北海道演習林
- Kimura Y, Fukui D, Yoshiyuki M, Higashi K : Conservation paleobiology on Minami-Daito Island, Okinawa, Japan: anthropogenic extinction of cave-dwelling bats on a tropical oceanic island, *PeerJ*, 10 : e12702(2022) : 北海道演習林
- Peng Y, Buranapanichpan A, Kamata N : Succession of Ambrosia Beetles Colonizing the Logs of Fallen Alder and Birch Trees, *Insects*, 13(3) : 223(2022) : 北海道演習林
- Suzuki K, Ishiyama N, Koizumi I, Nakamura F : Combined effects of summer water temperature and current velocity on the distribution of a cold-water-adapted sculpin (*Cottus nozawae*), *Water*, 13(7) : 945(2021) : 北海道演習林
- Tsunoda H : Human disturbances increase vigilance levels in sika deer (*Cervus nippon*): A preliminary observation by camera-trapping, *Russian Journal of Theriology*, 20(1) : 59-69(2021) : 秩父演習林
- Saragih SA, Takemoto S, Kusumoto D, Kamata N : Fungal diversity in the mycangium of an ambrosia beetle *Xylosandrus crassiusculus* (Coleoptera: Curculionidae) in Japan during their late dispersal season, *Symbiosis*, 84(1) : 111-118(2021) : 田無演習林
- Tamura N, Ito M, Hayashi F : Different responses of endemic and alien tree squirrels to tree seed chemicals, *Mammal Study*, 46 : 237-250(2021) : 北海道演習林
- Wijenayake PR, Hiroshima T : Age-based survival analysis of coniferous and broad-leaved trees: A case study of preserved forests in northern Japan, *Forests*, 12(8) : 1014(2021) : 北海道演習林
- Goto S, Mori H, Uchiyama K, Ishizuka W, Taneda H, Kono M, Kajiya-Kanegae H, Iwata H : Genetic dissection of growth and eco-physiological traits associated with altitudinal adaptation in Sakhalin fir (*Abies sachalinensis*) based on QTL mapping, *Genes*, 12(8) : 1110(2021) : 北海道演習林
- Wijenayake PR, Hiroshima T : Survival analyses of individual tree populations in natural forest stands to evaluate the maturity of forest stands: A case study of preserved forests in Northern Japan, *Journal of Forest Planning* 28, 1-13(2021) : 北海道演習林
- Nakajima S, Sueyoshi M, Hirota SK, Ishiyama N, Matsuo A, Suyama Y, Nakamura F : A strategic sampling design revealed the local genetic structure of cold-water fluvial sculpin: a focus on groundwater-dependent water temperature heterogeneity, *Heredity*, 127 : 413-422(2021) : 北海道演習林
- Ohi-Toma T, Komaki Y, Ideno T, Ishihara S : DNA-based identification of *Cedrus* (Pinaceae) planted in Japan *The Journal of Japanese Botany*, 96(4) : 213-223(2021) : 田無演習林
- Hirao T, Fujii M, Shigyo N, Kojima H, Fukui M : Influence of understory vegetation on soil bacterial communities



- and nitrogen cycling gene abundance in cool-temperate and sub-alpine forests along an elevational gradient, *Pedobiologia*, 87-88 : 2E+05(2021) : 秩父演習林
- Ota K, Yokoyama Y, Miyairi Y, Yamamoto S, Miyajima T : Lake water dissolved inorganic carbon dynamics revealed from monthly measurements of radiocarbon in the Fuji Five Lakes, Japan, *Elementa: Science of the Anthropocene*, 9(1) : 00149(2021) : 富士演習林
- Aizawa M, Worth JRP : Phylogenetic origin of two Japanese *Torreya* taxa found in two regions with strongly contrasting snow depth, *Journal of Plant Research*, 134(5) : 907-919(2021) : 千葉演習林
- Miyata U, Arakawa K, Takei M, Asami T, Asanbou K, Toshima H, Suzuki Y : Identification of an aromatic aldehyde synthase involved in indole-3-acetic acid biosynthesis in the galling sawfly (*Pontania* sp.) and screening of an inhibitor, *Insect Biochemistry and Molecular Biology*, 137 : 1E+05(2021) : 千葉演習林
- Iwakiri A, Matsushita N, Fukuda K : Snow mold fungus *Racodium therryanum* is phylogenetically *Herpotrichia juniperi*, *Mycoscience*, 62 : 406-409(2021)北海道演習林
- Paing AMM, Chen SF, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Kadomatsu M, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Osumi K, Taneda H, Hisamoto Y, Goto S : Determination of intraspecific variation in seed weight, leaf functional traits, and sapling size of *Betula ermanii* using a common garden experiment, *Journal of Forest Research*, 26(6) : 419-426(2021) : 北海道演習林
- Zhu XJ, Zhang SN, Watanabe K, Kawakami K, Kubota N, Takagi E, Tanahashi M, Wen XJ, Kubota K : Diverse Heat Tolerance of the Yeast Symbionts of *Platycerus* Stag Beetles in Japan, *Frontiers in Microbiology*, 12 : 8E+05(2022) : 秩父演習林
- Sakio H, Nirei T : Is the High Proportion of Males in a Population of the Self-Incompatible *Fraxinus platypoda* (Oleaceae) Indicative of True Androdioecy or Cryptic-Dioecy?, *Plants*, 11(6) : 753(2022) : 秩父演習林
- Aye Myat Myat Paing : Evaluating the effects of global warming on survival and growth of *Berula ermanii* based on range-wide provenance trials, 東京大学, 修士論文 : 57pp(2022)千葉演習林
- Li Yanbo : Locating Windthrown Area in the University of Tokyo Chiba Forest Using Aerial Photos, 東京大学, 修士論文 : 72pp(2021) : 千葉演習林
- 鎌田 直人 : 在・不在データと環境アセスメント, *JEAS NEWS*, 169 : 14-15(2021) : 千葉演習林
- 浅野 友子, 鈴木 智之 : 秩父山地の山地帯林と亜高山帯林からなる流域における水収支 —1 kmメッシュ解析雨量の精度検証と流域平均降水量の算出—, *日本森林学会誌*, 103(2) : 145-155(2021) : 秩父演習林
- 水内 佑輔 : 造園学からみた明治神宮林苑の”風致”, *神園*, 25 : 23-35(2021) : 生態水文学研究所
- 内田 太郎, 浅野 友子, 水垣 滋, 横尾 善之, 丹羽 諭, 五味 高志, 勝山 正則, 平岡 真合乃 : 山地流域の水・土砂流出における空間スケールの影響 (4) : 水・土砂流出予測精度向上に向けた提案, *水文・水資源学会誌*, 34(3) : 192-204(2021) : 生態水文学研究所
- 澤田 晴雄, 井上 淳, 岸本 光樹, 梁瀬 桐子 : 東京大学生態水文学研究所の天然林における約20年間の変化, *中部森林研究*, 69 : 37-40 (2021) : 生態水文学研究所
- 陳 元君, 石橋 整司 : 中国海南省鸚哥嶺自然保護区管理機関の現状と問題点, 東京大学農学部演習林報告, 144 : 1-32(2021) : 田無演習林
- 當山 啓介, 尾張 敏章, 千嶋 武 : 歴代の経営案・計画の精査に基づく東京大学千葉演習林の森林蓄積量の推移, 東京大学農学部演習林報告, 144 : 33-48(2021) : 千葉演習林
- 蔵治 光一郎, 藤原 章雄, 村瀬 一隆, 西山 教雄, 齋藤 暖生, 辻 良子, 山本 清龍 : 富士癒しの森研究所における降水量の推定, 東京大学農学部演習林報告, 144 : 49-62(2021) : 富士癒しの森研究所
- 水内 佑輔 : 日本森林学会 2020年度「林業遺産」選定事業, *森林技術*, 951 : 30-34(2021) : 生態水文学研究所
- 當山 啓介 : 日本の林業遺産を知ろう! 第27回 平蔵沢ヒバ人工林施業展示林, *林野*, 172 : 16-17(2021) : 千葉演習林
- 三次 充和, 久本 洋子, 鈴木 廣志 : 千葉県房総半島より確認された外来カワリヌマエビ属の一種の外形形態, 遺伝子情報および生活史, *CANCER*, 30 : 1-9(2021) : 千葉演習林
- 山田 祐亮, 當山 啓介 : 「植栽を促進する地域」の内外における伐採傾向の差, *日本森林学会誌*, 103(4) : 259-265(2021) : 千葉演習林
- 蔵治 光一郎, 齋藤 暖生, 西山 教雄, 辻 良子 : 富士癒しの森研究所における降水量の長期変化傾向, 東京大学農学部演習林報告, 145 : 1-18(2021) : 富士癒しの森研究所
- 蔵治 光一郎 : 人工林の皆伐と保水力の関係 雨水遮断力の洪水緩和効果を活かす, 季刊「地域」, 47 :

104-109(2021) : 生態水文学研究所  
 坂上 大翼 : サクラ類栽培品種‘ソメイヨシノ’の挿木増殖における挿付条件, 樹木医学研究, 25(4) : 125-135(2021) : 秩父演習林  
 後藤 晋 : 【特集】 林木育種の視点からみたコンテナ苗の現状と課題 今, なぜ森林遺伝育種学会で, コンテナ苗なのか, 森林遺伝育種, 8(4) : 164-166(2021) : 田無演習林  
 江崎 功二郎, 八木 豊夫, 鎌田 直人 : マツの枝せん定処理によるマツノマダラカミキリの誘引, 日本森林学会誌, 103(5) : 367-371(2021) : 千葉演習林  
 齋藤 暖生 : 東京大学富士癒しの森研究所における薪の活用, 森林技術, 955 : 16-19(2021) : 富士癒しの森研究所  
 北村 系子, 石塚 航, 後藤 晋 : 日本の森林樹木の地理的遺伝構造 (31) トドマツ (マツ科モミ属), 森林遺伝育種, 10 : 44-48(2021) : 田無演習林  
 齋藤 暖生 : 遊び仕事, 森林レクリエーション, 415 : 3(2021) : 富士癒しの森研究所  
 松岡 佑典, 林宇 一, 有賀 一広, 白澤 紘明, 當山 啓介, 守口 海 : 森林GISを用いた木質バイオマス発電のための未利用材利用可能量推計, 日本森林学会誌, 103(6) : 416-423(2021) : 千葉演習林  
 米道 学, 軽込 勉, 鈴木 祐紀, 塚越 剛史, 阿達 康眞, 久本 洋子, 楠本 大 : 高齢なヒメコマツ天然木の遺伝子保存に向けた挿し木クローン作出のための手順の開発, 森林遺伝育種, 11(1) : 1-7(2022) : 千葉演習林  
 赤坂 信, 水内 佑輔, 木下 剛 : 上原敬二賞受賞者に聞く 赤坂 信先生, ランドスケープ研究, 85(4) : 348-351(2022) : 生態水文学研究所  
 當山 啓介 : 林業遺産座談会「林業遺産の歴史的資料の現状とこれから」, 森林科学, 94 : 6-10(2022) : 千葉演習林  
 佐藤 貴紀, 田中 延亮, ナイナール アナン, 蔵治 光一郎, 五名 美江, 鈴木 春彦 : 間伐遅れのヒノキ人工林斜面を対象とした小型トラップを用いた土壌侵食と表面流の同時観測, 水利科学, 65(6) : 15-35(2022) : 生態水文学研究所  
 石塚 航, 内山 憲太郎, 陳 淑芬, 後藤 晋 : グイマツとカラマツにおける葉緑体ミトコンドリア変異検出マーカーセットLgLk-CMVの開発一, 日本森林学会誌, 104(1) : 44-49(2022) : 北海道演習林  
 小川 瞳, 大川 あゆ子, 井口 和信, 鈴木 智之 : 溪畔林18ha長期生態系プロットにおける25年間の森林動態, 北方森林研究, 70 : 49-52(2022) : 北海道演習林  
 及川 希, 松井 理生, 福井 大, 平川 浩文 : カメラトラップを用いた北海道中央部の哺乳類相と日周性の解明, 北方森林研究, 70 : 65-68(2022) : 北海道演習林  
 浅野 友子, 川崎 雅俊, 浅井 和由 : 秩父山地の滝川流域, 入川流域で採取した湧水のCFCsとSF6を用いた平均滞留時間推定, 演習林 (東大), 65 : 1-12(2022) : 秩父演習林  
 東京大学演習林基盤データ整備委員会生物部門脊椎動物分野 : 東京大学演習林自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 13-16(2022) : 全演習林  
 三次 充和, 里見 重成 : 千葉演習林自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 17-19(2022) : 千葉演習林  
 及川 希, 小林 徹行, 片平 可奈 : 北海道演習林自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 21-23(2022) : 北海道演習林  
 高野 充広, 磯崎 靖雄, 富澤 貴志, 中川 雄治 : 秩父演習林自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 25-27 (2022) : 秩父演習林  
 栗田 直明, 相川 美絵子 : 田無演習林自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 29-31 (2022) : 田無演習林  
 丹羽 悠二, 高橋 功一, 里見 重成 : 生態水文学研究所自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 33-35 (2022) : 生態水文学研究所  
 辻 良子, 辻 和明, 西山 教雄 : 富士癒しの森研究所自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 37-39(2022) : 富士癒しの森研究所  
 渡邊 良広, 小林 徹行 : 樹芸研究所自動撮影カメラ調査成果報告 (2016年4月~2021年3月), 演習林 (東大), 65 : 41-43(2022) : 樹芸研究所  
 Tanigawa K, Hirao T : Invasion of the raccoon *Procyon lotor* into the remote mountainous area of the Chichibu region, Saitama Prefecture, Japan, 演習林 (東大), 65 : 45-50(2022) : 秩父演習林  
 浅野 友子, 川崎 雅俊, 高德 佳絵, 原口 竜成, 齋藤 俊浩, 相川 美絵子, 五十嵐 勇治 : 秩父演習林

における渓流水と降水の水質分析結果報告, 演習林(東大), 65:51-57(2022): 秩父演習林

小川 瞳, 田中 延亮, 福井 大: 北海道演習林山部気象観測点新露場における2018年11月から2020年12月までの観測データ, 演習林(東大), 65:59-69(2022): 北海道演習林

小川 瞳, 井口 和信, 高橋 康夫, 岡村 行治, 大川 あゆ子, 松井 理生, 鈴木 智之: 北海道演習林における岩魚沢大面積長期生態系プロットの林分成長資料(1994-2019), 演習林(東大), 65:71-80(2022): 北海道演習林

東京大学演習林鳥類研究会: 東京大学演習林鳥類目録 第3版(2014年4月~2021年3月), 演習林(東大), 65:81-101(2022): 全演習林

木村 徳志, 福岡 哲, 小川 瞳, 廣田 善己, 鎌田 直人: 東京大学北海道演習林における2011~2020年の樹木フェノロジーデータ, 演習林(東大), 65:103-110(2022): 北海道演習林

東京大学演習林基盤データ整備委員会生物部門脊椎動物分野: 東京大学演習林コウモリ類調査成果報告(2013年~2020年), 演習林(東大), 65:111-122(2022): 全演習林

齋藤 暖生, 三浦 直子, 西山 教雄, 辻 良子, 石橋 整司: 富士癒しの森研究所カラマツ系統別試験地資料, 演習林(東大), 65:123-136(2022): 富士癒しの森研究所

岸本 光樹: 愛知県瀬戸市に位置する東京大学生態水文学研究所のチョウ類相, 演習林(東大), 65:137-148(2022): 生態水文学研究所

東京大学演習林: 東京大学演習林水文観察・水質分析報告(自2019年1月至2019年12月), 演習林(東大), 65:149-159(2022): 全演習林

東京大学演習林: 東京大学演習林気象報告(自2020年1月至2020年12月), 演習林(東大), 65:161-196(2022): 全演習林

才木 道雄: 東京大学秩父演習林で発生した森林火災がカミキリムシ類に与えた影響, 関東森林研究, 73:81-84(2022): 秩父演習林

原口 竜成, 平尾 聡秀, 山田 利博: 東京大学秩父演習林におけるナミダタケモドキによる根株心腐の感染経路についての検討-支障木伐採根の解体による予備的調査結果-, 関東森林研究, 73:137-140(2022): 秩父演習林

斉藤 明子, 村川 功雄, 尾崎 煙雄: 千葉県におけるアマミトガリナナフシの再発見, 月刊むし, 614:39-41(2022): 千葉演習林

福岡 哲, 木村 徳志, 松井 理生, 鈴木 智之: 東京大学北海道演習林におけるコンテナ苗栽培, 北海道の林木育種, 64(2):29-33(2022): 北海道演習林

金道 知聖, 楠本 大, 後藤 晋, 久本 洋子: 地中の障害物がモウソウチク実生の成長および地下茎の伸長に及ぼす影響, *Bamboo Journal*, 32:11-19(2021): 千葉演習林

吉田 拓矢: シカ食害下の森林における送粉サービスのソース・シンク効果, 東京大学, 修士論文: 92pp(2022): 秩父演習林

白間 菜々海: ズミの隔離小集団における自家不和合性遺伝子の多様性と結実率および種子の発芽特性, 東京大学, 修士論文: 101pp(2022): 田無演習林, 富士演習林

塚本 宝: ライム病ボレリアを媒介するシュルツェマダニの歴史的な集団動態と遺伝構造に影響を及ぼす要因の解明, 東京大学, 修士論文: 78pp(2022): 秩父演習林

上野 大輔: 同所的に生息するキョンとシカの日周活動と行動様式の比較, 東京大学, 卒業論文, 39pp(2022): 千葉演習林・秩父演習林

齋藤 周: 人間活動がニホンジカの行動様式と日周性に及ぼす影響, 東京大学, 卒業論文: 41pp(2022): 秩父演習林

小林 裕子: 酢酸施用がスギコンテナ苗の灌水停止による乾燥への応答に与える影響, 東京大学, 卒業論文: 46pp(2022): 田無演習林

坂巻 実佳: 国産ユーカリの物理的・生理的特性の評価, 東京大学, 卒業論文: 33pp(2022): 樹芸研究所

宮田 海: 昆虫のインドール酢酸生合成における芳香族アルデヒド合成酵素の機能に関する研究, 茨城大学, 修士論文: 78pp(2022): 千葉演習林

松木 優香: ウイルス感染がヤマイモの葉緑素量・多糖類量に与える影響, 日本大学, 卒業論文: 20pp(2022): 田無演習林

前田 裕: 都内5地域におけるヤマノイモ個体群の遺伝的多様性とウイルス感染率の関係, 日本大学, 卒業論文: 19pp(2022): 田無演習林

- 佐々木真：Factors controlling net soil nitrogen mineralization rates in Japanese forest ecosystems, 京都大学, 修士論文：52pp(2022)：生態水文学研究所
- 寛 優祐：コナラ二次林における樹幹流の水質特性, 豊田工業高等専門学校, 卒業論文：19pp(2022)：生態水文学研究所
- 大澤 光太郎：コナラ林の樹幹流下量に影響を及ぼす複数の樹木特性因子の相互関係, 林内雨量に影響を及ぼす要因の検討, 豊田工業高等専門学校, 卒業論文：27pp(2022)：生態水文学研究所
- 大沼 裕貴：森林流域における蛍光回帰法を用いた溶存有機炭素流出負荷量の推定, 豊田工業高等専門学校, 卒業論文：26pp(2022)：生態水文学研究所
- 横田 聖弥：森林流域における腐植物質の森林間差異の比較, 豊田工業高等専門学校, 卒業論文：25pp(2022)：生態水文学研究所
- 原口 雅人, 木村 恵, 大谷 雅人, 平岡 宏一, 高橋 誠：埼玉県内におけるブナの天然集団および植栽された実生苗の遺伝的特徴, 森林遺伝育種, 10(2)：70-79(2021)：秩父演習林
- 浅野 友子, 鈴木 智之：秩父山地の山地帯林と亜高山帯林からなる流域における水収支 —1 kmメッシュ解析雨量の精度検証と流域平均降水量の算出—, 日本森林学会誌, 103(2)：145-155(2021)；秩父演習林
- 田悟 敏弘：主に関東地方で採集したハチ目・広腰亜目の分布資料, 寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌), 181：3-8(2021)：秩父演習林
- 野澤 雅美, 田悟 敏弘, 奥田 恭介, 室 紀行：<東京大学秩父演習林の昆虫類データベース>東京大学秩父演習林とその周辺地で記録した昆虫 異翅類 (第2報), 寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌), 182：1-8(2021)：秩父演習林
- 阿部 功・萩原 昇：東大秩父演習林で採集した小蛾類の記録 (注目すべき種), 寄せ蛾記 (埼玉昆虫談話会誌), 182：23-25(2021)：秩父演習林
- 坂上 大翼：サクラ類栽培品種'ソメイヨシノ'の挿木増殖における挿付条件, 樹木医学研究, 25(4)：125-135(2021)：田無演習林
- 齋藤 暖生：東京大学富士癒しの森研究所における薪の活用, 森林技術, 955：16-19(2021)：富士演習林
- 鶴田 燃海・内貴 章世・練 春蘭：外来の*Oldenlandia bosci* (アカネ科) を東京大学田無演習林に記録する, 植物地理・分類研究, 69(2)：211-214(2021)：田無演習林
- 岡本貴久子：奈良公園の人気者「ニホンジカ」と東京大学千葉演習林, NARA奈良に蒔かれた言葉-近世・近代の思想-, 3：133-138(2022)：千葉演習林

## 東京農工大学

- Mensah Akwasi Dwira: The role of organic layers on depth distribution and migration of <sup>137</sup>Cs within forest soils in Japan. 東京農工大学大学院 連合農学研究科 博士論文: 165 pp. (2022): FM唐沢山
- Dinh Quynh Oanh: Evaluating and modeling the effects of thinning on stream thermal regimes in a forested headwater catchment. 東京農工大学大学院 連合農学研究科 博士論文: 216 pp. (2021): FM唐沢山
- Chiara Bottaro: Developing a method for forest structure analysis by integrating photogrammetric techniques and stem analysis - Forests as Green Infrastructures -. 東京農工大学大学院 農学府 農学専攻 修士論文 (2021): 99pp. (ミラノ大学とのダブルディグリープログラム)：FM唐沢山
- Nguyen Thi My Linh: Evaluating the relationship between bedrock groundwater and runoff generation in a headwater catchment. 東京農工大学大学院 農学府 農学専攻 修士論文 (2021): 127pp.: FM唐沢山
- 田中 真子: 北関東の落葉広葉樹林における根と葉のポリフェノール濃度に及ぼす立地の影響. 東京農工大学大学院 農学府 農学専攻 修士論文: 87 pp. (2022): FM草木
- 深見 泰河: 交雑ポプラ放射柔細胞の細胞死過程における細胞内容物の変化およびプロテアーゼRD21の局在. 東京農工大学大学院 農学府 農学専攻 修士論文: 69 pp. (2022): FM府中苗圃
- Pham Thuy Linh: Short-term and Long-term Effects of Thinning on Canopy Interception of Japanese Plantation Forest. 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 地球科学学位プログラム 修士論文 (2022): FM唐沢山
- 大桃 早貴: スギ・ヒノキ人工林の間伐による地下水涵養機構と涵養量の変化. 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 地球科学学位プログラム 修士論文 (2022): FM唐沢山
- 木下 元祐: Pb-210ex, Cs-137, Cs-134を用いた間伐による斜面スケールから流域スケールまでの細粒土砂移動プロセスの解明. 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 地球科学学位プ

- ログラム 修士論文 (2022): FM唐沢山
- 赤羽 雄: 森林立地とカラマツ根のポリフェノール特性との関係. 東京農工大学 農学部 卒業論文: 66 pp. (2022): FM草木
- 竹下尚輝: 細根更新時に形成される菌根菌相への土壌の影響. 東京農工大学 農学部 卒業論文: 40 pp. (2022): FM府中苗圃
- 横手 龍樹: 落葉広葉樹の落葉における放射性Csの長期変化～FM草木LTER試験地の調査から～. 東京農工大学農学部 卒業論文: 26 pp. (2022): FM草木
- 田中 美衣: 針葉樹人工林におけるアリ類の営巣する切株の条件. 東京農工大学 農学部 卒業論文: 22 pp. (2022): FM草木
- 橋本 朝陽: 人工衛星・UAVリモートセンシングを用いた森林における蒸発散量の広域推定. 筑波大学生命環境学群地球学類 地球環境学主専攻 卒業論文 (2022): FM唐沢山
- 小野里 尚哉: 林床面蒸発散量推定モデルの精度向上に向けたパラメータ検証. 筑波大学生命環境学群地球学類 地球環境学主専攻 卒業論文 (2022): FM唐沢山
- 金子 知彩: 大学キャンパス内での剪定枝のエネルギー利用による環境・経済評価. 東京農工大学 農学部 卒業論文: 46 pp. (2022): FM府中苗圃
- 小山龍利: PTO駆動小型チップパーの生産性・燃料消費量に及ぼす樹種および丸太形状の影響. 東京農工大学農学部 卒業論文: (2022): FM唐沢山, FM府中苗圃
- 坂下志保: 受口形状に対する追口位置がツルの破壊過程に与える影響. 東京農工大学農学部 卒業論文: 24pp: (2022): FM唐沢山
- Tomohiro Yoshida, Yasunori Kusunoki, Yuya Fukano, Naoki Hijii: Vertical distribution of arthropod assemblages and the effects of weather conditions on arthropod rain in a temperate conifer forest. *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 672601 (2021).
- Akwasi Dwira Mensah, Hiroto Toda, Sonoko Dorothea Bellingrath-Kimura, Hiroaki Kato, Dongsu Choi: The Distribution and Migration of <sup>137</sup>Cs in Oak (*Quercus serrata*) and Cedar (*Cryptomeria japonica*) Forest Organic Fractions. *Forests*, 12(8): 1-15 (2021): FM 唐沢山
- Dinh Quynh Oanh, Takashi Gomi, R Dan Moore, ChanWei Chiu, Marino Hiraoka, Yuichi Onda, Bui Xuan Dung: Stream temperature response to 50% strip-thinning in a temperate forested headwater catchment. *Water*, 13(8): 1022 (2021): FM 唐沢山
- ChanWei Chiu, Takashi Gomi, Marino Hiraoka, Katsushige Shiraki, Yuichi Onda, Bui Xuan Dung: Evaluating changes in catchment-scale evapotranspiration after 50% strip-thinning in a headwater catchment. *Hydrological Processes*, 36(6): e14611 (2022): FM 唐沢山
- Yupan Zhang, Yuichi Onda, Hiroaki Kato, Bin Feng, Takashi Gomi: Understory biomass measurement in a dense plantation forest based on drone-SfM data by a manual low-flying drone under the canopy. *Journal of Environmental Management*, 312: 114862 (2022): FM 唐沢山
- Megumi Ohse, Rika Irohara, Etsushi Iizuka, Izumi Arakawa, Peter Kitin, Ryo Funada, Satoshi Nakaba: Sequent periderm formation and changes in the cellular contents of phloem parenchyma during rhytidome development in *Cryptomeria japonica*. *Journal of Wood Science*, 68: 19 (2022): FM 府中苗圃
- Sota Makino, Takeshi Onishi, Akika Itoh, Issei Sato, Tomohumi Huzita, Chihiro Kayo: Sustainable campus: Reducing environmental and financial burdens by using pruned branches for on-campus energy. *Sustainability*, 13: 7480 (2021): FM 府中苗圃
- Katsushige Shiraki, Shunsuke Kawana, Haruna Tsujinaka, Sakura Ariyoshi, and Yoshimi Uchiyama : A preliminary observation for quantifying detached stemflow. *Hydrological Research Letters*. 16(1), p.1-6 (2022): FM 府中
- 宇佐美 広祐, 戸田 浩人, 崔 東寿: ウリハダカエデの樹液糖度に及ぼす土壌と葉の養分の影響. 関東森林研究, 73: 85-88 (2022): FM 草木
- 中村 晟聡, 戸田 浩人, 崔 東寿: Plant Microbial Fuel Cell の発電量に及ぼす植被と土壌含水率の影響. 関東森林研究, 73: 159-160 (2022) : FM 府中苗圃
- 戸田 浩人, 東川 侑生, 崔 東寿: アカマツ・ヒノキ・スギの根のポリフェノールと森林土壌との関係. 関東森林研究, 73: 161-162 (2022): FM 草木

#### 筑波大学 山岳科学センター

澤田 聖人, 門脇 正史: 茨城県におけるヘビ類の資源利用様式の変化—25 年前と比較して, 爬虫両性

- 類学会報, 2021 (1) : 106 (2021) : 茨城県つくば市
- Ayano Oka, Junko Takahashi, Yoshikazu Endoh and Tatsuyuki Seino : Bark Effects on Stemflow Chemistry in a Japanese Temperate Forest I. The Role of Bark Surface Morphology, *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: (2021):筑波実験林
- 篠原 碧 : 人工衛星を使った常緑樹の樹種判別・分類における開花季節の利用, 筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究群環境科学学位プログラム修士論文:(2022) : 筑波実験林
- 田邊 萌: つくば市周辺における周辺景観が開放水面でのコウモリの活動に与える影響, 筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究群生物資源科学学位プログラム修士論文:(2022):筑波実験林
- Paul A. E. FAURE : Effect of weather conditions on bat activity from winter to spring: a case study in Tsukuba City, Japan, *研究インターンシップ*, (2022): 筑波実験林
- Yoshihiko Tsumura : Genetic guidelines for tree species and perspectives on the conservation and sustainable use of forests, *Journal of Forest Research*, 27: (83-95)(2022):筑波実験林
- 荒木 響子, 相原 隆貴, 後藤 晋, 飯尾 淳弘, 津村 義彦: ダケカンバ産地試験を用いた標高の異なる 2 試験地における形態形質の産地間変異と表現型可塑性, 森林遺伝育種学会第 10 回大会(2021): 筑波実験林
- 相原 隆貴, 荒木 響子, 後藤 晋, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松大, 久本 洋子, 津村 義彦: ダケカンバ産地試験を用いた葉形質の種内変異と気温上昇による変化の検出, 森林遺伝育種学会第 10 回大会(2021) : 筑波実験林
- Matsumoto Naoki, Sato Yukie : Can two predatory mites be biological control agents of exotic bamboo mites in Europe?, *Ecological Across Borders*, Poster(2021) : 筑波実験林
- 相原 隆貴, 荒木 響子, 後藤 晋, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松大, 久本 洋子, 津村 義彦 : 森林限界の樹木ダケカンバの温暖地での生育試験, 令和 3 年度佐渡ゼミ (2021) : 筑波実験林
- Ragini Sarmah, Mitsuru Hirota, Kyoko Araki, Takaki Aihara, Yoshihiko Tsumura : Intra-specific leaf trait variations and acclimation capacity across climate gradients in a typical alpine tree (*Betula ermanii*) sapling, *The 69th meeting of the Ecological Society of Japan*. (2022) : 筑波実験林
- Oka, A., Takahashi, J., Endoh, Y. & Seino, T.: Bark effects on stemflow chemistry in a Japanese temperate forest I. The role of bark surface morphology., *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 10.3389/ffgc.2021.654375 (2021):井川演習林
- 渡壁卓磨, 大澤光, 荒井紀之, 土井一生, 山川陽祐: 山地上流において穿入蛇行が開始する条件—高角な層理面をもつ東河内川の事例—, 日本地球惑星科学連合大会(2021), 口頭: H-GM03 (2021):井川演習林
- Gomez Christopher, Yamakawa Yosuke: Ground Penetrating Radar Investigation of Landslide Crown Subsidence, *Japan Geoscience Union Meeting 2021*, 口頭: HTT30-01 (2021):井川演習林
- 山川陽祐, 興水康二, 内田太郎: 付加体堆積岩の大規模崩壊多発地における降雨流出特性の空間分布, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, 口頭: HDS10-08 (2021):井川演習林
- 大澤光, 土井一生, 荒井紀之, 山川陽祐, 渡壁卓磨: 崩壊斜面源頭部に広がる線状凹地の地下構造の推定 (Estimation of subsurface structure in the linear depression spreading over the landslide crown), 日本地球惑星科学連合大会(2021), 口頭: HDS10-04 (2021):井川演習林
- Oka, A., Takahashi, J., Endoh, Y. & Seino, T.: Bark effects on stemflow chemistry in a Japanese temperate forest II. The role of bark surface morphology., *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 10.3389/ffgc.2021.657850 (2021):井川演習林
- 羽鹿 孝文, 内田 太郎, 山川 陽祐: 大起伏山地の降雨流出特性の空間分布, 日本水文科学会 2021 年度研究発表会, 口頭: PP-A1-18 (2021):井川演習林
- Catur Putra Satgada: Effect of the shallow landslide occurrence on the soil carbon/nitrogen loss in Southern Japanese Alps, *International Seminar on Integrating Field Monitoring and Management Towards Sustainable Ecosystem Services in Asian Forests*, 口頭: C5 (2021):井川演習林
- 大澤光, 土井一生, 荒井紀之, 山川陽祐, 渡壁卓磨: 線状凹地の発達する大規模地すべり地における地下構造の推定 (Estimation of Subsurface Structures in Landslide Areas with Linear Depressions), 京都大学防災研究所研究発表講演会(令和 3 年度), 口頭: D117 (2022):井川演習林
- 川上 香: 日本の山村における地カブの栽培方法について, *総研大文化科学研究*, 18: 49-61 (2022):井川演習林
- 川上 香: 南アルプス山麓における焼畑・常畑・採草地の複合とその変化—1950 年代から 1970 年代の

- 静岡県井川地区の事例一, 民博焼畑研究会, : (2022):井川演習林
- Oka, A., Takahashi, J., Endoh, Y. & Seino, T. Bark effects on stemflow chemistry in a Japanese temperate forest I. The role of bark surface morphology. *Frontiers in Forests and Global Change*, 4, 654375. (2021) : 井川演習林, 筑波実験林, 井川
- Oka, A., Takahashi, J., Endoh, Y. & Seino, T. Bark effects on stemflow chemistry in a Japanese temperate forest II. The role of bark anatomical features. *Frontiers in Forests and Global Change*, 4, 657850. (2021) : 井川演習林, 井川
- Takagi T, Tsuda Y, Harumi T, Tamate H, Kaneko S, Nagata J. Development of paternally-inherited Y chromosome simple sequence repeats of sika deer and their application in genetic structure, artificial introduction, and interspecific hybridization analyses. *Population Ecology* 64: 150-160,2021. 筑波大学山岳センター八ヶ岳演習林・菅平高原実験所
- Yamakawa U, Senou H, Tsuda Y. Northernmost record of *Eleotris oxycephala* (Gobioidei: Eleotridae) based on a juvenile specimen from Akita Prefecture in northern Japan : range extension along the Sea of Japan coastline. *Biogeography* 23:6-12. 2021. 筑波大学山岳センター八ヶ岳演習林・菅平高原実験所
- Yumoto K, Kanbe T, Saito Y, Kaneko S, Tsuda Y. Efficient PCR Amplification Protocol of Nuclear Microsatellites for Exuviae-Derived DNA of Cicada, *Yezoterpnosia nigricosta*. *Frontiers in Insect Science* 1. <https://doi.org/10.3389/finsc.2021.696886> 筑波大学山岳センター八ヶ岳演習林・菅平高原実験所
- Yamakawa U, Kanou K, Tsuda Y, Kon K. Food resource use by juveniles of the endangered sleeper *Eleotris oxycephala* in the Sagami River system, Japan. *Ichthyological Research* 68(3): 426-436. 2021. 筑波大学山岳センター八ヶ岳演習林・菅平高原実験所
- 中田 修人 (静岡大)、佐藤 温起 (静岡大)、荒木 響子 (筑波大)、津村 義彦 (筑波大)、後藤 晋 (東京大)、飯尾 淳弘 (静岡大) : ダケカンバのクロロフィル蛍光の産地間変異、第 133 回 日本森林学会 (2022 年 3 月) : 八ヶ岳演習林
- 栗林 正俊: 長野県におけるカラマツの葉群フェノロジーの地域特性, 長野県林業総合センター 技術情報, 167: 14-17(2022):川上演習林, 八ヶ岳演習林, 菅平高原実験所
- 荒木 響子,相原 隆貴,後藤 晋,飯尾 淳弘,津村 義彦: ダケカンバ産地試験を用いた樹木の温暖化に対する形態形質への影響評価と遺伝的関連, 第 69 回日本生態学会大会, ポスター発表, P1-255 (2022) : 八ヶ岳演習林
- 相原 隆貴: ダケカンバ産地試験を用いた葉形質の種内変異と気温上昇による変化の検出, 森林遺伝育種学会第 10 回大会, ポスター発表, P-05 (2021) : 八ヶ岳演習林
- 相原 隆貴, 荒木 響子, Ragini Sarmah, 蔡 一涵, 後藤 晋, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松 大, 久本 洋子, 廣田 充, 津村 義彦: 出身地の異なるダケカンバの葉形質の違い: 8 箇所での産地試験を用いた葉面積・フェノロジー・気孔の分析, 第 133 回日本森林学会 (2022) : 八ヶ岳演習林
- 坂巻 孟, 遠藤 啓生, 杉山 昌典, 上條 隆志: カラマツ人工林皆伐後 3 年間におけるヤマネとヒメネズミの生育状況の変化様式, 日本生態学会第 68 回岡山大会 (2021) : 八ヶ岳演習林, 川上演習林

## 信州大学

### 農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター演習林

- 一柳 きくの, 城田 徹央, 岡野 哲郎: ヒノキ人工林における間伐後経過年数に対するスズタケと広葉樹の応答, 第11回中部森林学会大会:(2021):手良沢山ステーション
- 大野田 直弥, 城田 徹央, 大塚 大, 齋藤 仁志, 岡野 哲郎: 株立ちした広葉樹の樹冠可塑性と幹傾斜, 第133回日本森林学会大会:(2022):手良沢山ステーション
- 山崎 千種, 城田 徹央, 齋藤 仁志, 岡野 哲郎: アカマツ上木の択伐跡地における2年目の広葉樹の更新, 第133回日本森林学会大会:(2022) : 構内ステーション
- 安部 有佳子: 48年生ヒノキ枝条のサイズ依存的な心材形成, 令和3年度信州大学農学部専攻研究論文:49 pp. (2022):手良沢山ステーション
- 一柳 きくの: ササ型林床ヒノキ人工林における間伐後の下層植生の発達様式, 令和3年度信州大学農学部専攻研究卒業論文:39 pp. (2022):手良沢山ステーション
- 大野田 直弥: 急傾斜地で萌芽更新した広葉樹 3 種の幹傾斜, 令和3年度信州大学農学部専攻研究卒業論文:66 pp. (2022):手良沢山ステーション
- 山崎 千種: 広葉樹林化を目指す構内アカマツ択伐跡地の群集構造, 令和3年度信州大学農学部専攻研究

- 卒業論文:37 pp. (2022):構内ステーション
- Masumoto T, Ito T, Akatsuki M, Makita N:Fine root hydraulic conductivity relates to root functional traits in four coniferous species, *Rhizosphere*, 21:100489 (2022) :手良沢山演習林
- Ito T, Oda A, Akatsuki M, Masumoto T, Makita N:The relationship of inorganic nitrogen uptake with fine root traits of four conifers in cool temperate forest, 11th Symposium of the International Society of Root Research, on-line: (2021) :手良沢山演習林
- Masumoto T, Akatsuki M, Ito T, Makita N:Relationships between fine root hydraulic conductivity and root traits on four conifers in a cool temperate forest. 11th Symposium of the International Society of Root Research. on-line: (2021) :手良沢山演習林
- 勝間 帆波, 暁 麻衣子, 高梨 功次郎, 高橋 史樹, 牧田 直樹:冷温帯林における樹木細根組織に含まれる一次代謝産物の樹種間比較, 第133回日本森林学会大会, オンライン: (2022) :手良沢山演習林
- 増本 泰河, 暁 麻衣子, 伊藤 拓生, 牧田 直樹:樹木細根の形質特性は根水透過性を規定する要因となるのか?, 第11回中部森林学会大会, オンライン : (2021) :手良沢山演習林
- 牧田 直樹:樹木細根の多種間比較で見えてきた光合成産物の使いかた, 北大低温研共同研究集会 「樹木の生態に対するシンクベースの生理的機序からの探求 III」, オンライン: (2021):手良沢山演習林
- 増本 泰河, 暁 麻衣子, 伊藤 拓生, 牧田 直樹:針葉樹4 種において細根系の根特性は根水透過性を規定する要因となるのか?, 第53回根研究集会, オンライン: (2021):手良沢山演習林
- 伊藤 拓生, 小田 あゆみ, 暁 麻衣子, 増本 泰河, 牧田 直樹:針葉樹の細根によるアンモニア態および硝酸態窒素吸収速度は根特性により規定されるのか?, 第53回根研究集会, オンライン:(2021):手良沢山演習林
- 細尾 佳宏, 山下 眞穂, 西村 佳穂:スギにおける単糖トランスポーター遺伝子CjSTP3の単離および解析, 第133回日本森林学会大会:P-204 (2022):構内ステーション
- 大塚 彩葵, 西村 佳穂, 細尾 佳宏:カラマツにおけるカリウムチャンネル遺伝子LKTPK2の単離および解析, 第133回日本森林学会大会:P-205 (2022):構内ステーション
- 小椋 創平, 細尾 佳宏, 桑山 知子, 丸山 淳治, 奥原 祐司, 今井 信, 吉田 孝久, 山口 健太:長野県産カラマツおよびヒノキの熱処理木材の曲げ強度特性と化学成分量, 第72回日本木材学会大会:D15-P-02 (2022):構内ステーション
- 大塚 彩葵:カラマツにおけるカリウムチャンネル遺伝子LkTPK2の単離および解析, 信州大学農学部専攻研究論文:(2022):構内ステーション
- 竹口 実咲:カラマツ高温セット材の収縮率測定, 破面解析およびFT-IRを用いた化学分析, 信州大学農学部専攻研究論文:(2022):構内ステーション
- 小椋 創平:長野県産カラマツおよびヒノキの熱処理木材の曲げ強度特性と化学成分量, 信州大学農学部専攻研究論文:(2022):構内ステーション
- 小田 あゆみ, 伊藤 拓生, 武居 玄, 牧田 直樹, 小林 元:山岳域の標高に沿った土壌中の無機態窒素濃度と植物根による吸収量の変化, 第133回日本森林学会学術講演集, 133(0):240(2022):西駒ステーション
- Masahiro Nakamura, Chisato Terada, Kinya Ito, Kazuaki Matsui, Shigeru Niwa, Masae Ishihara, Tanaka Kenta, Tetsuro Yoshikawa, Taku Kadoya, Tsutomu Hiura, Hiroyuki Muraoka, Ken Ishida, Naoki Agetsuma, Ryosuke Nakamura, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Akira S Mori, Megumi K Kimura, Hiroko Kurokawa, Tsutomu Enoki, Tatsuyuki Seino, Atsushi Takashima, Hajime Kobayashi, Kazuho Matsumoto, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tatenno, Tomohiro Yoshida, Tatsuro Nakaji, Masayuki Maki, Kazutaka Kobayashi, Karibu Fukuzawa, Kazuhiko Hoshizaki, Ohta Kazuhide, Keito Kobayashi, Motohiro Hasegawa, Suzuki N. Satoshi, Michinori Sakimoto, Yoichiro Kitagawa, Akiko Sakai, Hirofumi Kondo, Tomoaki Ichie, Koji Kageyama, Ayaka Hieno, Shogo Kato, Tatsuya Otani, Yasuhiro Utsumi, Tomonori Kume, Kosuke Homma, Koju Kishimoto, Kazuhiko Masaka, Kenta Watanabe, Motomu Toda, Dai Nagamatsu, Yuko Miyazaki, Tamon Yamashita, Naoko Tokuch:Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, 37:432-445 (2022):西駒ステーション
- Yoshitaka Oishi, Hajime Kobayashi, Satoshi N. Suzuki, Ryuji Kanai, Daisuke Masaki, Tanaka Kenta:Bryophyte responses to experimental climate change in a mid-latitude forest-line ecotone, *Alpine Botany*, 132:329-336 (2022):西駒ステーション
- Chinatsu Hara, Sumihiro Inoue, H. Roaki Ishii, Momoko Okabe, Masaya Nakagaki & Hajime Kobayashi:Tolerance and acclimation of photosynthesis of nine urban tree species to warmer growing conditions, *Trees*, 21:1793-1806 (2021)
- 奥田 百音, 小林 元, 森 健吾, 安江 恒, 大塚 大, 木下 渉, 野溝 幸雄, 酒井 敏信, 荒瀬 輝夫:信州大



- 学西駒ステーションにおける里山放棄林の林分構造,信大AFC報告, 20:11-19 (2022):西駒ステーション
- 高尾 真世, 小林 元, 山越 麻由, 城田 徹央, 岡野 哲郎, 白澤 紘明, 荒瀬 輝夫, 木下 渉・野溝 幸雄, 酒井 敏信:亜高山帯常緑針葉樹林におけるオオシラビソ・シラビソ立木の腐朽診断,森林立地学会誌, 63:39-44 (2021):西駒ステーション
- 久保田 龍:信州大学ダケカンバ産地試験地における葉フェノロジー比較, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):西駒ステーション,構内ステーション
- モラード 空良:根系を除去したヒノキ人工林における根呼吸の測定, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良沢山ステーション
- 武居 玄:ヒノキ人工林における細根動態の季節変化および根呼吸のモデリング, 信州大学大学院農学研究科修士論文:(2022):手良沢山ステーション
- 小林 元, 小枝 慧子:カラマツ人工林における落葉SLAの変動要因, 第133回日本森林学会大会, 山形大学によるオンライン開催, (2022):
- 菅原 瑞希:信州大学農学部西駒演習林における中大型哺乳類の生息状況, 信州大学農学部専攻研究卒業論文, (2022):西駒ステーション
- Furuno, M., Uchida, T., Hayasaka, D., Huan, X.J., Arase, T.:The introduction and maintenance trends of street trees in Japan, International Journal of GEOMATE, 20(Issue 81):153-161(2021)
- 荒瀬 輝夫, 小野 由莉華:クコ (*Lycium chinense* Mill.) の挿し木前処理と発芽条件について. 日本緑化工学会誌, 47(1):187-190(2021):構内ステーション
- 荒瀬 輝夫:キルギス高山植生の特徴と保全 (渡辺 悌二, 白坂 蕃編「変わりゆくパミールの自然と暮らしー持続可能な山岳社会に向けてー」), 星雲社:pp.97-116(2021):
- 荒瀬 輝夫, 中野 正基:起伏ある林床の微地形の最小2 乗法による判定,環境科学年報 (信州大学) , 44:1-7(2022):手良沢山ステーション
- 中野 正基:地形の形態的特性からみたクロモジ属低木3種の生育地の環境, 令和3年度信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良沢山ステーション
- Arase, T., Okano, T., Shirota, T., Furuno, M., Uchida, T.:Tiller and rhizome growth on excavated slopes in two *Carex* species from colonies on landslides, International Journal of GEOMATE, 22 (Issue 91):46-52(2022):手良沢山ステーション, 構内ステーション
- 荒瀬 輝夫:新潟県中南部に自生するエゾアジサイの装飾花と葉の地理的変異, 信州大学農学部AFC報告, 20:25-30(2022):
- 荒瀬 輝夫, 大塚 大, 小林 元, 木下 渉, 野溝 幸雄, 酒井 敏信:学生実習による演習林の巡検, 信州大学農学部AFC報告, 20:31-36(2022):手良沢山ステーション
- 絹谷智樹:異なる地上高におけるスギ樹幹の肥大成長と気候の関係, 令和3年度信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良沢山ステーション
- 平谷理人:スギにおける樹幹からのCO<sub>2</sub>放出速度と肥大成長および樹幹構造との関係, 令和3年度信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):構内ステーション
- 森 惇哉,野澤 陽子,安江 恒,半 智史,船田 良:オオヤマレンゲの未成熟種子由来のPEMsを經由した組織培養による植物体再生に関する研究, 第72回日本木材学会大会:(2022):西駒ステーション
- 山野邊 真多,則定 優成,渡辺 誠,安江 恒,船田 良,半 智史:カラマツ樹幹の放射方向における非構造的炭水化物含有量の季節変動, 第72回日本木材学会大会:(2022):構内ステーション
- 平谷理人,安江 恒,荒木眞岳:スギにおける樹幹のCO<sub>2</sub>放出速度と肥大成長及び樹幹の形態的要素との関係, 第133回日本森林学会大会:(2022):構内ステーション
- 絹谷 智樹,小林 元,安江 恒:異なる地上高におけるスギ樹幹の肥大成長と気候の関係, 第72回日本木材学会大会:(2022):手良沢山ステーション
- 井出 萌:野辺山高原におけるサクラソウ群落の送粉ネットワークからみた保全生態学的研究, 信州大学大学院農学研究科修士論文:(2022):野辺山ステーション
- 平 恵美子:林相の違いや皆伐後の植生変化が土壌物理性に与える影響, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良沢山ステーション, 信州大学農学部専攻研究卒業論文, (2022):手良沢山ステーション
- 横川 晴一:土壌圧密が土層深部の水移動に及ぼす影響, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良沢山ステーション
- 情野 敦:森林斜面における土壌水分変動モデルの作成, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良

沢山ステーション

塚原 理美:林地斜面の安定性に及ぼす構成樹種の影響, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):手良沢山ステーション

大川 佐知:林帯の防風効果:人にとって快適な風環境を形成する林帯構造の解明, 信州大学農学部専攻研究卒業論文:(2022):構内ステーション

## 静岡大学

### 農学部附属フィールド科学教育研究センター

Wanyi Lee, Takashi Hayakawa, Yosuke Kurihara, Maho Hanzawa, Akiko Sawada, Akihisa Kaneko, Yoshiki Morimitsu, Takayoshi Natsume, Seitaro Aisu, Tsuyoshi Ito, Takeaki Honda, Goro Hanya: Stomach and colonic microbiome of wild Japanese macaques. *American Journal of Primatology*, 83 (5): e23242 (2021): 演習林外

Tsuyoshi Ito, Takashi Hayakawa, Nami Suzuki-Hashido, Yuzuru Hamada, Yosuke Kurihara, Goro Hanya, Akihisa Kaneko, Takayoshi Natsume, Seitaro Aisu, Takeaki Honda, Syuji Yachimori, Tomoko Anezaki, Toshinori Omi, Shin-ichi Hayama, Mikiko Tanaka, Hikaru Wakamori, Hiroo Imai, Yoshi Kawamoto: Phylogeographic history of Japanese macaques. *Journal of Biogeography*, 48(6): 1420-1431 (2021): 演習林外

Yasuka Toda, Takashi Hayakawa, Akihiro Itoigawa, Yosuke Kurihara, Tomoya Nakagita, Masahiro Hayashi, Ryuichi Ashino, Amanda D. Melin, Yoshiro Ishimaru, Shoji Kawamura, Hiroo Imai, Takumi Misaka: Evolution of the primate glutamate taste sensor from a nucleotide sensor. *Current Biology*, 31(20): 4641-4649 (2021): 演習林外

今泉文寿・小山内信智・加藤真雄・小池優・小杉賢一朗・坂井祐介・坂口宏・里深好文・高山翔揮・田中隆文・西陽太郎:令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害, 砂防学会誌, Vol.74, No.5, p.34-42 (2022): 演習林外

Imaizumi, F., Ikeda, A., Yamamoto, K., Ohsaka, O. : Temporal changes in the debris flow threshold under the effects of ground freezing and sediment storage on Mt. Fuji. *Earth Surface Dynamics*, 9, 1381-1398 (2021) : 富士フィールド

Imaizumi, F., Sidle, R. C. : Effects of terrain on the occurrence of debris flows after forest harvesting, *Geografiska Annaler: Series A, Physical Geography*, 103, 1-14. DOI: 10.1080/04353676.2021.1932482 (2021) : 演習林外

## 日本大学

### 水上演習林、藤沢演習林

瀧澤 英紀, 竹下 幹太, 小坂 泉: みなかみ演習林のスギ樹幹における通過降水沈着量と林外降水沈着量, 関東森林研究, 73: 101-104(2022):水上演習林

稲山 謙信, 瀧澤 英紀, 水野 一平, 風間 聖史, 小坂 泉: 利根源流の多雪森林域における2年間の沈着量と流出負荷量, 関東森林研究, 73: 105-108(2022):水上演習林

矢ヶ崎 真衣, 小坂 泉, 大庭 流維, 中井 涼介, 瀧澤 英紀, 阿部 和時: 太平洋側の温暖な低地に生育するブナの光合成速度および蒸散速度の測定, 関東森林研究, 73: 93-96(2022):藤沢演習林

## 東京農業大学

### 奥多摩演習林

Iwao UEHARA. Distribution and characteristic tree shapes of *Larix kaempferi* seedlings in Okutama Practice Forest of Tokyo University of Agriculture 関東森林研究73 (1)

Hasegawa A, Goto Y, Yamazaki K. 2021. Are there Sexual Differences in the Autumn Food Habits of Raccoon Dogs (*Nyctereutes procyonoides*) in Suburban Area? *Mammal Study*, 47(1) : 1-7. <https://doi.org/10.3106/ms2020-0079>

Baek S, Iwasaki T, Yamazaki K, Naganuma T, Inagaki A, Tochigi K, Allen ML, Kozakai C, Koike S. 2021. Factors affecting pre-denning activity in Asian black bears. *Mammal Study* 46(4):1-6. <https://doi.org/10.3106/ms2020-0101>

Allen ML, Wittmer HU, Inagaki A, Yamazaki K, Shinsuke K. 2021. Food caching by bears: A literature review and new observations for Asiatic and American black bears. *Ursus*: (32e10) 1-8. <https://doi.org/10.2192/URSUS-D-20-00008.1>

Naganuma T, Tanaka M, Tezuka S, Steyaert SMJG, Tochigi K, Inagaki A, Myojo H, Yamazaki K, Koike S. 2021. Animal-borne video systems provide insight into the reproductive behavior of the Asian black bear. *Ecology and Evolution*. 00: 1-9. <https://doi.org/10.1002/ece3.7722>

Tomiyasu T, Kayano M, Hazano K, Matsui M, Nemoto Y, Naganuma T, Koike K, Yamazaki K. 2021.

- Associations between plasma testosterone levels and season, nutritional status, age, and body size in free-ranging male Asian black bears (*Ursus thibetanus*) in central Honshu, Japan. *General and Comparative Endocrinology*, 309. <https://doi.org/10.1016/j.ygcen.2021.113794>
- Cunningham K, Hinton T. G, Luxton J. J, Bordman A, Okuda K, Taylor L. E, Hayes J, Gerke H.C, Chinn S. M, Anderson D, Laudenslager M. L, Takase T, Nemoto Y, Ishiniwa H, Beasley J.C, Bailey S. M. 2021. Evaluation of DNA damage and stress in wildlife chronically exposed to low-dose, low-dose rate radiation from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident. *Environment International* 155, 106675. <https://doi.org/10.1016/j.envint.2021.106675>
- Saito R, Kondo N. I, Nemoto Y, Kumada R, Nakajima N, Tamaoki M. 2022. Genetic Population Structure of Wild Boars (*Sus scrofa*) in Fukushima Prefecture. *Animals* 12, 1–13. <https://doi.org/10.3390/ani12040491>
- Naganuma T, Nakashita R, Tochigi K, Zedrosser, Kozakai C, Yamazaki K, Koike S. 2022. Functional dietary response of Asian black bears to changes in sika deer density. *Journal of Wildlife Management* 2022: e22218. <https://doi.org/10.1002/jwmg.22218>
- Ando K, Yoshikawa T, Kozakai C, Yamazaki K, Naganuma T, Inagaki A, Koike S. 2022. Composite Brownian walks best explain the movement patterns of Asian black bears, irrespective of sex, seasonality, and food availability. *Ecological Research* 2022: 1-10. DOI: 10.1111/1440-1703.12310
- 矢部和弘・吉澤知宏・今富裕樹. チェーンソー用防護衣の管理指導と林業作業者の意識 関東森林研究73(1)
- 永野蒼志・亀山翔平・坂元伸幸・矢部和弘・今富裕樹. 林業作業における近接作業防止のためのBluetoothを用いた距離推定 関東森林研究73 (1)

## 名古屋大学

### 大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター 稲武・設楽フィールド

- Chen S, Matsuo-Ueda M, Yoshida M, Yamamoto H: Hygrothermal recovery behavior of cellulose-rich gelatinous layer in tension wood studied by viscoelastic vibration measurement, *Cellulose*, 28(9): 5793-5805 (2021): 稲武フィールド
- Gugliuzzo A, Biedermann PHW, Carrillo D, Castrillo LA, Egonyu JP, Gallego D, Haddi K, Hulcr J, Jactel H, Kajimura H, Kamata N, Meurisse N, Li Y, Oliver JB, Ranger CM, Rassati D, Stelinski LL, Sutherland R, Garzia GT, Wright MG, Biondi A: Recent advances toward the sustainable management of invasive *Xylosandrus ambrosia* beetles, *Journal of Pest Science*, 94(3): 615-637 (2021): 稲武フィールド
- Ichioka Y, Hijii N: Raccoon predation on foam nests and adults of the forest green tree frog (*Zhangixalus arboreus*: Rhacophoridae) in central Japan, *Current Herpetology*, 40: 129-136 (2021): 稲武フィールド
- Ichioka Y, Hijii N: Spawning sites of the Japanese forest green tree frog (*Zhangixalus arboreus*: Rhacophoridae) in central Japan, *Current Herpetology*, 40: 151-158 (2021): 稲武フィールド
- Kanzaki N, Kajimura H, Masuya H, Akiba M, Ekino T, Tsujimoto S, Kosaka H: Two new insect-associated tylenchids, *Sychnotylenchus hibisci* n. sp. and *Neoditylenchus xiphydriae* n. sp. (Tylenchomorpha: Anguinidae), from Japan, *Nematology*, 24: 257-282 (2022): 稲武フィールド
- Yoshida T, Kusunoki Y, Fukano Y, Hijii N: Vertical distribution of arthropod assemblages and the effects of weather conditions on arthropod rain in a temperate conifer forest, *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 10.3389/ffgc.2021.672601672601 (2021): 稲武フィールド
- Zhao H, Suzuki R, Sumitani S, Matsubayashi S, Arita T, Nakadai K, Okuno HG: Visualizing soundscapes and quantifying interspecific interactions in forest animal vocalizations using robot audition technology, 第84回情報処理学会全国大会論文集, Vol. 2: 475-476 (2022): 稲武フィールド
- 古山 諒, 鈴木 麗壘, 炭谷 晋司, 有田 隆也: 鳴禽類のメスのさえずりの役割の理解に向けた音源定位手法の活用に関する一検討, 第58回人工知能学会 AI チャレンジ研究会資料: 6-11 (2021): 稲武フィールド
- 松寺 駿, 森 照貴, 肘井 直樹: 中小河川におけるコンクリート護岸の設置が魚類群集に及ぼす影響, 応用生態工学, 24(2): 139-151 (2021): 稲武フィールド
- Paing AMM, Chen S, Araki K, Aihara T, Hirota M, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Nagamatsu D, Takagi M, Taneda H, Hisamoto Y, Goto S: Effects of elevated temperature on survival and growth of *Betula ermanii* two years after transplantation, The 133th Annual Meeting of the Japanese Forest Society (online): (2022): 設楽フィールド
- Paing AMM, Chen S, Araki K, Aihara T, Hirota M, Tsumura Y, Tomaru N, Homma K, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Nagamatsu D, Takagi M, Taneda H, Hisamoto Y, Goto S: Differential responses of *Betula ermanii* populations to elevated temperature revealed by range-wide provenance trials, 2nd International Symposium of

- Long-term Forest Monitoring Research in Asia (online): (2022): 設楽フィールド
- Suzuki R: "Session: signal processing of animal vocalisations/AI/robotics" invited discussant, 3rd International Workshop on Vocal Interactivity in-and-between Humans, Animals and Robots: (2021): 稲武フィールド
- 相原 隆貴, 荒木 響子, 後藤 晋, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松大, 久本 洋子, 津村 義彦: ダケカンバ産地試験を用いた葉形質の種内変異と気温上昇による変化の検出, 第 10 回森林遺伝育種学会大会(オンライン開催): (2021): 設楽フィールド
- 相原 隆貴, 荒木 響子, Ragini S, 蔡 一涵, 後藤 晋, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松 大, 久本 洋子, 廣田 充, 津村 義彦: 出身地の異なるダケカンバの葉形質の違い: 8 箇所での産地試験を用いた分析, 第 133 回日本森林学会大会(オンライン開催): (2022): 設楽フィールド
- 藤井 朱瑞, 渡邊 彰: 腐植物質の無機化速度と黒色度の関係および生物分解による構造変化, 日本腐植物質学会第 37 回講演会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド
- 福村 太一, 中川 弥智子: 訪花昆虫と結果率に与える装飾花の効果—ノリウツギ装飾花の除去実験による検証—, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 古田 理奈, 梶村 恒: 宿主植物の花外蜜に誘引されるアリの防衛: 宿主植物の成長・繁殖と植食性昆虫の被害に与える影響, 第 81 回日本昆虫学会大会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド
- 古田 理奈, 梶村 恒: イタドリにおける花外蜜腺の分布変化と吸汁性昆虫に対する生物的防御の可能性, 2021 年度日本生態学会中部地区大会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド
- 古田 理奈, 梶村 恒: イタドリがアリを多く誘引するには花外蜜腺だけでは不十分?: 蜂蜜を塗ると被害は減る, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 林 勇輝, 山本 一清: 航空機 LiDAR による単木樹種分類の汎用性の検討 IV: 深層学習による精度評価, 第 133 回日本森林学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 市岡 幸雄, 肘井 直樹: モリアオガエル幼生の成長と変態, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 今飯田 枝理, 渡邊 彰: フルボ酸の抗酸化能および鉄供給による藻類成長促進能, 2021 年度日本土壌肥料学会大会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド
- 金子 祥也, 谷川 東子, 藤堂 千景, 池野 英利, 山瀬 敬太郎, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 杵山 哲矢, 黒見 信輔, 平野 恭弘: 巨礫を多く含む土壤に生育するスギ根系の二周波地中レーダを用いた検出, 第 133 回日本森林学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 松岡 史晃, 岸上 真子, 鈴木 智之, 山迫 淳介, 土岐 和多瑠: ハナカミキリ幼虫の共生酵母の獲得経路: 母親由来? 環境由来?, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 三浦 一将, 山本 一清: 深層学習による森林情報解析—航空機 LiDAR 点群による解析手法の検討—, 第 133 回日本森林学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 鈴木 華実, 梶村 恒: スズタケの一斉結実後における野ネズミ個体群の動態と繁殖・生息状況, 2021 年度日本生態学会中部地区大会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド
- 鈴木 華実, 梶村 恒: スズタケ実生の経年形態変化と異なる林分樹種・林床環境における地上・地下の成長比較, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド
- 鈴木 麗璽: 愛知県立瑞陵高等学校コスモサイエンスコース 2 年生および普通コース 1、2 年生希望者特別講義「情報学で迫る生命・自然・社会のダイナミクス—仮想生物・鳥の歌・人間—」: (2021): 稲武フィールド
- 鈴木 麗璽: 第 20 回 HARK 講習会 Case Study: 野鳥の歌分析: (2021): 稲武フィールド
- 鈴木 麗璽, 林 晃一郎, 大坂 英樹, 松林 志保, 有田 隆也, 中臺 一博, 奥乃 博: ロボット聴覚技術に基づく鳥類音声の方位角・仰角に関する音源定位と音風景の観測, 2021 年度日本鳥学会大会講演: (2021): 稲武フィールド
- 鈴木 麗璽, 炭谷 晋司, 松林 志保, 有田 隆也, 中臺 一博, 奥乃 博: 音源定位技術を用いた野外鳥類の音声相互作用の分析手法の検討, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): P2-047 (2022): 稲武フィールド
- 田畑 望実, 梶村 恒: キツツキ類の音声と採餌痕から探る生息種の日周行動と枯死木選好性, 2021 年度日本生態学会中部地区大会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド
- 田畑 望実, 梶村 恒: キツツキ類 3 種の音声録音による生息状況の把握と枯死木利用様式の解析, 第 69 回日本生態学会大会(オンライン開催): (2022): 稲武フィールド

山本 真子, 池谷 康祐, 渡邊 彰: 鈹物結合型ヒューミンの化学構造特性, 2021 年度日本土壌肥料学会大会(オンライン開催): (2021): 稲武フィールド

橋野 蒼也: 樹幹の湾曲が及ぼす物性及びその他への影響, 2021 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2022): 稲武フィールド

本田 歩夢: スズタケ一斉枯死および哺乳動物の有無が地表性節足動物群集に与える影響, 2021 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2022): 稲武フィールド \*卒論発表会優秀賞

犬飼 啓介: 広葉樹あて材がエックス線回折特性に及ぼす影響, 2021 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2022): 稲武フィールド

梶村 太楠: 可視-近赤外空間分解分光法による成長応力評価手法の確立, 2021 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2022): 稲武フィールド

金子 祥也: 巨礫を下層に多く含む土壌に生育するスギ根系の二周波地中レーダを用いた検出, 2021 年度名古屋大学理学部卒業論文: (2022): 稲武フィールド

田上 寧々: ヤナギの補償成長とそれを利用する植食性昆虫の関係, 2021 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2022): 稲武フィールド

Aye Myat Myat Paing: Evaluating the effects of global warming on survival and growth of *Betula ermanii* based on range-wide provenance trials, 2021 年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士論文: (2022): 設楽フィールド

藤井 朱珠: 腐植物質の生成と分解に関する研究, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

福村 太一: 装飾花が繁殖成功に与える影響 —ノリウツギとコアジサイの操作実験による評価—, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

林 勇輝: 深層学習を用いた航空機 LiDAR による樹種分類手法の開発, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

市岡 幸雄: モリアオガエルの産卵場所選択と成長に関わる要因, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

今枝 大: ケーブルカメラによる森林施業の検査手法の開発, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

石川 可奈子: スギ主要心材成分ノルリグナンの重合に関する研究, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

梶田 瑠依: 野ネズミのクリおよびミズナラ堅果の持ち去り行動: 虫害堅果とネズミの種間関係に着目した野外操作実験, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

三木 尚輝: 養菌性キクイムシの発消長の林分間比較とマイクロ CT による菌保持器官の探索, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

武藤 諒: 愛知県山地域におけるマダニ類の季節消長と寄生様式, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド, 設楽フィールド

高谷 純奈: アカマツにおける高分子心材成分に関する研究, 2021 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2022): 稲武フィールド

炭谷 晋司: 鳥類の音声コミュニケーションに関する時空間的ダイナミクスの理解に対するロボット聴覚アプローチ, 2021 年度名古屋大学大学院情報科学研究科博士論文(情報学): (2022): 稲武フィールド

## 岐阜大学

### 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学研究教育センター位山演習林

上村岳斗, 大西健夫, 大塚俊之, 平松研: 針葉樹人工林化が流域の水・物質循環に及ぼす影響の評価—溶存態有機・無機炭素動態に注目して—, 水文・水資源学会 2021年度研究大会: 岐阜大学位山演習林

## 三重大学

### 大学院 生物資源学研究科 附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター 附帯施設演習林 (三重大学 平倉演習林)

近藤 大地: 蛍光 X 線分析法と植物標本を用いた野生植物の元素集積に関する調査 —火山灰土壌と非火山灰土壌での比較—, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022): 平倉演習林他

佐藤 蓮: ヤマザクラコルク組織の引張速度依存性, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022): 三重県

- 垣野 隼杜: 中間温帯二次林における森林構造の変化: 三重大学演習林における 20 年間の動態, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022) :平倉演習林
- 桃田 航成: 0°C~70°Cの温度域における飽水木材の引張特性, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022) :平倉演習林
- 中野 陽菜: 凍結融解処理を施したスギ材のねじり特性の解明, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022) :平倉演習林
- 榊原 朱望, 鳥丸 猛・赤田辰治, 石原 正恵, 石井 弘明, 東 若菜, 戸田求: ブナの乾燥関連性遺伝子における一塩基多型の探索と地域間の遺伝的分化, 中部森林研究, 69:5-8 (2021) :平倉演習林
- 吉井 達樹, 久保 杜, 松村 直人: 間伐選木作業への UAV の応用可能性の検討, 中部森林研究, 69:57-60 (2021) :平倉演習林
- 唐澤 丈, 吉井 達樹, 沼本 晋也, 松村 直人: 210 年生スギ人工林の成長解析: 三重大学附属平倉演習林藤堂スギの事例, 中部森林研究, 69:63-66 (2021) :平倉演習林
- 松村 直人, 嶋村 太河, 上尾 智洋, 山本 拓史: 三重県松阪市におけるスギ高齢林間伐の販売分析, 三重大学フィールド研究・技術年報, 19:1-7 (2022) :平倉演習林
- 松村 直人, 加藤 亜里紗, 唐澤 丈, 吉井 達樹: 平倉演習林藤堂スギ林分の定期測定資料 (林齢 168 年~210 年), 三重大学フィールド研究・技術年報, 19:13-17 (2022) :平倉演習林
- 瀧上 佑樹: 林業・木材産業・バイオマスエネルギー—小規模製材所からみた見た地域資源の持続的な利用—, BIOCITY, 87:44-51 (2021) :オーストリア
- 瀧上 佑樹: 木造建築物の温室効果ガス排出量~非住宅分野における他工法との比較~, 三重の林業, 423:11-12 (2021) :京都府・三重県
- 松田 陽介: ゼロから分かる菌根菌のはなし~新規きのこ生産を地域から発信するために~, 三重の林業, 423:11-12 (2021) :三重県他
- 齊藤 勇人: ヤマザクラコルク組織の形成過程と構成成分が力学特性に及ぼす影響, 三重大学大学院生物資源学研究科修士論文 (2022) :平倉演習林
- 唐澤 丈: 航空レーザと UAV を用いた単木抽出手法の精度評価, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022) :三重県
- 渡辺 和誓: クラウドベースの森林資源情報システムの応用可能性, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2022) :三重県
- 長崎 美歩, 山崎 真理子, 瀧上 佑樹: 中規模木造事務所の建設に係る GHG 排出量, 日本材料学会第 70 期学術講演会, 名古屋 (Online), (2021)
- 長崎 美歩, 瀧上 佑樹, 井上 郁人, 山崎 真理子: GBRT 統合フレームワークによる SDGs 貢献度の定量評価 その 1 建築物を対象とした SDGs 関連研究の調査, 2021 年度日本建築学会大会 (東海) 学術講演会 (Online), (2021)
- 瀧上 佑樹, 長崎 美歩, 井上 郁人, 山崎 真理子: GBRT 統合フレームワークによる SDGs 貢献度の定量評価 その 2 CASBEE の SDGs 貢献度, 2021 年度日本建築学会大会 (東海) 学術講演会 (Online), (2021)
- 山崎 真理子, 長崎 美歩, 井上 郁人, 瀧上 佑樹: GBRT 統合フレームワークによる SDGs 貢献度の定量評価 その 4 CLT 工法を用いた 2 階建事務所の SDGs に対する貢献度評価, 2021 年度日本建築学会大会 (東海) 学術講演会 (Online), (2021)
- 齊藤 勇人, 中井 毅尚, 相蘇 春菜, 鳥羽 景介, 安部 久, 神林 徹: ヤマザクラのコルク組織における構成成分と力学特性 IV, 第 39 回木材加工技術協会年次大会, P102, 北海道 (Online), (2021) :平倉演習林
- 村山 浩久, 石浦 扶比等, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 瀧上 佑樹: 京都府産木材の利用拡大に向けた流通段階における ICT 技術の活用—木材検収及び原木段階での強度等級予測システムの現場への導入に向けた検討—, 日本木材加工技術協会第 39 回年次大会, 北海道 (Online), (2021)
- 長崎 美歩, 山崎 真理子, 瀧上 佑樹: 建築物における SDGs 貢献度の評価法の開発—CASBEE を適用した場合—, 2021 年度日本木材学会中部支部大会, 富山 (Online), (2021).
- 齊藤 勇人, 中井 毅尚, 相蘇 春菜, 鳥羽 景介, 安部 久, 神林 徹: ヤマザクラコルク組織中の多糖類がコルク組織の力学特性へ及ぼす影響, 第 31 回日本木材学会中部支部大会, B12, 富山 (Online), (2021) :平倉演習林
- Hayato Saito, Takahisa Nakai, Haruna Aiso, Keisuke Toba, Toru Kanbayashi, Hisashi Abe: Spatial distribution of chemical components in the phellem of *Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H. Ohba, The 8th IAWA-China

- Group Annual Meeting and 2021 International Youth Forum for Wood Anatomy, Chengdu, China (Online), (2021) : 平倉演習林
- 唐澤 丈, 吉井 達樹, 松村 直人: UAV 空中写真を用いた局所最大値フィルタ法の精度比較と精度向上手法の検討, 第 11 回中部森林学会, 110: 名古屋大学 (Online), (2021) : 三重県
- 加藤 亜里紗, 唐澤 丈, 吉井 達樹, 沼本 晋也, 松村 直人: スギ高齢人工林を対象とした樹高と樹冠情報を用いた胸高直径の推定精度の検討, 第 11 回中部森林学会, 111: 名古屋大学 (Online), (2021) : 平倉演習林
- 上尾 京子, 上尾 智洋, 山本 拓史, 小嶋 優人: 三重大学演習林におけるナラ枯れ被害の発生・経過とカシノナガキタイムシの形態特性について, 第 11 回中部森林学会, 302: 名古屋大学 (Online), (2021) : 平倉演習林
- Kaili Huang, Akemi Itaya: Measurement of big tree size using UAV images taken on the side of the tree. 第 11 回中部森林学会, 406:名古屋大学 (Online), (2021) : 平倉演習林
- 齊藤 勇人:最近の木のはなし, 三重大学アカデミックフェア 2021, (2021) : 平倉演習林
- Tatsuki Yoshii, Naoto Matsumura, Chinsu Lin: A UAV-Point-Cloud Based Approach for Tree Diameter Modeling, SFEM2021 (Online), (2021).
- Hayato Saito, Takahisa Nakai, Haruna Aiso, Keisuke Toba, Toru Kanbayashi, Hisashi Abe: Distribution of the suberin in phellem of *Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H. Ohba, 31st Annual Meeting of MRS-Japan, 55, 奨励賞: Kanagawa (Online), (2021) :平倉演習林
- 長崎 美歩, 山崎 真理子, 瀧上 佑樹: 建築活動における SDGs 貢献度評価法の開発, 日本材料学会東海支部 第 16 回学術講演会 (Online), (2021).
- 齊藤 勇人, 中井 毅尚, 鳥羽 景介: ヤマザクラコルク組織の引張特性—含水率および荷重速度の依存性—, 日本材料学会東海支部 第 16 回学術講演会 (Online), (2022) :平倉演習林
- 齊藤 勇人, 中井 毅尚, 鳥羽 景介: ヤマザクラコルク組織の引張試験におけるひずみ速度の影響, 第 72 回日本木材学会大会, 名古屋・岐阜 (Online), (2022) :平倉演習林
- 松永 寛之, 松尾 奈緒子, 中井 毅尚, 安部 久: 外樹皮形状が樹木の樹皮水分透過性に及ぼす影響の解明, 第 72 回日本木材学会大会, 名古屋・岐阜 (Online), (2022) :平倉演習林
- 岡田 美久雲, 中井 毅尚, 齊藤 勇人, 鳥羽 景介, 安部 久: 主要木材構成成分が飽水木材の引張特性に及ぼす影響III, 第 72 回日本木材学会大会, 名古屋・岐阜 (Online), (2022) :平倉演習林
- Kaili Huang, Akemi Itaya: Trial for recording giant trees with UAV images taken in multiple directions. 日本森林学会大会要旨集 P-023, p.126. 山形大学 (Online), (2022) :平倉演習林
- 瀧上 佑樹, 長崎 美歩, 山崎 真理子, 中島 拓之, 田中 宏明, 井上 郁人: 木造建築物における SDGs 貢献度評価法の開発—その 1 CASBEE の SDGs 貢献度—, 第 72 回日本木材学会大会, 岐阜 (Online), (2022)
- 山崎 真理子, 長崎 美歩, 瀧上 佑樹, 中島拓之, 田中宏明, 井上郁人: 木造建築物における SDGs 貢献度評価法の開発—その 2 建設活動におけるサステナビリティ指標の開発—, 第 72 回日本木材学会大会, 岐阜 (Online), (2022)
- 長崎 美歩, 山崎 真理子, 瀧上 佑樹, 中島 拓之, 田中 宏明, 井上 郁人: 木造建築物における SDGs 貢献度評価法の開発—その 3 中規模木造事務所の SDGs 貢献度—, 第 72 回日本木材学会大会, 岐阜 (Online), (2022)
- 村山 浩久, 石浦 扶比等, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 瀧上 佑樹: 京都府産木材の利用拡大に向けた流通段階における ICT 技術の活用—木材検収アプリ及び強度推定アプリの現場実証—, 第 72 回日本木材学会大会, 岐阜 (Online), (2022)

## 京都大学

- Thet Akari Phyu Phyu, Tokuchi Naoko: The Influences of Traditional Shifting Cultivation on Soil Properties and Vegetation in the Bago Mountains, Myanmar, *Human Ecology*, 49(-): 655–664(2021): -
- 徳地 直子, 岩崎 綾, 山口 高志, 久恒 邦裕, 中川 光, 村野 健太郎: 我が国における窒素沈着量の長期変動: 都道府県の調査を中心に, *環境技術*, 50(5): 236-240(2021): -
- 赤石 大輔, 法理 樹里, 徳地 直子: 自然保護活動等に関する世代間の参加意識の差とその要因, *地域自然史と保全*, 43(2): 105-122(2022): -
- Fukuzawa Karibu, Tateno Ryunosuke, Ugawa Shin, Watanabe Tsunehiro, Hosokawa Nanae, Imada Shogo, Shibata Hideaki: Timing of forest fine root production advances with reduced snow cover in northern Japan:

- implications for climate-induced change in understory and overstory competition, *Oecologia*, 196(1): 263-273(2021): 北海道研究林
- Isobe Kazuo, Oka Hiroaki, Watanabe Tsunehiro, Tateno Ryunosuke, Senoo Keishi, Shibata Hideaki: Soil microbial community response to winter climate change is phylogenetically conserved and highly resilient in a cool-temperate forest, *Soil Biology and Biochemistry*, -(2021): 北海道研究林
- Nagano Hirohiko, Nakayama Masataka, Katata Genki, Fukushima Keitaro, Yamaguchi Takashi, Watanabe Makoto, Kondo Toshiaki, Atarashi-Andoh Mariko, Kubota Tomohiro, Tateno Ryunosuke, Koarashi Jun: Soil microbial community responding to moderately elevated nitrogen deposition in a Japanese cool temperate forest surrounded by fertilized grasslands, *Soil Science and Plant Nutrition*, -(2021): 北海道研究林
- Nakayama Masataka, Imamura Shihomi, Tatsumi Chikae, Taniguchi Takeshi, Tateno Ryunosuke: Microbial functions and soil nitrogen mineralisation processes in the soil of a cool temperate forest in northern Japan, *Biogeochemistry*, 155(3): 359-379(2021): 北海道研究林
- Nakayama Masataka, Tateno Ryunosuke: Rhizosphere effects on soil extracellular enzymatic activity and microbial abundance during the low-temperature dormant season in a northern hardwood forest, *Rhizosphere*, 21(-): 100465(2022): 北海道研究林
- Tatsumi Chikae, Taniguchi Takeshi, Du Sheng, Chen Qiuwen, Yamanaka Norikazu, Otsuki Kyoichi, Tateno Ryunosuke: Differences in the short-term responses of soil nitrogen and microbial dynamics to soil moisture variation in two adjacent dryland forests, *European Journal of Soil Biology*, 110(-): 103394(2022): 海外
- Tatsumi Chikae, Taniguchi Takeshi, Hyodo Fujio, Du Sheng, Yamanaka Norikazu, Tateno Ryunosuke: Survival Rate, Chemical and Microbial Properties of Oak Seedlings Planted with or without Oak Forest Soils in a Black Locust Forest of a Dryland, *Forests*, 12(6): 359-379(2021): 海外
- Zhu Xiao-Cong, Ma Ming-Guo, Tateno Ryunosuke, He Xin-Hua, Shi Wei-Yu: Effects of vegetation restoration on soil carbon dynamics in Karst and non-karst regions in Southwest China: a synthesis of multi-source data, *Plant and Soil*, -(2021): 海外
- 鈴木 保志, 吉村 哲彦, 長谷川 尚史, 有賀 一広, 齋藤 仁志, 白澤 紘明, 山崎 真: 日本の森林地域における公道も含めた路網整備の方向性, *森林利用学会誌*, 37(1): 5-16(2022): -
- Kameoka Taishin, Uchida Atsuhiko, Sasaki Yu, Ise Takeshi: Assessing streetscape greenery with deep neural network using Google Street View, *Breeding Science*, 72(1): 107-114(2022): -
- Larson Erik J. L., Schiferl Luke D., Commane Róisín, Munger J. William, Trugman Anna T., Ise Takeshi, Euskirchen Eugénie S., Wofsy Steve, Moorcroft Paul M.: The changing carbon balance of tundra ecosystems: results from a vertically-resolved peatland biosphere model, *Environmental Research Letters*, 17(1):14019(2021): -
- Takaya Kosuke, Shibata Atsuki, Mizuno Yuji, Ise Takeshi: Unmanned aerial vehicles and deep learning for assessment of anthropogenic marine debris on beaches on an island in a semi-enclosed sea in Japan, *Environmental Research Communications*, 4(1): 15003(2022): -
- Takaya Kosuke, Sasaki Yu, Ise Takeshi: Automatic detection of alien plant species in action camera images using the chopped picture method and the potential of citizen science, *Breeding Science*, 72(1): 96-106(2022): -
- Fibich Pavel, Ishihara Masae I., Suzuki Satoshi N., Doležal Jiří, Altman Jan: Contribution of conspecific negative density dependence to species diversity is increasing towards low environmental limitation in Japanese forests, *Scientific Reports*, 11(-): Article number: 18712(2021): 芦生・和歌山研究林
- Hagiwara Tomika, Ishihara Masae Iwamoto, Takabayashi Junji, Hiura Tsutomu, Shiojiri Kaori: Effective distance of volatile cues for plant-plant communication in beech, *Ecology and Evolution*, 11(18): 12445-12452(2021): 芦生・和歌山研究林
- Masuda Kazutoshi, Setoguchi Hiroaki, Nagasawa Koki, Fukumoto Shigeru, Ishihara Masae Iwamoto, Miura Reichi, Mizusawa Leiko, Hiratsuka Ken-ichi, Sakaguchi Shota: Identification of management units in threatened populations of *Arnica montana* Makino (Asteraceae) using novel EST-SSR markers, *Genes & Genetic Systems*, 96(3): 159-164(2021): 芦生・和歌山研究林
- 林 真智, 田殿 武雄, 落合 治, 濱本 昂, Ake Rosenqvist, 日浦 勉, 石原 正恵, 齋藤 英樹, 高橋 正義, 鷹尾 元: 森林バイオマス観測をとりまく動向, *日本リモートセンシング学会誌*, 42(1): 14-20(2022): 芦生・北海道研究林, 上賀茂・徳山試験地
- 榎原 朱望, 鳥丸 猛, 赤田 辰治, 石原 正恵, 石井 弘明, 東 若菜, 戸田 求: ブナの乾燥関連性遺伝子における一塩基多型の探索と地域間の遺伝的文化, *中部森林研究*, 69(-): 5-8(2021): 芦生・和歌山研究林
- 阪口 翔太, 鶴田 憲次, 光田 重幸, 福本 繁, 瀬戸口 浩彰, 石原 正恵: <短報>京都大学芦生研究林にてアキタスズムシソウを記録する, *森林研究*, 81(-): 1-4(2021): 芦生研究林



- Miyaguni Yasushi, Agarie Ayaka, Sugio Koji, Tsuji Kazuki, Kobayashi Kazuya: Caste development and sex ratio of the Ryukyu drywood termite *Neotermes sugioi* and its potential mechanisms, *Scientific Reports*, 11(-): Article number: 15037(2021): -
- 稲垣 善之, 中西 麻美, 深田 英久, 渡辺 直史: 高知県のヒノキ人工林において間伐が葉量と幹現存量の生産速度に及ぼす影響, *森林総合研究所研究報告*, 20(4): -(2021): 高知県
- 谷川 東子, 池野 英利, 藤堂 千景, 山瀬 敬太郎, 大橋 瑞江, 岡本 透, 溝口 岳男, 中尾 勝洋, 金子 真司, 鳥居 厚志, 稲垣 善之, 中西 麻美, 平野 恭弘: スギ根系が抱きかかえている土壌の量はどれくらい? -台風 21 号が地上に残した根鉢の解体-, *水利科学*, 65(6): 1-14(2022): 森林総合研究所関西支所
- 赤石 大輔, 法理 樹里, 徳地 直子: 自然保護活動等に関する世代間の参加意識の差とその要因, *地域自然史と保全*, 43(2): 105-122(2022): -
- Makino Soyoka, Tokuchi Naoko, Komai Yukio, Kunimatsu Takao: Environmental factors regulating stream nitrate concentrations at baseflow condition in a large region encompassing a climatic gradient, *Hydrological Processes*, 35(5): Article number: e14200(2021): 福井県, 滋賀県, 京都府, 三重県, 奈良県, 大阪府, 和歌山県
- 法理 樹里, 清水 夏樹, 赤石 大輔, 徳地 直子: 京都大学・日本財団主催: 高校生×研究者「京大・森里海ラボ by ONLINE」を通じてみえてきた新たな「共有」のかたち, *日本水産学会誌*, 87(3): 301-304(2021): -
- 吉岡 崇仁: 森とレジリエンス: 人と自然の相互作用, 森とレジリエンス: 地域の再生を思考し創り出すための、異なる音の交差, -( ): 18-24(2021): -
- 法理 樹里, 清水 夏樹, 赤石 大輔, 徳地 直子: 京都大学・日本財団主催: 高校生×研究者「京大・森里海ラボ by ONLINE」を通じてみえてきた新たな「共有」のかたち, *日本水産学会誌*, 87(3): 301-304(2021): -
- 吉岡 崇仁: 森里海連環の科学と社会, いのちの循環「森里海」の現場から: 未来世代へのメッセージ 72, -( ): 312-315(2022): -
- 長谷川 尚史: 作業道に用いられる土工技術, *森林土木学*, -( ): -(2021): -
- 伊勢 武史: 2050 年の地球を予測する: 科学でわかる環境の未来, ちくまプリマー新書, -( ): 176(2022): -
- 伊勢 武史: 森でこころがいやされるわけ, いのちの循環「森里海」の現場から: 未来世代へのメッセージ 72, -( ): 28-31(2022): -
- 石原 正恵: はじめに, 芦生原生林を歩きつくす, -( ): 3-5(2021): 芦生研究林
- 石原 正恵: 多様な植物を小規模柵で守る, 芦生原生林を歩きつくす, -( ): 146-147(2021): 芦生研究林
- Tatsumi Chikae, Taniguchi Takeshi, Du Sheng, Yamanaka Norikazu, Tateno Ryunosuke: Relationship between forest mycorrhizal type and nitrogen-cycling functions of soil microbial communities: Implications from the rhizosphere scale to the ecosystem scale, *Annual Meeting of the Ecological Society of America*, -( ): -(2021): 海外
- 大上 迪士, 中山 理智, 横部 智浩, 谷口 武士, 館野 隆之輔: 冷温帯林の小集水域における渓流水質と渓流水中の微生物の関係, 第 1 3 3 回日本森林学会大会, -( ): -(2022): 芦生研究林
- 川口 英之, 荒木 眞岳, 飛田 博順, 廣部 宗, 榎 木勉, 名波 哲, 館野 隆之輔, 金子 有子, 井鷲 裕司: トチノキ個体における雄性器官と雌性器官への繁殖投資効率, 第 1 3 3 回日本森林学会大会, -( ): -(2022): 芦生研究林
- 中山 理智, 館野 隆之輔: 北海道東部の森林の根圏土壌における初冬・初春および盛夏の微生物群集, 第 1 3 3 回日本森林学会大会, -( ): -(2022): 北海道研究林
- Ise Takeshi: Toward high-throughput forest inventory with deep learning, iLEAPS Japan 2021, <http://ileaps-japan.org/activities.html>: -(2021): -
- Oba Yurika, Ise Takeshi: Heterogeneity of land-sea connectivity across Japan, 日本生態学会第 69 回全国大会, -( ): -(2022): -
- Takaya Kosuke, Ise Takeshi: Using deep learning to reveal the distribution of thermokarst, 第 12 回極域科学シンポジウム, -( ): -(2021): -
- Takaya Kosuke, Ise Takeshi: Automatic detection of thermokarst in satellite images using deep learning, iLEAPS Japan 2021, -( ): -(2021): -
- 伊勢 武史: ディープラーニングで実現するシチズンサイエンス, 日本生態学会第 69 回全国大会, -( ): -(2022): -
- 大西 信徳, 伊勢 武史: ドローンとディープラーニングを用いた単木単位での樹種・材積推定 GIS システムの開発, 日本生態学会第 69 回全国大会, -( ): -(2022): -

高屋 浩介, 田口 勇輝, 伊勢 武史: ディープラーニングを用いたオオサンショウウオの個体識別, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): -

Kadowaki Kohmei, Ishihara Masae: Deer Overbrowsing and Its Impact on Tree Communities. Insights from Long Term Forest Dynamics and Deer Exclusion Experiment in the Ashiu Research Forest, The 3rd Global Land Programme Asia Conferences, (-): -(2021): 芦生研究林

Kadowaki Kohmei, Kitagawa Yoichiro, Ishihara Masae: Mycorrhizal types as a crucial factor driving seeding establishment: evidences from a cool temperate forest in Japan, 日本生態学会大会, (-): -(2022): 芦生研究林

Shibata Hideaki, Ishihara Masae: Challenge to use online digital contents for virtual education on forest ecosystem and biodiversity in Japan LTER sites, The 3rd Global Land Programme Asia Conferences, (-): -(2021): -

赤石 大輔, 石原 正恵, 徳地 直子: 地域生物多様性保全に向けた市民との協働によるモニタリング型観察会の実施, 日本生態学会第 69 回大会, (-): -(2022): 南丹市美山町

東 若菜, 駒田 夏生, 小川 裕也, 吉田 智弘, 石原 正恵: 樹幹に着生するコケ類と懸垂土壌のバイオマスと分布特性の理解に向けて, 日本生態学会第 69 回大会, (-): -(2022): 芦生研究林

戸田 求, 石原 正恵, 土井 一希: デジタル画像を用いた温帯混交林の葉傾斜角分布と葉面積指数の評価, 日本生態学会第 69 回大会, (-): -(2022): -

萩原 幹花, 塩尻 かおり, 陶山 佳久, 松尾 歩, 石原 正恵: 自然林における VOCs を介したブナの植物間コミュニケーション, 日本生態学会第 69 回大会, (-): -(2022): 芦生研究林

萩原 幹花, 日浦 勉, 長田 典之, 石原 正恵: ブナにおける VOCs と葉形質の地理的変異, 第 133 回日本森林学会学術大会, (-): -(2022): -

中西 麻美, 稲垣 善之, 柴田 昌三, 大澤 直哉: 異なる斜面位置のヒノキ林における 20 年間の種子生産, 第 72 回応用森林学会大会, (-): -(2021): 上賀茂試験地

赤石 大輔: 大学と地域の連携による森里海の再生, 能登里山里海学会, (-): -(2021): 芦生研究林

赤石 大輔, 石原 正恵, 徳地 直子: 地域生物多様性保全に向けた市民との協働によるモニタリング型観察会の実施, 日本生態学会第 69 回大会, (-): -(2022): 南丹市美山町

時任 美乃理, 赤石 大輔, 法理 樹里, 徳地 直子, 館野 隆之輔, 後藤 龍太郎, 鈴木 啓太, 坂野上 なお, 木下 こづえ, 朝倉 彰: 将来世代と考える 2030 年の生態系—創発型ワークショップの可能性と課題, 日本生態学会第 69 回大会, (-): -(2022): -

Morioka Tamaki, Koyama Lina A., Inoue Tomomi, Kuroiwa Megumi, Yokobe Tomohiro, Tateno Ryunosuke: Facilitation of soil nitrate production by mangrove roots in hypoxic soil condition., AGU Fall Meeting, (-): B033(2021): -

梶野 浩史, 福井 美沙希, 藤本 悠太郎, 藤井 黎, 横部 智浩, 龍見 史恵, 菅井 徹人, 岡田 直紀, 中村 亮介: 伊吹山の石灰岩, 非石灰岩土壌に成立する森林間の土壌養分可給性と葉栄養塩濃度の違い, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): P2-195(2022): -

Kadowaki Kohmei, Kitagawa Yoichiro, Ishihara Masae: Mycorrhizal types as a crucial factor driving seeding establishment: evidences from a cool temperate forest in Japan, 日本生態学会大会, (-): -(2022): 芦生研究林

長谷川 尚史: 主伐時代の作業システム: 無人化はどこまで進められるか, 森林利用学会誌, 36(4): -(2021): -

石原 正恵: シカの食害からの生態系回復にむけて, 森里連環学に基づく豊かな森と里の再生: 「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 5-8(2022): 芦生研究林

赤石 大輔, 法理 樹理, 石原 正恵, 徳地 直子: 研究者と地域住民との協働取組の評価と超学際研究の発展に不可欠な要素, 森里連環学に基づく豊かな森と里の再生: 「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 29-40(2022): 芦生研究林

阪口 翔太, 石原 正恵: 芦生産希少植物の域外保全, 森里連環学に基づく豊かな森と里の再生: 「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 10-12(2022): 芦生研究林

坂野上 なお, 石原 正恵: トチの実文化の継承と地域おこしと保全, 森里連環学に基づく豊かな森と里の再生: 「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 13-16(2022): 芦生研究林

徳地 直子, 石原 正恵: はじめに, 森里連環学に基づく豊かな森と里の再生: 「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 1-2(2022): 芦生研究林

坂野上 なお, 石原 正恵: トチの実文化の継承と地域おこしと保全, 森里連環学に基づく豊かな森と里

- の再生:「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 13-16(2022): 芦生研究林
- 赤石 大輔: きのこの3Dモデル製作のすすめ 関西菌類談話会会報, 45(-): 2-6(2022): 芦生研究林, 上賀茂試験地
- 赤石 大輔: 研究者&地域住民の協働プラットフォームづくり 森里連環学に基づく豊かな森と里の再生:「芦生の森」における研究者と地域との協働に基づく学際実践研究最終報告書, (-): 21-23(2022): 芦生研究林
- 中村 裕一, 近藤 一晃, 赤石 大輔, 徳地 直子: フィールド科学教育・研究のためのフィールドワーク体験蓄積とサイバーフィジカル教育研究支援, 情報知識学会誌, 31(4): 428-433(2021): 芦生研究林
- 岸本 泰典: 芦生研究林におけるVRコンテンツ制作の工夫について, 研究林・試験地情報 2020年度, (-): 35-38(2022): 芦生研究林
- 北川 陽一郎: 2020年11月に芦生研究林で発生したドローン墜落事故, 研究林・試験地情報 2020年度, (-): 32-34(2022): 芦生研究林
- 永井 貴大: 「ガイドVR」の概要と利用事例の紹介: 研究林・試験地情報 2020年度, (-): 39-41(2022): 芦生研究林
- 長谷川 敦史: 実習のための若齢林分の造成 研究林・試験地情報 2020年度, (-): 42-45(2022): 和歌山研究林
- 古田 卓: 芦生研究林において林道沿いの植物を把握する, 研究林・試験地情報 2020年度, (-): 25-31(2022): 芦生研究林
- 稲田 大樹: 極彩色の京都 四季の名所めぐり, 株式会社KADOKAWA, (-): -(2021): 芦生研究林
- 稲田 大樹: 極彩色の京都 美しき癒しの絶景, 山と溪谷社, (-): -(2022): 芦生研究林
- 福本 繁: 芦生原生林を歩きつくす フィールドワーク 20年の調査と発見, ナカニシヤ出版, (-): -(2021): 芦生研究林
- 渡辺 弘之: 芦生原生林今昔物語 京都大学芦生演習林から研究林へ, 株式会社あつぷる出版社, (-): -(2021): 芦生研究林
- Mochidome Takumi: Species variation in tree stem CH4 emission: The effect of stem internal CH4 production and wood traits., 京都大学農学研究科森林科学専攻学士論文, (-): 1-21(2022): 芦生研究林
- 東 若菜, 駒田 夏生, 小川 裕也, 龍見 史恵, 中西 晃, 野口 結子, 石井 弘明, 神崎 護: 老齢天然林に生残する巨樹の生態学的視点からの保全価値の再評価ー芦生研究林内保存木の維管束着生植物群集と林冠土壌ー, 地域自然史と保全, 43(1): 71-82(2021): 芦生研究林
- 太田 実里, 増田 良平, 村主 勝彦, 飯田 訓久: ディープラーニングを用いた植生調査のための植物のセグメンテーション, 関西農業食料工学会会報, 131(-): 25-26(2022): 芦生研究林
- 太田 実里: 深層学習を用いた植生調査のための植物のセグメンテーション, 京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻修士論文, (-): 1-69(2022): 芦生研究林
- Aye Ko Ko: Significance of wide variation in sapwood width in temperate broad-leaved trees, 京都大学農学研究科森林科学専攻修士論文, (-): 1-42(2021): 芦生研究林, 上賀茂試験地
- Kurata Seikan, Sakaguchi Shota, Mishima Hitomi, Tsuchimatsu Takashi, Ito Motomi: Development and characterization of nuclear microsatellite markers to reveal the neutral demographic background of flower color polymorphism in *Geranium thunbergii* (Geraniaceae), Genes & Genetic Systems, 96(2): 99-104(2021): 芦生研究林
- Kazutoshi Masuda, Hiroaki Setoguchi, Koki Nagasawa, Shigeru Fukumoto, Masae Ishihara, Rei-ichi Miura, Leiko Mizusawa, Ken-ichi Hiratsuka, Shota Sakaguchi: Identification of management units in the threatened populations of *Arnica mallotopus* Makino (Asteraceae), using novel EST-SSR markers, Genes & Genetic Systems, 96(3): 159-164(2021): 芦生研究林
- Pavel Fibich, Masae Ishihara, Satoshi Suzuki, Jiri Dolezal, Jan Altman: Contribution of conspecific negative density dependence to species diversity is increasing towards low environmental limitation in Japanese forests., Scientific Reports, 11(-): 1-11(2021): 芦生研究林
- Azuma A. Wakana, Komada Natsuki, Ogawa Yuya, Ishii Hiroaki, Nakanishi Akira, Noguchi Yuiko, Kanzaki Mamoru: One large tree crown can be defined as a local hotspot for plant species diversity in a forest ecosystem: a case study in temperate old-growth forest, Plant Ecology, 223(1): 99-112(2021): 芦生研究林
- Sakaguchi Shota, Oishi Mitsuru, Takahashi Daiki, Matsuo Ayumi, K. Hirota Shun, Suyama Yoshihisa, Setoguchi Hiroaki: *Ribes fujisanense* (Grossulariaceae): A New Obligate Epiphytic Species of Gooseberry Discovered in Central Japan, Acta Phytotax. Geobot., 73(1): 49-56(2022): 芦生研究林

- Inoue Takato, Nakata Ryu, Savitzky Alan H., Yoshinaga Naoko, Mori Akira, Mori Naoki: New Insights into Dietary Toxin Metabolism: Diversity in the Ability of the Natricine Snake *Rhabdophis tigrinus* to Convert Toad-Derived Bufadienolides, *Journal of Chemical Ecology*, 47(-): 915-925(2021): 芦生研究林
- Hino Takafumi, Yuri Kanno, Shin Abe, Tetsuto Abe, Tsutomu Enoki, Toshihide Hirao, Tsutomu Hiura, Kazuhiko Hoshizaki, Hideyuki Ida, Ken Ishida, Masayuki Maki, Takashi Masaki, Shoji Naoe, Mahoko Noguchi, Tatsuya Otani, Takanori Sato, Michinori Sakimoto, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Atsushi Takashima, Naoko Tokuchi, Shunsuke Utsumi, Amane Hidaka, Masahiro Nakamura: Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan., *Ecological Research*, 36(3): 562-572(2021): 芦生研究林
- Kohmei Kadowaki, Yoichiro Kitagawa, Masae Ishihara: Mycorrhizal types as a crucial driver of seedling survival: evidence from a cool temperate native forest, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 芦生研究林
- EPRON Daniel, SAKABE Ayaka, TAKAHASHI Kenshi, ISE Takeshi: Accounting for the emissions of tree stems in the methane budget of forests: upscaling chamber measurements to the stand, Annual Meeting of the Japan Geoscience Union, (-): -(2021): 芦生研究林
- HARADA Mikitoshi, EPRON Daniel, WATANABE Takeshi, ASAKAWA Susumu: Abundance and species of methanogenic archaea inside tree stems, Annual Meeting of the Japan Society for Archaeology, (-): -(2021): 芦生研究林
- ARADA Mikitoshi, EPRON Daniel, WATANABE Takeshi, ASAKAWA Susumu: Methanogenic microbial community inside tree stems, Annual Meeting of the Japanese Society of Microbial Ecology, (-): -(2021): 芦生研究林
- EPRON Daniel, Mochidome Takumi, Dannoura Masako, Sakabe Ayaka: Emissions of methane from tree stems in forests: where does methane come from and where does it go?, Asiaflux conference 2021, (-): -(2021): 芦生研究林
- 東 若菜, 駒田 夏生, 小川 裕也, 吉田 智弘, 石原 正恵: 樹幹に着生するコケ類と懸垂土壌のバイオマスと分布特性の理解に向けて, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 芦生研究林
- 飯尾 能久: 稠密余震観測から推定される大阪府北部の地震と有馬高槻断層帯との関係, 日本地球惑星科学連合 2021 年大会, (-): -(2021): 芦生研究林
- 太田 実里, 増田 良平, 村主 勝彦, 飯田 訓久: ディープラーニングを用いた植生調査のための植物のセグメンテーション, 関西農業食料工学会第 146 回例会, (-): -(2021): 芦生研究林
- 南丹市文化博物館, 第II部 絵画編 芦生の森を描く, 南丹市文化博物館図録 令和 3 年度秋季特別展「森と共に生きる-知井地区を中心に-」, (-): 42-75(2021): 芦生研究林
- 森の京都「なんたん」エコミュージアム実行委員会: 森とともに生きる 京都丹波高原国定公園 生命のふるさとからの贈り物, -, (-): -(2022): 芦生研究林
- 白水 貴, 大前 宗之, 新井 文彦, 稲葉 重樹, 服部 友香子: 日本新産種 *Auricularia americana* s. str.(キクラゲ目), 日本菌学会会報, 62(2): 125-130(2021): 北海道研究林
- Keisuke Yumoto, Takashi Kanbe, Akane Kato, Tomohiro Kando, Ririko Koido, Taichi Umino, Yoko Saito, Shingo Kaneko, Michael P. Nobis, Yoshiaki Tsuda: Evaluation of the genetic structure and demographic history of a cicada species, *Yezoterpnosia nigricosta*, in Japan, Early Career Biogeographers Conference (ECBC) Amsterdam 2021. International Biogeography Society., (-): -(2021): 北海道研究林
- 湯本 景将, 加藤 朱音, 田中 啓介, 神戸 崇, 小井土 凜々子, 海野 太一, 兼子 伸吾, 齊藤 陽子, Michael P. Nobis, 津田 吉晃: セミ科昆虫の遺伝構造と森林樹木の分布変遷との関係, 第 133 回日本森林学会大会, (-): -(2022): 北海道研究林
- 梁 乃申, 寺本 宗正, 高木 健太郎, 平野 高司, 近藤 俊明, 小嵐 淳, 安藤 麻里子, 高木 正博, 石田 祐宣, Yiping ZHANG, Derrick Y.F. LAI, Po-Neng CHIANG, 市井 和仁, 山貫 緋称, 孫 力飛, 高橋 善幸, 曾 継業, Azian Mohti: 日本を中心としたアジア域の森林における土壌メタン吸収の過去、現状と将来, 第 69 回日本生態学会, (-): -(2022): 北海道研究林
- Rui Ueda, Hirohiko Takeshima, Takuya Sato: Difficulty in sex identification of two local populations of red-spotted masu salmon using two salmonid male-specific molecular markers, *Ichthyological Research*, 69(2): 275-279(2021): 和歌山研究林
- Sato T, Ueda R, Takimoto G: The effects of resource subsidy duration in a detritus-based stream ecosystem: a mesocosm experiment., *Journal of Animal Ecology*, 90(5): 1142-1151(2021): 和歌山研究林
- 岩槻 幸雄, 関 伸吾, 谷関 俊男, 奥野 八重子, 川嶋 尚正, 平嶋 健太郎: 和歌山県日高川におけるキリクチ絶滅に伴う奈良キリクチの移入・復活計画およびその後の活動—故木村英造氏と故久保達郎博士のキリクチへの思い—, *Nature of Kagoshima*, 47(-): 355-371(2021): 和歌山研究林

野田 祥平, 秋田 鉄也, 武島 弘彦, 佐藤 拓哉: アマゴ野生集団における繁殖成功の個体間変異: ゲノムワイド家系解析からの評価, 日本生態学会・第 69 回全国大会, (-): -(2022): 和歌山研究林

小野田 雄介: 森林機能に関わるゲノム・形質・生態の統合アプローチ, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 和歌山研究林

佐藤 拓哉: 大規模野外操作実験で紐解く生態系間相互作用の季節動態, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 和歌山研究林

日下部 玄, 森 英樹, 日浦 勉: Distribution patterns of lianas from subtropical to subarctic regions in japan, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 和歌山研究林, 芦生研究林, 上賀茂試験地

上田 るい, 金岩 稔, 照井 慧, 瀧本 岳, 武島 弘彦, 勝村 啓史, 橋口 康之, 山崎 曜, 佐藤 拓哉: 森と川のつながりが維持するアマゴの生活史多様性: 野外操作実験とゲノム解析の融合へ, 日本生態学会・第 69 回全国大会, (-): -(2022): 和歌山研究林

倭 千晶, 田中 智一郎, 佐藤 拓哉: 無人航空機を用いた山岳地帯における両生類成体のラジオテレメトリー手法の開発, 第 17 回日本バイオリギング研究会シンポジウム, (-): -(2021): 和歌山研究林

田中 智一郎: ドローンで拓く新たなラジオテレメトリーの世界, 第 17 回日本バイオリギング研究会シンポジウム, (-): -(2021): 和歌山研究林

田中 達也: 森林からの餌資源供給が部分移住多型に及ぼす影響の実験的検証, 神戸大学卒業論文, (-): -(2022): 和歌山研究林

野田 祥平: ゲノムワイド SNP を用いた家系解析手法の確立とアマゴ野生集団への適用, 神戸大学卒業論文, (-): -(2022): 和歌山研究林

永田 鴻流, 渡邊 七江, 多田 昌裕, 岡田 昌也: 実世界学習の計算論的理解のための行動セマンティクス, 情報処理学会論文誌, 62(12): 2090-2107(2021): 上賀茂試験地

Fujii Saori, Haraguchi Takashi, Tayasu Ichiro: Radiocarbon signature reveals that most springtails depend on carbon from living plants, *Biology Letters*, 17(9): -(2021): 上賀茂試験地

Jiajie Du, Jinsen Zheng, Makoto Shibata, Zixiao Wang, Tetsuhiro Watanabe, Shinya Funakawa: Dissimilatory nitrate reduction processes along a forest hillslope, *European Geosciences Union General Assembly 2021*, (-): -(2021): 上賀茂試験地

小野田 雄介: 森林機能に関わるゲノム・形質・生態の統合アプローチ, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 上賀茂試験地

Md Farhadur Rahman, Yusuke Onodo, Kaoru Kitazima: Impact of typhoons on forest landscape: Estimation of biomass loss using Lidar and satellite optical data, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 上賀茂試験地

水上 知佳, 和頴 朗太, 江澤 辰広, 向井 真那, 澤田 佳美, 北山 兼弘: 土壌タイプによるリン可給性の違いとコナラ細根ホスファターゼ活性の種内変異の関係, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 上賀茂試験地

長谷川 元洋, 原口 岳, 藤本 修平, 佐藤 圭一郎, 吉田 創志: 炭素・窒素安定同位体比を用いた環境攪乱に対する中型土壌動物の反応の検知, 日本土壌動物学会第 43 回大会, (-): -(2021): 上賀茂試験地

原口 岳, 長谷川 元洋: カスケードペルチェによる土壌動物抽出装置下での試料冷却装置の設計検討, 日本土壌動物学会第 43 回大会, (-): -(2021): 上賀茂試験地

原口 岳, 吉田 創志, 藤本 修平, 佐藤 圭一郎, 長谷川 元洋: リター除去より 1 年超経過後の土壌食物網: 炭素窒素安定同位体分析による検討, *JPGU-AGU Joint Meeting*, (-): -(2021): 上賀茂試験地

Hasegawa Motohiro, Haraguchi Takasi, Fujimoto Shuhei, Sato Keiichiro: Soil meso-faunal response to forest-floor disturbance: using carbon and nitrogen stable isotope measurements to a litter manipulation experiment, *XVIII International Colloquium on Soil Zoology*, (-): -(2021): 上賀茂試験地

藤井佐, 原口 岳, 陀安 一郎: 放射性炭素同位体分析によるトビムシの餌炭素年齢の推定, 日本土壌動物学会第 43 回大会, (-): -(2021): 上賀茂試験地

平山 貴美子, 溝 健太, 龍野 眞佳, 吉川 瑞紀, 立川 智恵理: コナラの成熟種子生産の年変動: 開花から結実に至るプロセスと気象要因の関係, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 上賀茂試験地

池本 拓真, 溝 健太, 平山 貴美子: コナラ属 3 種における堅果成長フェノロジーの違いが種子食昆虫の加害に与える影響, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 上賀茂試験地

西門 未帆, 平山 貴美子: モチノキ属複数種における果実成長フェノロジーと種子食昆虫の加害パターンとの関係, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 上賀茂試験地

Aye Ko Ko: Significance of wide variation in sapwood width in temperate broad-leaved trees, 京都大学農学研

究科修士論文, (-): -(2022): 芦生研究林, 上賀茂試験地

許 定康, 正岡 直也, 小杉 緑子, 小杉 賢一郎: Analysis of the permeability distribution characteristics of forest soils based on soil-pore connection properties, 京都大学農学研究科修士論文, (-): -(2022): 上賀茂試験地

藤原 尚輝, 築瀬 佳之, 藤原 裕子, 澤田 豊, 藤井 義久: 腐朽した木材の穿孔抵抗に影響を及ぼす物性値のパラメータ解析, 木材保存, 47(1): 22-31(2021): 北白川試験地

Nakamura Ryosuke, Amada Gaku, Kajino Hirofumi, Morisato Kei, Kanamori Kazuyoshi, Hasegawa Motohiro: Silicious trichomes as a trait that may slow down leaf decomposition by soil meso- and macrofauna, Plant and Soil, 471(-): 289-299(2021): 北白川試験地

Kosuke Takaya, Atsuki Shibata, Yuji Mizuno, Takeshi Ise: Unmanned aerial vehicles and deep learning for assessment of anthropogenic marine debris on beaches on an island in a semi-enclosed sea in Japan, Environmental Research Communications, 4(1): 1-10(2022): 北白川試験地

土本 菜央, 栗野 達也, 陳 碩也, 杉山 淳司: 非セルロース多糖類に対するバーチャル免疫標識, 第 72 回日本木材学会大会, (-): -(2022): 北白川試験地

大山 智子, 栗野 達也, 杉山 淳司: スギ分化中木部の高压凍結・凍結置換固定に適した充填剤の検討, 第 72 回日本木材学会大会, (-): -(2022): 北白川試験地

Nakamura Ryosuke, Amada Gaku, Kajino, Hirofumi, Morisato Kei, Kanamori Kazuyoshi, Hasegawa Motohiro: How do silicious trichomes influence leaf decomposition by meso- and macrofauna?, EGU General Assembly Online 2021, (-): -(2021): 北白川試験地

山口 彩樹子, 吉永 新, 杉山 淳司: カジノキ師部繊維 G 層の人為的木化に及ぼすキシロオリゴ糖の影響, 第 72 回日本木材学会大会, (-): -(2022): 北白川試験地

中川 拓海, 吉永 新, 杉山 淳司: モノクローナル抗体を用いたヒノキおよびシラカシ正常材細胞壁木化過程の解析, 第 73 回日本木材学会大会, (-): -(2022): 北白川試験地

瀬木 晶帆, 三浦 真弘, 岩泉 正和, 山田 浩雄, 北山 兼弘, 小野田 雄介: 共通圃場に植栽されたクリの樹形の系統間変異とその決定要因、および生産力への影響, 森林遺伝育種学会第 10 回大会記録, (-): -(2021): 北白川試験地

瀬木 晶帆, 三浦 真弘, 岩泉 正和, 山田 浩雄, 北山 兼弘, 小野田 雄介: 共通圃場におけるクリの樹形および生産力の遺伝的変異-広葉樹育種に向けて-, 日本生態学会第 69 回全国大会, (-): -(2022): 北白川試験地

山口 彩樹子: カジノキ師部繊維 G 層の人為的木化に及ぼすキシロオリゴ糖の影響, 京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士論文, (-): -(2022): 北白川試験地

中川 拓海: モノクローナル抗体を用いたヒノキおよびシラカシ正常材細胞壁木化過程の解析, 京都大学農学部森林科学科課題研究論文, (-): -(2022): 北白川試験地

## 京都府立大学

### 生命環境学部附属演習林

宝角春香, 吉岡康一, 細谷隆史, 宮藤久士: イオン液体 (1-メチルイミダゾリウム硫酸水素塩) 処理と減圧水蒸気蒸留法を組み合わせたモウソウチク (*Phyllostachys edulis*) からのフラン化合物生産とイオン液体のリサイクル性能, 材料, 70, 554-560 (2021) : 大野演習林

Ryoya Ito, Hisashi Miyafuji: Production of 5-hydroxymethylfurfural from Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) in an ionic liquid, 1-methylimidazolium hydrogen sulfate, Scientific Reports, 11: 22790(2021) : 大野演習林

Hisashi Miyafuji, Koji Minamoto: Fire and termite resistance of wood treated with PF6-based ionic liquids. Scientific Reports, 12: 14548(2022) : 大野演習林

林亮臣: イオン液体(1-エチル-3-メチルイミダゾリウムクロリド)中における木材多糖の反応挙動, 2021 年度修士論文: 大野演習林

Akiomi Hayashi, Takashi Hosoya, Hisashi Miyafuji: Reaction behavior of glucomannan in an ionic liquid, 1-ethyl-3-methyl-imidazolium chloride, 9th Asian Conference on Biomass Science, (2021) : 大野演習林

林亮臣, 細谷隆史, 宮藤久士: イオン液体中における木材多糖の反応挙動, 第17回バイオマス科学会議発表要旨集, (2022) : 大野演習林

林亮臣, 細谷隆史, 宮藤久士: イオン液体中における木材多糖の反応挙動, 第72回日本木材学会大会研究発表要旨集, (2022): 大野演習林

北原祐規: 広葉樹の幹に沿った年輪成長パターンと樹冠との関連に関する研究, 2022年度卒業論文: 大

## 枝演習林

佐藤藍：広葉樹樹冠内での入射光および反射光の強度と光質の垂直変化の解析，2022年度卒業論文：大枝演習林

岸大地：閉鎖林内におけるサカキ側枝の構造解析，2022年度卒業論文：大枝演習林

池本拓真・溝健太・平山貴美子：コナラ属3種における堅果成長フェノロジーの違いが種子食昆虫の加害に与える影響，第69回日本生態学会大会要旨集 P1-155(2022)：京都大学上賀茂試験地

西門未帆・平山貴美子：モチノキ属複数種における果実成長フェノロジーと種子食昆虫の加害パターンの関係，第69回日本生態学会大会要旨集 P1-154(2022)：京都大学上賀茂試験地

平山貴美子・溝健太・龍野眞佳・吉川瑞紀・立川智恵理：コナラの成熟種子生産の年変動：開花から結実に至るプロセスと気象要因の関係，第69回日本生態学会大会要旨集 P2-085：京都大学上賀茂試験地

Masanori Katsuyama, Nobuhito Ohte, Yoshiko Kosugi, Makoto Tani: The Kiryu Experimental Watershed: 50-years of rainfall-runoff data for a forest catchment in central Japan. *Hydrological Processes*, 35: e14104. (2021)：京都大学桐生水文試験地

金澤瑛，正岡直也，小杉賢一朗，勝山正則，中谷洋明：山地源流域における湧水の涵養域の推定，*水文・水資源学会誌*, 34, 100-113. (2021) 京都大学信楽水文試験地

吉居 大輝：森林の音と風景画像がリラックス度に及ぼす影響，2021年度卒業論文：鷹峯演習林

玉井 嘉：木材利用意識と個人特性および個人属性との関係に関する研究，2021年度卒業論文：大枝演習林

古村 恵里：樹木製油の嗜好性に及ぼすおおいの認知の影響，2021年度卒業論文：大野演習林

藤本 和香：オイルパーム幹の分離技術の開発に向けた基礎的研究，2021年度卒業論文：大野演習林

大塚 友加里：アゼライン酸処理における加熱温度が物性におよぼす影響，2021年度修士論文：大野演習林

中田 涼：楽器用木材の振動特性に及ぼす接着剤の影響，2021年度修士論文：大野演習林

田中 徹：木材の改質を目的とした低温熱処理技術に関する基礎的研究，2021年度博士論文：大野演習林

田中 徹，伊藤 貴文，岩本 頼子，三好 由華，堀山 彰亮，神代 圭輔，古田 裕三：NH<sub>4</sub>Cl, MgCl<sub>2</sub>が熱処理に及ぼす影響および処理木材に付与される耐朽性，*材料*, 70(7)：522-527(2021)：大野演習林

田中 徹，伊藤 貴文，岩本 頼子，三好 由華，堀山 彰亮，神代 圭輔，古田 裕三：NH<sub>4</sub>Clを用いた熱処理が木材構成成分に及ぼす影響，*材料*, 70(7)：528-534(2021)：大野演習林

神代 栄理子，深町 加津枝，神代 圭輔，高橋 大樹：明治期の材木売上帳にみる琵琶湖西岸地域の森林資源の用途別流通，*ランドスケープ研究* 85(5):405-410(2022):大枝演習林

堀山 彰亮，神代 圭輔，古田 裕三：マツ科針葉樹材における一年輪内での力学的性質の変動，第7回材料WEEKプログラム：RM6-13(2021)：大野演習林

堀山 彰亮：木材の一年輪内における物性の変動，(公社)日本材料学会関西支部 第16回若手シンポジウムプログラム：2-A(2021):大野演習林

大塚 友加里：アゼライン酸処理木材における処理温度が木材の物性に及ぼす影響，(公社)日本材料学会関西支部 第16回若手シンポジウムプログラム：2-D(2021):大野演習林

上原 一輝，倉田 洋平，堀山 彰亮，神代 圭輔，古田 裕三，三好 由華：湿度変化速度や湿度変化後の時間経過が木材の動的粘弾性の変化に与える影響，第72回木材学会大会研究発表要旨：C15-03-1600(2022)：大野演習林

堀山 彰亮，神代 圭輔，古田 裕三，岡久 陽子，今井 友也：異なる膨潤状態の木材における微細構造と物性の変化 —動的粘弾性挙動と小角 X 線散乱からの考察—，第72回木材学会大会研究発表要旨：C15-03-1645(2022)：鷹峯演習林

堀山 彰亮，神代 圭輔，伊藤 貴文，古田 裕三，三好 由華：針葉樹材および広葉樹材の一成長輪内における力学的性質の変化 —熱軟化挙動からの考察—：C15-P-04(2022)：大枝演習林

三好 由華，安部 久，堀山 彰亮，神代 圭輔，古田 裕三：IR スペクトルから推定したリグニン構造と熱軟化特性の関係，第72回木材学会大会研究発表要旨：C16-03-1115(2022)：大野演習林

村山 浩久，石浦 扶比等，神代 圭輔，長島 啓子，古田 裕三，瀧上 佑樹：京都府産木材の利用拡大に向けた流通段階における ICT 技術の活用 —木材検収アプリ及び強度推定アプリの現場実証—，第72回木材学会大会研究発表要旨：Q15-P-07(2022)：大野演習林

糟谷 信彦，宮藤 久士，山田 範彦：荒廃農地に植栽されたセンダンの生枝下高と成長速度との関係，第72回日本木材学会大会研究発表要旨集，Q15-P-12(2022)：大野演習林，大枝演習林，鷹峯演習林，梅ヶ

畑演習林, 演習林苗畑  
屋内 萌: センダンの初期成長と荒廃農地への植栽適性の検討, 2021年度卒業論文: 大野演習林, 大枝演習林, 鷹峯演習林, 梅ヶ畑演習林, 久多演習林, 演習林苗畑  
向井花乃・美濃羽靖・長島啓子. 機械学習を用いたヒノキ林における地位指数の推定. 第133回日本森林学会大会講演集: 132 (2022) : 大枝演習林

## 鳥取大学

### 農学部附属フィールドサイエンスセンター

今西 史香: ヒノキ人工林の間伐方法と低木種個体群の構造・動態, 令和3年度鳥取大学卒業論文(2022): 蒜山の森  
久保 岳大: 針葉樹人工林内の小溪流における魚類の生息場所形成への倒流木の寄与, 令和3年度鳥取大学卒業論文(2022): 蒜山の森  
Eriko Mitani, Katsuhiko Osumi : Long-term nucleation effect of remnant trees in a temperate forest established on abandoned grassland, *Acta Oecologica*, 114 : 1-9 (2022) : 蒜山の森  
Aye Myat Myat Paing, Shufen Chen, Yoshihiko Tsumura, Nobuhiro Tomaru, Kousuke Homma, Masahiko Kadomatsu, Toshiya Yoshida, Hajime Kobayashi, Atsuhiko Iio, Katsuhiko Osumi, Haruhiko Taneda, Yoko Hisamoto & Susumu Goto : Determination of intraspecific variation in seed weight, leaf functional traits, and sapling size of *Betula ermanii* using a common garden experiment, *Journal of Forest Research*, 26(6) : 419-426 (2021) : 蒜山の森  
Tomika Hagiwara, Masae Iwamoto Ishihara, Junji Takabayashi, Tsutomu Hiura, Kaori Shiojiri : Effective distance of volatile cues for plant-plant communication in beech, *Ecology and Evolution*, 11(18) : 12445-12452 (2021) : 蒜山の森  
芳賀 弘和, 勝山 正則, 小杉 賢一朗: 火山噴出物由来の地質を持った0次谷における流出継続時間の縦断変化, 第133回日本森林学会大会学術講演集, 108 (2022)  
芳賀 弘和: 河道内に滞留している流木, 砂防学会誌, 74(5) : 54-59 (2022)  
Hino Takafumi, Yuri Kanno, Shin Abe, Tetsuto Abe, Tsutomu Enoki, Toshihide Hirao, Tsutomu Hiura, Kazuhiko Hoshizaki, Hideyuki Ida, Ken Ishida, Masayuki Maki, Takashi Masaki, Shoji Naoe, Mahoko Noguchi, Tatsuya Otani, Takanori Sato, Michinori Sakimoto, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Atsushi Takashima, Naoko Tokuchi, Shunsuke Utsumi, Amane Hidaka, Masahiro Nakamura : Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, 37(3) : 432-445 (2022) : 蒜山の森

## 島根大学

### 演習林

高橋 絵里奈: 歴史的な特徴と施業技術の特徴からみた吉野林業地の今後の展望(第6章), 「農山村のオルタナティブ」(伊藤勝久編著), 日本林業調査会, pp.119-132, ISBN : 978-4-88965-268-0 (2021年9月)  
高橋 絵里奈: 吉野林業の山守さんの密度管理(コラム14), 「森林美学への旅 ザーリッシュの森をもとめて」(小池孝良著), 海青社, pp.149-150, ISBN:978-4-86099-390-0 (2021年11月)  
M. Nakamura, C. Terada, K. Ito, K. Matsui, S. Niwa, M. Ishihara, T. Kenta, T. Yoshikawa, T. Kadoya, T. Hiura, H. Muraoka, K. Ishida, N. Agetsuma, R. Nakamura, H. Sakio, M. Takagi, A.S. Mori, M.K. Kimura, H. Kurokawa, T. Enoki, T. Seino, A. Takashima, H. Kobayashi, K. Matsumoto, K. Takahashi, R. Tateno, T. Yoshida, T. Nakaji, M. Maki, K. Kobayashi, K. Fukuzawa, K. Hoshizaki, K. Ohta, K. Kobayashi, M. Hasegawa, S.N. Suzuki, M. Sakimoto, Y. Kitagawa, A. Sakai, H. Kondo, T. Ichie, K. Kageyama, A. Hieno, S. Kato, T. Otani, Y. Utsumi, T. Kume, K. Homma, K. Kishimoto, K. Masaka, K. Watanabe, M. Toda, D. Nagamatsu, Y. Miyazaki, T. Yamashita, N. Tokuchi: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12293> (2022 Feb.): 三瓶演習林, 匹見演習林, 松江試験地  
池田 功輝: 三瓶演習林における土地利用形態の違いが中型土壌動物の分布に及ぼす影響: 三瓶演習林  
池田 龍馬: 根系形態のフラクタル次元を用いたスギ裸苗とコンテナ苗の成長解析: 三瓶演習林  
大隅 梨央: 特定外来生物ソウシチョウ *Leiothrix lutea* の三瓶山近辺における繁殖行動について: 三瓶演習林



外山 祐紀: 島根大学附属施設における鳥類の生息状況と広葉樹二次林と針葉樹人工林の鳥類相の変化: 三瓶演習林

坪田 和也: 全天球カメラ及びSLAMを用いた立木計測: 三瓶演習林

松崎 陽平: 森林域における低コスト2周波GNSS受信機によるRTKおよびPPK測位の精度評価: 三瓶演習林

宗石 大輔: スギ人工林におけるキャンプ利用のための薪および枝葉の熱効率評価: 三瓶演習林

森本 崇斗: エンジンおよび電動チェーンソーの騒音、振動、労働負荷の比較評価: 三瓶演習林

山脇 千雅: コナラの優占する落葉広葉樹二次林における落葉生産に対するブナ科樹木集団萎凋枯死の影響: 三瓶演習林

吉村 哲彦, 中川 彰大, 千原 敬也, 鈴木 保志: 竹割器による薪割り作業の効率と労働負荷の評価. 第28回森林利用学会学術研究発表会 (オンライン) 2021年1月: 三瓶演習林

坪田 和也, 米 康充: 全天球カメラを用いた立木計測 II—SLAMを用いた計測精度の検証—. 第133回日本森林学会大会 (オンライン) 2022年3月: 三瓶演習林

外山 祐紀, 高橋 絵里奈, 尾崎 嘉信, 山下 多聞: 山陰地方の広葉樹二次林と針葉樹人工林における鳥類群集種構成の過去と現在. 第133回日本森林学会大会 (オンライン) 2022年3月: 三瓶演習林

田中慈, 高橋 絵里奈, 吉村 哲彦: 島根県のコウヨウザン造林地におけるノウサギの被害. 第133回日本森林学会大会 (オンライン) 2022年3月

高橋 絵里奈, 佐藤 玲音, 高橋 さやか: 低密度植栽に対する島根県内の森林組合の意向と今後の課題. 第72回応用森林学会大会 (オンライン) 2021年11月

立花 寛奈, 久保 満佐子, 井上 雅仁, 葛西 絵里香: 隠岐諸島におけるミズナラの分布特性. 第133回日本森林学会大会 (オンライン) 2022年3月

藤巻 玲路, 瀬山 大二郎, 山下 多聞: 山陰地方のスギ人工林における間伐による土壌窒素動態への影響, 第133回日本森林学会大会 (オンライン) 2022年3月: 三瓶演習林

## 愛媛大学

### 農学部附属演習林

杉元 宏行, 杉森 正敏, 澤田 笑華, 大嶋 一史: *Effect of the international structure on color changes in wood by painting transparent, color Research & Application* 46(3)645-652 (2021年6月)

秋山 綾子: 樹冠の開放とシカ柵の設置が下層植生に与える影響, 愛媛大学卒業論文 (2022): 愛媛大学農学部附属演習林

## 高知大学

### 農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールド

待木 亮人: コガタスズメバチの警報フェロモン, 高知大学卒業論文 (2022): 嶺北フィールド

櫻井 拓海: 嶺北フィールドにおけるモミの天然更新に影響をあたえる環境要因, 高知大学卒業論文 (2022): 嶺北フィールド

片山 樹: 簡易動的コーン貫入試験および簡易支持力測定器による森林作業道の路体強度についての考察, 高知大学農林海洋科学部卒業論文 (2022): 嶺北フィールド

神尾 ふく: 演習林の広葉樹林における上木伐採による残存木の損傷及び萌芽状況, 高知大学農林海洋科学部卒業論文 (2022): 嶺北フィールド

立石 将彬: 高知大学演習林における軽架線を用いた広葉樹材の伐出, 高知大学農林海洋科学部卒業論文 (2022): 嶺北フィールド

藤岡 颯: 高知大学嶺北フィールドの降雨遮断特性について, 高知大学農林海洋科学部卒業論文(2022): 嶺北フィールド

Masahiro Nakamura, Chisato Terada, Kinya Ito, Kazuaki Matsui, Shigeru Niwa, Masae Ishihara, Tanaka Kenta, Tetsuro Yoshikawa, Taku Kadoya, Tsutomu Hiura, Hiroyuki Muraoka, Ken Ishida, Naoki Agetsuma, Ryosuke Nakamura, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Akira S. Mori, Megumi K. Kimura, Hiroko Kurokawa, Tsutomu Enoki, Tatsuyuki Seino, Atsushi Takashima, Hajime Kobayashi, Kazuho Matsumoto, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tateno, Tomohiro Yoshida, Tetsuro Nakaji, Masayuki Maki, Kazutaka Kobayashi, Karibu Fukuzawa, Kazuhiko Hoshizaki, Kazuhide Ohta, Keito Kobayashi, Motohiro Hasegawa, Satoshi N. Suzuki, Michinori Sakimoto, Yoichiro Kitagawa, Akiko Sakai, Hirofumi Kondo, Tomoaki Ichie, Koji Kageyama, Ayaka Hieno, Shogo Kato, Tatsuya Otani, Yasuhiro Utsumi, Tomonori Kume, Kosuke Homma, Koju Kishimoto, Kazuhiko Masaka, Kenta Watanabe, Motomu Toda, Dai Nagamatsu, Yuko Miyazaki, Tamon Yamashita, Naoko Tokuchi:

Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, <https://doi.org/10.1111/1440-1703.12293>(2022):嶺北フィールド

Shinichi Tebayashi, Shintaro Onishi, Kouhei Seo, Megumi Hiroshima, Masashi Sato & Ken Izumori: Identification of allitol and d-allulose from *Itea virginica* as insect growth inhibitors for the control of Mediterranean flour moth, *Ephestia kuehniella* (Lepidoptera: Pyralidae), *Applied Entomology and Zoology*, 56(3): 357-364(2021): 嶺北フィールド

Tomonori Date, Kanamu Shigeno, Megumi Hiroshima, Kohei Seo, Masashi Sato, Shinichi Tebayashi, Shushi Sato: Verbascoside from *Verbena incompta* is a plant root growth inhibitor, *Bioscience, Biotechnology and Biochemistry*, 85(7): 1602-1608(2021):嶺北フィールド

Suzuki, Y., Yoshimura, T., Moriguchi, K., Hayata, Y., Urabe, M. and Imayasu, K.: Performance of small-sized harvesting system for single tree selection thinning of *Quercus acuta* using an excavator-based grapple machine and a winch-mounted mini-forwarder, The Joint 43rd Annual Meeting of Council on Forest Engineering (COFE) & the 53rd International Symposium on Forest Mechanization (FORMEC), Forest Engineering Family – Growing Forward Together, September 27-30, 2021, Corvallis, Oregon, U.S.A. (オンライン開催; ホストは米国オレゴン州立大学, Corvallis, Oregon, U.S.A.) (2021):嶺北フィールド

立石 将彬・鈴木 保志・吉村 哲彦・守口 海・早田 佳史・浦部 光治・今安 清光: 高知大学演習林における軽架線を用いた広葉樹材の伐出, 森林利用学会第28回学術研究発表会(オンラインと対面のハイブリッド開催; ホストは愛媛大学, 松山市) (2021):嶺北フィールド

立石 将彬・片山 樹・吉村 哲彦・早田 佳史・浦部 光治・今安 清光: 高知大学演習林における軽架線を用いた広葉樹材の伐出, 令和3年度 四国森林・林業研究発表会(高知市) (2021):嶺北フィールド

鈴木 保志・立石 将彬・吉村 哲彦・早田 佳史・浦部 光治・今安 清光: 作業システムによる広葉樹伐出のために必要な路網整備についての考察, 第133回日本森林学会大会(オンライン開催; ホストは山形大学, 山形) (2022):嶺北フィールド

橋本 直之: フィールドデータの管理・活用促進に向けた演習林及び農場地図のデジタル化 (2021) :嶺北フィールド

橋本 直之: フィールドデータの収集・利用に係わる取組み, 国土地理院四国地方測量部 地理空間情報の活用に関する高知地域連携協議会 (2021):嶺北フィールド

市栄 智明: 人工林での土壌微生物調査(2021):嶺北フィールド

右田 紗奈, 市栄 智明: ライトトラップを用いた蛾類群集調査(2021):嶺北フィールド

## 九州大学

Chang, T., Kosugi, Y., Kume, T., Katayama, A., Okumura, M., Chang, K.: Dependence of isoprene emission flux on leaf mass per area of *Phyllostachys pubescens* (moso bamboo), *Journal of Agricultural Meteorology*, 78(1): 1-7(2022): 福岡演習林

Sakaguchi, S., Oishi, M., Takahashi, D., Matsuo, A., Hirota, S. K., Suyama, Y., Satoguchi, H.: *Ribes fujisanense* (Grossulariaceae): A New Obligate Epiphytic Species of Gooseberry Discovered in Central Japan, *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 73(1): 49-56(2022): 宮崎演習林ほか

Costello, D. M., Tiegs, S. D., Boyero, L., Canhoto, C., Capps, K. A., Danger, M., Frost, P. C., Gessner, M. O., Griffiths, N. A., Halvorson, H. M., Kuehn, K. A., Marcarelli, A. M., Royer, T. V., Mathie, D. M., Albariño, R. J., Arango, C. P., Aroviita, J., Baxter, C. V., Bellinger, B. J., Bruder, A., Burdon, F. J., Callisto, M., Camacho, A., Colas, F., Cornut, J., Crespo-Pérez, V., Cross, W. F., Derry, A. M., Douglas, M. M., Elosegí, A., de Eyto, E., Ferreira, V., Ferriol, C., Fleituch, T., Shah, F. J. J., Frainer, A., Garcia, E. A., García, L., García, P. E., Giling, D. P., Gonzales-Pomar, R. K., Graça, M. A. S., Grossart, H., Guérol, F., Hepp, L. U., Higgins, S. N., Hishi, T., Iñiguez-Armijos, C., Iwata, T., Kirkwood, A. E., Koning, A. A., Kosten, S., Laudon, H., Leavitt, P. R., Lemes da Silva, A. L., Leroux, S. J., LeRoy, C. J., Lisi, P. J., Masese, F. O., McIntyre, P. B., McKie, B. G., Medeiros, A. O., Miliša, M., Miyake, Y., Mooney, R. J., Muotka, T., Nimptsch, J., Paavola, R., Pardo, I., Parnikoza, I. Y., Patrick, C. J., Peeters, E. T. H. M., Pozo, J., Reid, B., Richardson, J. S., Rincón, J., Risnoveanu, G., Robinson, C. T., Santamans, A. C., Simiyu, G. M., Skuja, A., Smykla, J., Sponseller, R. A., Teixeira-de Mello, F., Vilbaste, S., Villanueva, V. D., Webster, J. R., Woelfl, S., Xenopoulos, M. A., Yates, A. G., Yule, C. M., Zhang, Y., Zwart, J. A.: Global Patterns and Controls of Nutrient Immobilization on Decomposing Cellulose in Riverine Ecosystems, *Global Biogeochemical Cycles*, 36(3): e2021GB007163(2022): 全球

Farahnak, M., Mitsuyasu, K., Ide, J., Chiwa, M., Enoki, T., Jeong, S., Otsuki, K., Shimizu, K., Kume, A.: Soil pH and divalent cations after clear-cutting on a Japanese cypress plantation, *Journal of Forest Research*, 1-8(2022): 福岡演習林

- Hishi, T., Urakawa, R., Saitoh, S., Maeda, Y., Hyodo, F.: Topography is more important than forest type as a determinant for functional trait composition of Collembola community, *Pedobiologia*, 90: 150776(2022): 北海道演習林
- Kawakami, E., Ataka, M., Kume, T., Shimono, K., Harada, M., Hishi, T., Katayama, A.: Root exudation in a sloping Moso bamboo forest in relation to fine root biomass and traits, *PLOS ONE*, 17(3): e0266131(2022): 福岡演習林
- Lyu, J., He, Q., Chen, Q., Cheng, R., Li, G., Otsuki, K., Yamanaka, N., Du, S.: Distinct transpiration characteristics of black locust plantations acclimated to semiarid and subhumid sites in the Loess Plateau, China, *Agricultural Water Management*, 262: 107402(2022): 中国
- Nagano, N., Kume, T., Utsumi, Y., Tashiro, N., Otsuki, K., Chiwa, M.: Negligible Response of Transpiration to Late-Summer Nitrogen Fertilization in Japanese Oak (*Quercus crispula*), *Nitrogen*, 3(1): 76-89(2022): 北海道演習林
- Shimono, K., Katayama, A., Kume, T., Enoki, T., Chiwa, M., Hishi, T.: Differences in net primary production allocation and nitrogen use efficiency between Moso bamboo and Japanese cedar forests along a slope, *Journal of Forest Research*, 27(1): 28-35(2022): 福岡演習林
- Katayama, A., Endo, I., Makita, N., Matsumoto, K., Kume, T., Ohashi, M.: Vertical variation in mass and CO<sub>2</sub> efflux of litter from the ground to the 40m high canopy in a Bornean tropical rainforest, *Agricultural and Forest Meteorology*, 311: 108659(2021): マレーシア
- Nishio, S., Takada, N., Terakami, S., Takeuchi, Y., Kimura, M. K., Isoda, K., Saito, T., Iketani, H.: Genetic structure analysis of cultivated and wild chestnut populations reveals gene flow from cultivars to natural stands, *Scientific Reports*, 11(1): 240(2021): 宮崎演習林ほか
- 上森 教慈, 大對 桂一: 九州初記録のナンブジガバチモドキ, *KORASANA*, 97: 7(2021): 福岡演習林ほか
- 上森 教慈, 外村 俊輔: 福岡県篠栗町におけるギンスジヒゲナガの新産地, *KORASANA*, 97: 8-9(2021): 福岡演習林
- 菊池 隼人, 山内 健生, 押田 龍夫: 【短報】エゾフクロウのペリットから採集されたヘリトゲコブスジコガネ, さやばねニューシリーズ, 44: 51-52(2021): 北海道演習林
- 渡辺 崇: 宮崎県のハネカクシ科甲虫, タテハモドキ, 59: 1-51(2021): 宮崎演習林ほか
- Shibata, H., Ban, R., Hirano, N., Eguchi, S., Mishima, S., Chiwa, M., Yamashita, N.: Comparison of spatial and temporal changes in riverine nitrate concentration from terrestrial basins to the sea between the 1980s and the 2000s in Japan: Impact of recent demographic shifts, *Environmental Pollution*, 288: 117695(2021): 日本
- 扇 大輔, 村田 秀介, 山内 耕司朗, 中村 琢磨, 井上 幸子, 周藤 靖雄: 九州大学宮崎演習林で発生したスギ暗色枝枯病の被害と発生要因－高標高地における壮齡林での被害例－, *植生史研究*, 70(6): 14-22(2021): 宮崎演習林
- Chiwa, M.: Long-term changes in atmospheric nitrogen deposition and stream water nitrate leaching from forested watersheds in western Japan, *Environmental Pollution*, 287: 117634(2021): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- Jeong, S., Otsuki, K.: Effects of tree mortality on the estimation of stemflow yield in a self-thinning coniferous plantation, *Ecohydrology*, 14(7): e2327(2021): 福岡演習林
- Shiono, T., Kusumoto, B., Kubota, Y.: Area-based conservation planning in Japan: The importance of OECMs in the post-2020 Global Biodiversity Framework, *Global Ecology and Conservation*, 30: e01783(2021): 日本
- Aizawa, M., Worth, J. R. P.: Phylogenetic origin of two Japanese *Torreya* taxa found in two regions with strongly contrasting snow depth, *Journal of Plant Research*, 134: 907-919(2021): 宮崎演習林ほか
- Kusumoto, B., Kubota, Y., Shiono, T., Villalobos, F.: Biogeographical origin effects on exotic plants colonization in the insular flora of Japan, *Biological Invasions*, 23(9): 2973-2984(2021): 日本
- Uemori, K., Mita, T., Hishi, T.: Changes in species, functional, and phylogenetic diversity of Aculeata communities along elevational gradients in the Kyushu Central Mountains of the Japanese archipelago, *Ecological research*, 36(5): 778-787(2021): 宮崎演習林ほか
- Kwon, T., Shibata, H., Kepfer-Rojas, S., Schmidt, I. K., Larsen, K. S., Beier, C., Berg, B., Verheyen, K., Lamarque, J., Hagedorn, F., Eisenhauer, N., Djukic, I., TeaComposition Network: Effects of Climate and Atmospheric Nitrogen Deposition on Early to Mid-Term Stage Litter Decomposition Across Biomes, *Frontiers in Forests and Global Change*, 4: 678480(2021): 全球
- 吉川 昌伸, 鈴木 三男, 佐藤 雅俊, 小林 和貴, 長谷川 健, 吉川 純子, 戸田 博史: ヤチカンバ花粉の識別と北海道東部の西別湿原における 6500 年前以降の植生史, *植生史研究*, 29(2): 37-52(2021): 北海

## 道演習林

- Hishi, T., Katayama, A., Kawakami E.: Degradation of understory by deer over-grazing decreasing soil Collembola diversity, XV International Colloquium on Apterygota, (2021): 宮崎演習林
- Hishi, T., Uemori, K.: Changes in potential and actual body size of Collembola community regarding to altitude, vegetation and seasons, XVIII International Colloquium on Soil Zoology (ICSZ2021), (2021): 宮崎演習林
- 榎木 勉: 140 年生スギ人工林における地上部純一次生産と窒素利用: 天然更新した広葉樹が優占する不成熟造林地との比較, 九州大学農学部演習林報告, 130: 1-6(2022): 福岡演習林
- 李 彦達, 笠原 玉青, 智和 正明: 山地溪流の河床と河川間隙水域における有機物分解速度の比較, 九州大学農学部演習林報告, 130: 7-12(2022): 福岡演習林
- 阿部 隼人, 付 東川, 久米 朋宣, 片山 歩美: 下層植生が消失した針広混交林における樹木根系の露出とその制御要因, 九州大学農学部演習林報告, 130: 13-20(2022): 宮崎演習林
- 緒方 健人, 久米 朋宣, 片山 歩美, 井上 幸子: 九州大学早良実習場長期気象観測データの整理統合, 九州大学農学部演習林報告, 130: 21-28(2022): 九州大学早良実習場
- 中村 琢磨, 長 慶一郎, 山内 康平, 緒方 健人, 鍛冶 清弘, 佐々木 寛和, 扇 大輔, 井上 幸子, 村田 秀介, 山内 耕司朗, 菱 拓雄, 田代 直明, 市橋 隆自: 鳥獣防除作の構造的な違いが植栽木への食害や成長および林床植生に与える影響, 九州大学農学部演習林報告, 130: 29-39(2022): 宮崎演習林
- 山内 耕司朗, 片山 歩美, 市橋 隆自, 久米 朋宣, 井上 幸子, 扇 大輔, 南木 大祐, 中村 琢磨: 九州大学農学部附属演習林宮崎演習林におけるブナ科樹木萎凋病の被害報告, 九州大学農学部演習林報告, 130: 41-44(2022): 宮崎演習林
- 上森 教慈, 三田 敏治, 清水 晃, 菱 拓雄: 北海道足寄町の森林においてイエローパントラップを用いて採取された有剣ハチ類, 九州大学農学部演習林報告, 130: 45-51(2022): 北海道演習林ほか
- 吉永 直樹: 全国救助技術交流集会「遭難時の捜索技術をテーマに福岡県で開催」, 登山時報, 47(9): 24-25(2021): 福岡演習林
- 林野庁森林整備部森林利用課森林吸収元情報管理官: 森林吸収源インベントリ情報整備事業, 京都議定書に基づく森林吸収量に関する森林現況調査, 1(2022): 北海道演習林
- Tanaka, Y., Kasahara, T.: 溪流における有機物の貯留、分解の流路内変動及び季節変動, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 福岡演習林
- 榎木 勉, 高木 正博, 鶴川 信, 鍋嶋 絵里, 石井 弘明: 九州産スギ 6 品種の成長と窒素利用様式, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 福岡演習林, 宮崎演習林ほか
- 梅林 利弘, 内海 泰弘, 野末 尚希, 山田 俊博: 早期心材形成樹種における木部形成と心材形成の関係, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 北海道演習林ほか
- 佐々木 尚子, 高原 光, 林 竜馬, 中村 琢磨, 三宅 悠平, 岩井 悠人, 斎藤 俊彦, 杉田 真哉: チョウセンゴヨウの花粉生産量: 定量的植生復元の基礎資料として, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 北海道演習林
- 川口 英之, 荒木 眞岳, 飛田 博順, 廣部 宗, 榎木 勉, 名波 哲, 舘野 隆之輔, 金子 有子, 井鷲 裕司: トチノキ個体における雄性器官と雌性器官への繁殖投資効率, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 京都大学芦生演習林
- 笠原 玉青, 李 彦達, 久保 朋也: 溪流での窒素保持に河床と河川間隙水域が及ぼす影響, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 多々良川(福岡県)
- 羽田 泰彬, 熊谷 朝臣, 久米 朋宣, 松本 一穂: ボルネオ熱帯雨林は ENSO にどう応えるのか?, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): マレーシア
- 李 昱竺, 上谷 梨咲, 鄭 聖勳, 智和 正明, 大槻 恭一: ヒノキ人工林における間伐が樹冠通過雨の雨滴衝撃エネルギーに与える影響, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 福岡演習林
- 上谷 梨咲, 李 昱竺, 鄭 聖勳, 大槻 恭一: 老齢高密度非管理ヒノキ人工林における雨水配分, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 福岡演習林
- 松本 達也, 久米 朋宣, 阿部 隼人, 片山 歩美: スキャナー法を用いたモウソウチク林の根系動態, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 福岡演習林
- 宮崎 拓馬, 篠原 慶規, 徳本 雄史, 片山 歩美, 久米 朋宣: 下層植生の衰退した広葉樹林における UAV を用いた土壌侵食量の面的評価, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 宮崎演習林
- 鶴田 健二, 久米 朋宣, 奥村 智憲: 管理モウソウチク林における葉のフェノロジーと稈齡が蒸散に及ぼす影響, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 京都府亀岡市
- 井手 淳一郎, Farahnak, M., Jeong, S., 山瀬 敬太郎, 牧田 直樹, 西村 裕志, 大槻 恭一, 大橋 瑞江: 森林

- 域から都市域へ輸送される河川水中溶存有機物の分子種の変遷について, 第 133 回日本森林学会大会, (2022): 多々良川(福岡県)
- 内海 泰弘, 永井 智, 佐野 雄三, 玉井 裕: 春期シラカンバ木部における道管の再充填, 第 72 回日本木材学会大会, (2022): 北海道演習林
- 香川 聡, 内海 泰弘: 木材は葉面から吸収した水でできている?—木材バイオマスを構成する酸素・水素の起源としての葉面吸収水—, 第 72 回日本木材学会大会, (2022): 北海道演習林
- 工藤 佳世, 内海 泰弘, 永井 智, 高田 克彦: イチョウ樹幹における通水様式, 第 72 回日本木材学会大会, (2022): 秋田県立大学
- 相 符, 香川 聡, 永井 智, 内海 泰弘: 重水トレーサーを用いてオノエヤナギにおける当年根から葉に至る軸方向と放射方向の通水経路の解析, 第 72 回日本木材学会大会, (2022): 北海道演習林
- 菱 拓雄, 黒川 紘子, 岸本 圭子, 兵藤 不二夫: 日本列島の森林土壌性トビムシ群集の機能形質に作用する生物的・非生物的要因, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 日本
- 日下部 玄, 森 英樹, 日浦 勉: 亜熱帯から亜寒帯における木本性つる植物の分布パターン, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 北海道演習林ほか
- 長野 菜穂, 智和 正明, 久米 朋宣, 内海 泰弘, 田代 直明, 大槻 恭一: 下層植生消滅下での大気窒素沈着に対する樹木の蒸散の応答, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 北海道演習林
- 花谷 周亮, 遠藤 いず貴, 福澤 加里部, 片山 歩美, 中路 達郎, 牧田 直樹, 大橋 瑞江: 熱帯雨林の三次元構造がもたらす葉リターの分解プロセスの多様性, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): マレーシア
- 阿部 隼人, 小山田 美森, 久米 朋宣, 兵藤 不二夫, 片山 歩美: 九州南部のブナの衰退と土壌侵食との関係性, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 宮崎演習林
- 小山田 美森, 阿部 隼人, 菱 拓雄, 片山 歩美: 土壌侵食が森林土壌の生態系機能に与える影響, 第 69 回日本生態学会大会, 2022 年 3 月 14-19 日, オンライン: 宮崎演習林ほか
- 市橋 隆自: 冷温帯樹木とつる植物の茎通導・水利用の季節性, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 宮崎演習林
- 片山 歩美, 安宅 未央子, 高梨 聡, 久米 朋宣: モウソウチク科 CO<sub>2</sub> 放出の日変化—温度と樹液流速の影響—, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 森林総合研究所関西支所
- 楠本 聞太郎: 最終氷河期後の熱帯浅海域拡大とイシサンゴ種多様性の関係, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 全球
- 高木 正博, 孫 力飛, 梁 乃申, 寺本 宗正, 平野 高司, 高木 健太郎, 石田 祐宣, 近藤 俊明, 小嵐 淳, 安藤 麻里子, 市井 和仁, 高橋 善幸: 九州・沖縄地方における森林土壌のメタンフラックスと化学性の関係, 第 69 回日本生態学会大会, (2022): 福岡演習林ほか
- 森 裕樹, 山北 絵理, 木村 優佑, 小林 孝行, 前島 勇治, 平館 俊太郎: 九州大学福岡演習林の堆積岩地帯における土壌の生成と分類に関する考察, 2021 年度 日本土壌肥料学会九州支部例会, (2021): 福岡演習林
- 徳本 雄史, 小山田 美森, 片山 歩美: 土壌侵食による土壌微生物相とそれらの機能面への影響—九州大学宮崎演習林内 2 ヶ所での予備解析結果—, 第 77 回九州森林学会(2021): 宮崎演習林
- 長砂 まりも, 横田 優帆, 森 裕樹, 平館 俊太郎: 土壌中における異なる有機態リン化合物からのオルトリン酸の生成速度, 日本土壌肥料学会 2021 年度北海道大会, (2021): 福岡演習林
- 斎藤 星花, 和田 信一郎, 森 裕樹, 平館 俊太郎: 小笠原諸島・媒島および父島に分布する土壌の分散性, 日本土壌肥料学会 2021 年度北海道大会, (2021): 福岡演習林
- 菱 拓雄, 上森 教慈, 中村 琢磨, 田代 直明: 標高傾度はトビムシの大人ではなく子供の選択をしている, 第 43 回日本土壌動物学会大会, 2021 年 5 月 22-23 日, オンライン: 北海道演習林
- 長野 菜穂, 智和 正明, 久米 朋宣, 内海 泰弘, 田代 直明, 大槻 恭一: 下層植生消滅下での大気窒素沈着に対する樹木の蒸散の応答, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 北海道演習林
- 智和 正明, 内海 泰弘, 田代 直明, 安田 悠子, 篠塚 賢一, 楊 茹, 長野 菜穂, 村田 秀介, 中村 琢磨, 山内 康平, 壁村 勇二, 安藤 達郎, 澤村 寛: ランブキはなぜ大きいのか?, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 北海道
- 内海 泰弘, 藤山 美薫, 中村 琢磨, 南木 大祐, 鍛冶 清弘, 村田 秀介, 山内 康平, 壁村 勇二, 緒方 健人, 久保田 勝義, 智和 正明, 田代 直明, 菱 拓雄: 冷温帯性落葉広葉樹の稚樹段階での定着および成長に斜面方位が及ぼす影響, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 北海道演習林

- 田中 熙一, 笠原 玉青: 溪流における有機物の貯留と分解の空間的変動, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 福岡演習林
- 李 昱竺, 上谷 梨咲, Jeong, S., 智和 正明, 大槻 恭一: 福岡演習林高田試験地におけるヒノキ人工林の間伐が樹冠通過雨の雨滴衝撃エネルギーに与える影響, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 福岡演習林
- 阿部 隼人, 小山田 美森, 久米 朋宣, 兵藤 不二夫, 片山 歩美: 九州南部のブナの衰退と土壌侵食との関係性, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 宮崎演習林
- 小山田 美森, 阿部 隼人, 菱 拓雄, 片山 歩美: 土壌侵食が森林土壌の生態系機能に与える影響, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 宮崎演習林ほか
- 菱 拓雄, 川上 えりか, 片山 歩美: 宮崎演習林合戦原における下層植生密度の低下がトビムシ群集に与える影響, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 宮崎演習林
- 上森 教慈, 菱 拓雄: 気温が有剣ハチ類の各食性群に与える影響, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 北海道, 南部九州
- 榎木 勉, 高木 正博, 鶴川 信, 鍋嶋 絵里, 石井 弘明: スギの成長と窒素利用様式の品種による違い, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 福岡演習林ほか
- 上森 教慈, 菱 拓雄: 有剣ハチ類調査におけるパントラップとネット採集のサンプリング効率の比較, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 北海道
- 壁村 勇二, 山内 康平, 藤山 美薫, 鍛冶 清弘, 中村 琢磨, 村田 秀介, 久保田 勝義, 南木 大祐, 智和 正明, 田代 直明, 内海 泰弘: 北海道演習林の見本林, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 北海道演習林
- 上谷 梨咲, Li, Y. Jeong, S. 大槻 恭一: 福岡演習林高田試験地における高密度非管理人工林の雨水配分, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 福岡演習林
- 村田 秀介, 久保田 勝義, 鍛冶 清弘, 扇 大輔, 村松 優子, 井上 幸子, 南木 大祐, 緒方 健人, 内海 泰弘: 福岡演習林における日中のシカ目撃記録の経過報告と課題について, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 福岡演習林
- 片山 歩美, 市橋 隆自, 内海 泰弘, 榎木 勉, 久米 朋宣, 智和 正明, 大槻 恭一: 福岡演習林のタケ研究のこれまでとこれから, 第 24 回演習林研究発表会, (2022): 福岡演習林
- 後藤 栄治: 植物の弱光環境適応における葉緑体運動の意義に関する研究, 第 20 回日本農学進歩賞受賞講演, (2021): 北海道演習林
- Li, Y., Kubo, T., Kasahara, T.: Retention of nitrate in a headwater stream: effects of benthic and hyporheic zone, *Environmental Technology and Management* 2021, (2021): 福岡
- 上森 教慈: 標高傾度に沿った有剣ハチ群集の変化—道東と南部九州での研究—, 森林生物セミナー, (2021): 宮崎演習林, 北海道演習林
- Kasahara, T.: Hydrological Cycle and Water Resource, Virtual Seminar: Sustainable Development on Water Reclamation and Reuse, (2021): 福岡
- 共著: 大槻 恭一ほか: 2.2.3 林床面蒸発散量変化の測定, 3.2 林床面蒸発散量の評価モデル, 44-49, 112-119, 水資源対策としての森林管理 大規模モニタリングデータからの提言(恩田 裕一, 五味 高志編), 東京大学出版会(2021)
- 壁村 勇二, 榎木 勉: あしよろ自然誌 Vol.38 エゾジカ, 広報あしよろ, 827: 17(2022): 北海道演習林
- 藤山 美薫, 田代 直明: あしよろ自然誌 Vol.37 オオワシ, 広報あしよろ, 825: 11(2022): 北海道演習林
- 緒方 健人, 内海 泰弘: あしよろ自然誌 Vol.36 ドングリの冬越し, 広報あしよろ, 823: 19(2021): 北海道演習林
- 山内 康平, 田代 直明: あしよろ自然誌 Vol.35 ギンゴケ, 広報あしよろ, 821: 21(2021): 北海道演習林
- 壁村 勇二, 内海 泰弘: あしよろ自然誌 Vol.34 アヤメ, 広報あしよろ, 819: 17(2021): 北海道演習林
- 藤山 美薫, 田代 直明: あしよろ自然誌 Vol.43 エゾジカ, 広報あしよろ, 817: 19(2021): 北海道演習林
- 松仁 天志郎: 暖温帯広葉樹二次林における皆伐後の萌芽枝の発生と初期動態—切株のサイズと樹齢が与える影響—, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, 1-47(2022): 福岡演習林
- 吉田 慎子: 管理放棄した草地の植物群集の変化—九州大学福岡演習林における 8 年間の植生遷移モニタリングの結果—, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, 1-15(2022): 福岡演習林
- 阿部 隼人: 下層植生が消失した九州南部山岳林における土壌侵食とブナ衰退との関係, 修士論文, 九

州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, 1-45(2022): 宮崎演習林  
 長野 菜穂: 大気窒素沈着量増加に対するミズナラの蒸散の応答と下層植生の役割, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, 1-45(2022): 北海道演習林  
 李 昱竺: ヒノキ人工林における間伐が樹冠通過雨の雨滴運動エネルギーに与える影響, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, 1-15(2022): 福岡演習林  
 田中 秀一: 植物の微弱光環境への適応における柵状組織細胞の形状変化, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース植物代謝制御学分野: 1-100(2022): 北海道演習林  
 斎藤 星花: 小笠原諸島に分布する土壌の分散性の評価, 修士論文, 九州大学大学院生産環境科学教育コース土壌学分野, 1-98(2022): 福岡演習林  
 小山田 美森: 土壌浸食が森林土壌の生態系機能に与える影響: 九州山地のブナ林における事例, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース流域環境制御学研究室, 1-23(2022): 宮崎演習林  
 田中 熙一: 溪流内での有機物の貯留とリター分解の空間的変動, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース流域環境制御学研究室, 1-23(2022): 福岡演習林  
 松本 達也: スキャナー法を用いたモウソウチク林の根系動態の実態解明, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース流域環境制御学研究室, 1-18(2022): 福岡演習林  
 竹下 大貴: 年輪幅の異なるスギ材がイオン液体処理後に示す軟化性能の比較, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース木質材料工学研究室, (2022): 福岡演習林  
 本馬 維子: 北海道の天然生広葉樹林に生息するエゾモモンガの資源利用, 卒業論文, 帯広畜産大学畜産学部環境生態学ユニット, 1-51(2022): 北海道演習林  
 矢野 呼春: エゾタヌキ *Nyctereutes viverrinus albus* の溜め糞場の存在は他の動物種の行動に影響を及ぼすか?, 卒業論文, 帯広畜産大

## 宮崎大学

### 田野フィールド (演習林)

Fukasawa, Yu et al.: Patterns of community composition and diversity in latent fungi of living *Quercus serrata* trunks across a range of oak wilt prevalence and climate variables in Japan, *Fungal Ecology*, 59:(2021): 田野フィールド (演習林)  
 Nakamura, Masahiro et al.: Evaluating the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 33 forest sites across Japan, *Ecological Research*, 37(3): 432-445(2021): 田野フィールド (演習林)  
 Yamashita, Kazuhiro et al.: Effects of advance regeneration and germinated seedlings on forest recovery after clearcutting of *Chamaecyparis obtusa* plantations in Southern Kyushu, Southwestern Japan, *Landscape Ecology and Engineering* 18:85-94 (2022): 田野フィールド (演習林)  
 山岸 極: 低木層樹木および保護樹帯の機能評価に基づくヒノキ人工林の表土・林床植生保全に関する研究, 宮崎大学農学工学総合研究科博士論文, (2022): 宮崎大学田野フィールド (演習林)  
 林田 治也: 酵母投与発熱マウスモデルによる民間薬地竜の解熱活性評価と活性成分の分離研究, 熊本大学創薬・生命薬科学専攻修士論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 Aya Myat Paing: Evaluating the effects of global warming on survival and growth of *Betula ermanii* based on range-wide provenance trials, 東京大学農学生命科学研究科修士論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 大野 友揮: スギ人工林伐採跡地の伐採後17年目における森林性ネズミによる堅果運搬と実生更新の可能性について, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 金丸 綾可: 路網計画の効率に対象地の面積が与える影響に関する研究, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 川崎 実椰: 田野フィールドのヒノキ人工林におけるヤクシマランの生育状況, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 久木山 弘忠: 高精度DEMによる集水面積の計算結果と実測断面積の比較, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 志田 有里紗: UAV画像解析と機械学習を用いた植生分類における植物季節情報の有用性, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 谷山 雄介: スギ人工林の胸高直径-樹高曲線におけるパラメータの変動要因に関する研究, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)  
 西 鈴音: 複層林施業による階層構造の複雑化が鳥類群集の種多様性に与える影響, 宮崎大学農学部卒

- 業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)
- 深江 朋実: 衛星画像から得られるNDVIを用いた間伐前後の蒸散量の推定, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)
- 中川 恵翔: 下層植生がニホンノウサギの生育密度に与える影響, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)
- 黒木 春衣: 田野演習林における有剣ハチ類と林相の関係, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)
- 江藤 清楓: クヌギ・コナラ林の林床植生における種組成と環境要因との関係, 宮崎大学農学部卒業論文, (2022): 田野フィールド (演習林)

## 鹿児島大学

### 農学部附属演習林

- 石橋 璃沙: 動物被食散布型果実の量的形質の個体間変異, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2022) : 高限演習林
- 梅永大志: プロセッサの造材データを用いた幹曲線作成に丸太サイズが与える影響, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2022) : 高限演習林
- 吉田 楽: 鹿児島県本土における外来鳥類のガビチョウ・ソウシチョウの分布調査, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2022) : 高限演習林
- 大西布綺, 奥山洋一郎, 上栗慎吾, 枚田邦宏, 牧野耕輔: 緑の雇用研修生の満足度調査からみる労働環境の現状, 九州森林研究, 75, 9-12 (2022) : 高限演習林
- 奥山洋一郎, 牧野耕輔, 枚田邦宏, 金氣陽大: 南九州における木材チップ生産の現状, 九州森林研究, 75, 13-16 (2022) : 高限演習林
- 畑 邦彦, 早瀬 愛奈, 藤井 佑輔, 奥田 絢子, 榮村 奈緒子: 鹿児島県のサザンカにおける輪紋葉枯病の被害発生状況とそれに影響する要因, 樹木医学研究, 25 : 67-68 (2021) : 高限演習林
- 牧野耕輔・岡勝・加治佐剛・寺本行芳・新永智士: 鹿児島県大隅地域におけるスギ材の素材販売価格の試算 : 鹿児島大学高限演習林を事例にして, 森林利用学会誌, 37(1), 57-66 (2022) : 高限演習林
- IKEDA Nozomi, KAJISA Tsuyoshi, TERAOKA Yukio: The Effect of Single Japanese Cedar on Field Strength Measurement at 920MHz Radio Wave, Joint International Symposium on Sustainable Forest Ecosystem Management (SFEM) by Taiwan, Japan and Korea - SFEM 2021 Online (2021) : 高限演習林
- 加治佐剛, 森脇省吾, 寺岡行雄: ドローンレーザーデータによるスギ人工林の樹高計測, 第 77 回九州森林学会, オンライン (2021) : 高限演習林
- 清野 浩人, 鶴川 信, 榎木 勉, 石井 弘明: 土壌環境にともなうスギの細根特性の変化は品種間で異なるか?, 第 77 回九州森林学会大会, オンライン (2021) : 高限演習林
- 黒木俊太郎, 加治佐剛, 寺岡行雄: 森林域における二時期のデジタル航空写真から得られた DSM 差分画像解析による樹冠高の経年変化推定, 第 77 回九州森林学会大会, オンライン (2021) : 高限演習林
- 小林くるみ, 奥山洋一郎, 枚田邦宏: 大学演習林における森林認証取得の取組み, 第 77 回九州森林学会大会, オンライン (2021) : 高限演習林
- 比江島 尚真, 赤木 功, 大塚 次郎, 久保田 正裕, 鶴川 信: スギ特定母樹の育苗における冬季の施肥量と植栽後の成長の関係, 第 77 回九州森林学会大会, オンライン (2021) : 高限演習林
- 宿利原恵, 井倉洋二: 高限演習林教育関係共同利用拠点における地域コミュニティ教育分野の取組, 第 77 回九州森林学会大会, オンライン (2021) : 高限演習林
- 吉田 楽, 畑 邦彦, 榮村 奈緒子: 外来鳥類のガビチョウとソウシチョウの鹿児島県本土における分布状況, 第 77 回九州森林学会大会, オンライン (2021) : 高限演習林

## 琉球大学

### 農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター

- Chen, B., Ding Y., Jiao, Y., Xie, Y., and Jones, T.E.: Chapter 2 Overcoming Barriers to Nature Conservation in China's Protected Area Network: From Forest Tourism to National Parks. In Jones et al. (eds.), Nature-Based Tourism in Asia's Mountainous Protected Areas, Geographies of Tourism and Global Change, [https://doi.org/10.1007/978-3-030-76833-1\\_2](https://doi.org/10.1007/978-3-030-76833-1_2). P29-48. (2021)
- Wang, Y.-C.; Chen, B.: Dust capturing capacity of woody plants in Clean Air Zones throughout Taiwan. Atmosphere, 12, 696. <https://doi.org/10.3390/atmos12060696>. (2021)



- 新里孝和, 陳碧霞:琉球の古文書にみられる祭祀植物アザカ. 『琉球大学農学部学術報告』68号:12-21. (2021)
- 新里孝和, 陳碧霞:琉球の古文書にみられる祭祀植物ダシチャ. 『琉球大学農学部学術報告』68号:22-27. (2021)
- 新里孝和, 陳碧霞:琉球の古文書にみられる祭祀植物ダシチャクギとアザカガネ. 『琉球大学農学部学術報告』68号:12-21. (2021)
- 新里孝和, 陳碧霞:琉球の古文書にみられる祭祀植物ミガインとシヂョク. 『琉球大学農学部学術報告』68号:22-27. (2021)
- Abe T, Kudo T, Saito K, Takashima A, Miyamoto A: Plant indicator species for the conservation of priority forest in an insular forestry area, Yambaru, Okinawa Island, *Journal of Forest Research*, 26: 181-191 (2021): 与那フィールドを含む国頭村
- Takashima A, Nakanishi A, Morishita M, Abe S, Saito K, Kotaka N: Tree-cavity formation in the mature subtropical forests of Yambaru, Okinawa Island, *Journal of Forest Research*, 26: 410-418 (2021): 与那フィールドを含む国頭村
- Hino T, Kanno Y, Abe S, Abe T, Enoki T, Hirao T, Hiura T, Hoshizaki K, Ida H, Ishida K, Maki M, Masaki T, Naoe S, Noguchi M, Otani T, Sato T, Sakimoto M, Sakio H, Takagi M, Takashima A, Tokuchi N, Utsumi S, Hidaka A, Nakamura M: Assessing insect herbivory on broadleaf canopy trees at 19 natural forest sites across Japan, *Ecological Research*, 36: 562-572 (2021): 与那フィールドを含む全国
- Osaki H, Kasuya E: Mutual wing-eating between female and male within mating pairs in wood-feeding cockroach, *Ethology*, 127: 433-437 (2021): 与那フィールド
- 兼城 華鈴, 高嶋 敦史: リュウキュウマツ人工林の間に残された保護樹帯の林分構造, 九州森林研究, 75: 117-120 (2022): 与那フィールド
- 高嶋 敦史, 名取 拓海: 沖縄島やんばる地域の二次林におけるイヌマキの成長と更新様式, 九州森林研究, 75: 121-124 (2022): 与那フィールド
- 高嶋 敦史, 大浦 雅生: 7~8 齢級のイジュ人工林に対する除間伐施業の効果, 令和3年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集: 1-6 (2022): 与那フィールド
- 岸本 茉莉: やんばる地域の天然林におけるイヌマキの分布・成長と地形との関係, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド
- 津波 佳樹: 二次林と人工林におけるオキナワウラジロガシの成長量の解明, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド
- 後藤 太一: やんばる地域における台風攪乱を経た非皆伐林の林分動態, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド
- 伊佐 林里子: 沖縄島北部の亜熱帯天然生林における斜面位置の違いがサイズ構造および出現樹種に及ぼす影響, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド
- 小松 拓実: 沖縄島北部の山地斜面における土壌化学性の空間分布, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド
- 畑 紫恵菜: 沖縄島北部の山地小流域における短期流出特性, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド
- 桑江 良太: 沖縄島の亜熱帯常緑広葉樹林における土壌中の独立・従属栄養呼吸量が土壌呼吸量の空間変動に及ぼす影響, 琉球大学農学部卒業論文, (2022): 与那フィールド

＜演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 令和4年11月現在＞

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	67
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	68
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	68
山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	68
宇都宮大学農学部附属演習林	69
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	69
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	69
東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	71
筑波大学山岳科学センター	71
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	71
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	71
日本大学生物資源科学部演習林	72
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	72
玉川大学農学部農産研究センター	72
名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター	72
岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	72
三重大学大学院生物資源学研究科附属 紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター	73
京都大学フィールド科学教育研究センター	73
京都府立大学生命環境学部附属演習林	74
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	74
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	74
愛媛大学農学部附属演習林	75
高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	75
九州大学農学部附属演習林	76
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	76
鹿児島大学農学部附属演習林	76
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	77

演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 令和4年11月現在

「所属」欄 演：演習林に所属、他：演習林以外に所属

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
1. 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター									
柴田 英昭	しばた ひであき	教授	土壌学	生物地球化学	物質循環	森林生態系	環境機能	土壌-植生系	演 森林圏スケーション長
吉田 俊也	よしだ としや	教授	森林生態	復元生態学	森林施業	混交林	生物多様性	森林動態	演 北管理部長
中村 誠宏	なかむら まさひろ	教授	昆虫生態学	昆虫と植物の相互作用	地球温暖化	野外操作実験	生物多様性	間接効果	演 苫小牧研究林長、和歌山研究林長(兼)
車 柱榮	ちや じゅよん	准教授	造林学	森林再生	菌類				演
揚妻 直樹	あげつま なおき	教授	動物生態学	哺乳類	採食生態	環境利用	保護管理		演 南管理部長
高木 健太郎	たかぎ けんたろう	教授	農林気象	フラックス	二酸化炭素	カラマツ	乱流拡散	蒸発散	演 天塩研究林長
内海 俊介	うちみ しゅんすけ	准教授	進化生態学	群集生態学	昆虫と植物の相互利用	生物多様性	表現型可塑性	生態-進化動態	演
中路 達郎	なかじ たつろう	准教授	樹木生理	分光観測	生理機能	環境応答	大気汚染	リモートセンシング	演 雨龍研究林長
岸田 治	きしだ おさむ	准教授	進化生態学	両棲類	表現型可塑性	誘導防御	相互作用	共食い	演 檜山研究林長
福澤 加里部	ふくざわ かりぶ	准教授	森林生態学	物質循環	細根動態	冷温帯林	攪乱影響	河川水質	演
小林 真	こばやし まこと	准教授	森林生態	北方林	気候変動	土壌養分	土壌動物	造林	演
植竹 淳	うえたけ じゅん	准教授	微生物生態学	バイオエアロゾル	環境DNA	好冷性微生物	水河		演
野村 睦	のむら むつみ	助教	水文学	河川流出	融雪	水収支			演 中川研究林長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考	
2. 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター										
山本 信次	やまもと しんじ	教授	林政	森林管理	市民参加	森林教育	都市近郊林	合意形成	演	分野長
白旗 学	しらはた まなぶ	助教	造林	CO2収支	水分生理特性	樹木生態	スギ人工林		演	
高田 乃倫予	たかだ のりよ	助教	林政	山村振興	住生活	森林政策	福祉		演	
小藤田 久義	こふじた ひさよし	教授	森林資源化学	樹木	木材	抽出成分	生理活性	天然物化学	他	
関野 登	せきの のぼる	教授	木質資源工学	木質材料	腐菌床	断熱性	ウルシ精製		他	
真坂 一彦	まさか かずひこ	教授	造林学	森林生態学	海岸林	生態系サービズ			他	
伊藤 幸男	いとう さちお	准教授	森林政策学	林業構造	木材流通	地域社会	木質バイオマス		他	
國崎 貴嗣	くにさき たかし	准教授	森林計測	森林作業	群落生態	サイズ構造	樹林間競争		他	
齋藤 仁志	さいとう まさし	准教授	林業生産工学	森林工学	森林路網	作業システム	林業機械		他	
山内 貴義	やまうち きよし	准教授	野生動物管理	野生動物	哺乳類	生態学	保護管理		他	
松本 佐和子	まつき さわこ	講師	森林保全生態学	樹木の被食防衛機能	昆虫被害	生物多様性			他	
東 淳樹	あづま あつき	講師	保全生物学	生物多様性	絶滅危惧種	持続的社會	里山管理		他	
3. 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター										
陶山 佳久	すやま よしひさ	教授	森林分子生態学	遺伝的多様性	DNA分析	種子散布	花粉散布	古代DNA	他	
深澤 遊	ふかさわ ゆう	助教	森林生態学	菌類	分解	生物間相互作用	菌根	倒木	他	
4. 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター										
菊池 俊一	きくち しゅんいち	准教授	流域保全管理	流域	攪乱	環境保全	森林・緑地再生	市民協働	他	流域保全部門長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

5. 宇都宮大学農学部附属演習林

飯塚 和也	いらいづか かずや	教授	森林資源保全学	林木の育種	量的遺伝	森林バイオマス	資源管理	萌芽更新	演習林長
大島 潤一	おおしま じゅんいち	准教授	森林資源管理学	材質育種	材質劣化	森林資源活用			演習林次長、経営部主任
有賀 一広	あるが かずひろ	教授	森林工学	森林作業学	森林土木学	林業機械	木質バイオマス		演習林研究部主任
石栗 太	いしぐり ふとし	准教授	木材材料学	材質	組織構造				演習林研究部主任
逢沢 峰昭	あいざわ みねあき	准教授	森林植物学	針葉樹	分布	分類	系統地理	繁殖生態	演習林研究部併任
大久保 達弘	おおくぼ たつひろ	教授	森林生態学・育林学	森林動態	森林施業	植物多様性	群落修復生態	繁殖様式	演習林研究部併任
横田 信三	よこた しんそう	教授	森林化学	樹病	木質バイオマス	プロテオミクス	メタボロミクス	シラカンバ	演習林研究部併任
山本 美穂	やまもと みほ	教授	森林政策学	歴史地理学	経済史	分権的管理	スギ材流通		演習林研究部併任
松英 恵吾	まつえ けいご	准教授	森林計測学	森林計画	森林空間情報工学	リモートセンシング	森林資源管理	成長モデル	演習林研究部併任
林 宇一	はやし うち	助教	森林政策学	林業経済学	林業労働	木材価格			演習林研究部併任
酒井 佑一	さかい ゆういち	助教	砂防工学	土石流	斜面崩壊	土砂災害	火山災害		演習林研究部併任

6. 新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林

梶本 卓也	かじもと たくや	教授	森林生態学	更新機構	物質生産	森林管理			演習林長
本間 航介	ほんま こうすけ	准教授	森林生態学	群集動態	攪乱	ストレス	クローン生長	デモグラフィ	
阿部 晴恵	あべ はるえ	助教	森林生態学	植物生態	島嶼	攪乱	保全遺伝	種間作用	
古郡 憲洋	ふるこおり のりひろ	特任助手	群集生態学	里山	人為攪乱	土壌動物	水生昆虫	生物多様性	

7. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

久保田 耕平	くぼた こうへい	教授	森林動物学	森林昆虫学	進化生態学	分子生態学	種分化・個体群分化	共生微生物	演習林長
鎌田 直人	かまた なおと	教授	森林昆虫学	森林保護	個体群生態学	生物間相互作用			千葉演習林長
山田 利博	やまだ としひろ	教授	樹病学	樹木医学	抵抗性	防蝕反応	材変色	枝枯性病害	秩父演習林長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード						所属	備考
				森林計画	森林測定	森林管理	年輪生態学	「森林一人間」系	演		
石橋 肇司	いしばし せいじ	教授	森林経理学	森林計画	森林測定	森林管理	年輪生態学	「森林一人間」系	演	田無演習林長	
蔵治 光一郎	くらじ こういちろう	教授	森林流域管理学	森林水文	保水力	流域森林管理	流域治水	山地防災	演	企画部長	
尾根 敏章	おわり としあき	准教授	林業経営学	林業経営	森林資源管理	森林施業	森林技術	森林ビゾネス	演	北海道演習林長	
安村 直樹	やすむら なおき	准教授	林業経済学	林政学	木材需給	木造住宅	木材流通	山村振興	演	生態水文学研究所長	
嶋田 重裕	かもだ しげひろ	准教授	森林化学	二次代謝	更新機構	防衛物質	早生樹	森林再生	演	樹芸研究所所長、秋父演習林併任	
後藤 晋	ごとう すすむ	准教授	森林遺伝学	林木育種	局所適応	分子マーカー	繁殖様式	更新動態	演	教育・社会連携センター長	
楠本 大	くすもと だい	講師	樹病学	抵抗性獲得	シグナル物質	二次代謝	生物間相互作用	樹木医学	演	千葉演習林長補佐	
田中 延亮	たなか のぶあき	講師	森林水文学	水文気象	生態水文	流域試験	山地保全	環境教育	演	北海道演習林林長補佐	
福井 大	ふくい だい	講師	哺乳類生態学	生物多様性	空間分布	コウモリ	野生動物管理	機能形態	演	北海道演習林教育研究主任、富士演習林併任	
平尾 聡秀	ひらお としひで	講師	群集生態学	生物間相互作用	生物多様性	食物網	生態系機能	地理的分布	演	秋父演習林林長補佐、フィールドデータ研究センター長	
浅野 女子	あさの ゆうこ	講師	森林水文学	山地源流域	降雨流出	物質循環	砂防学	生態水文学研究所所長補佐	演		
齋藤 暖生	さいとう はるお	講師	森林人間関係学	採集活動	環境認識	森林と文化	レクリエーション	コモنز	演	富士癒しの森研究所所長、樹芸研究所併任	
久本 洋子	ひさもと ようこ	助教	森林分子生態学	タケ・ササ類	植物分類学	遺伝子発現解析	花成遺伝子	一斉開花	演		
當山 啓介	とうやま けいすけ	助教	森林経理学	森林計画	林業収益性	森林計測	森林利用		演	千葉演習林教育研究主任	
鈴木 智之	すずき さとし	助教	植物生態学	森林動態	植物個体群	物質循環	締枯れ	空間生態学	演		
坂上 大翼	さかうえ だいすけ	助教	樹病学	病態生理	微生物生態	樹木医学	萎凋機構	腐朽診断	演	秋父演習林教育研究主任	
竹本 周平	たけもと しゅうへい	助教	樹病学	微生物生態	線虫	菌類	分類・同定	生物地理	演	田無演習林林長補佐、教育研究主任	
水内 佑輔	みずうち ゆうすけ	助教	森林風景計画	造園学	ランドスケープGIS	森林イメージ	レクリエーション		演	生態水文学研究所教育研究主任	
三浦 直子	みうら なおこ	助教	森林空間情報科学	リモートセンシング	GIS	LIDAR	森林計測		演	富士癒しの森研究所所長補佐、教育研究主任	
井上 広喜	いのうえ ひろき	助教	森林化学	二次代謝	細胞分化・細胞死	組織培養	更新機構		演	樹芸研究所所長補佐、教育研究主任	
前原 忠	まえはら ただし	助教	森林動物学	森林動物	土壌動物	個体群生態	群集生態		演	教育・社会連携センター教育研究主任	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				森林情報学	情報基盤	映像情報	情報公開		
藤原 章雄	ふじわら ちかお	助教	森林情報学	情報基盤	映像情報	情報公開	フットパス	演	フィールドデータ研究センター教育研究主任
大谷 侖也	おおたに ゆうや	特任助教	水環境学	水資源	環境動態	気候変動	地域研究	演	古環境復元

8. 東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター

松田 和秀	まつだ かずひで	教授	大気環境学	大気環境学	エアロゾル	大気電気学	物理学	他	センター長
吉田 智弘	よしだ ともひろ	准教授	森林保護学	森林生態学	土壌動物	森林昆虫	群集生態	演	自然環境教育研究分野長

9. 筑波大学山岳科学センター

津村 義彦	つむら よしひこ	教授	森林遺伝学	集団遺伝学	分子生態	系統地理	遺伝子攪乱	演	センター長、演習林総括
清野 達之	せいの たつゆき	准教授	森林生態学	更新動態	樹形	生理生態	物質生産	演	八ヶ岳演習林長
津田 吉晃	つだ よしあき	准教授	集団遺伝学	分子生態学	進化生物学	生態系管理	気候変動	演	菅平高原実験所
門脇 正史	かどわき せいし	助教	森林保護管理	動物生態学	保全生態	爬虫・両生類	樹上性小型哺乳類	演	筑波実験林長
山川 陽祐	やまかわ ようすけ	助教	森林水文学、砂防学	斜面水文	地下水	斜面崩壊	物理探査	演	井川演習林長

10. 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

荒瀬 輝夫	あらせ てるお	准教授	野生資源植物学	植物生態	緑化	生物分類	環境アセスメント	演	野辺山ステーション主事
小林 元	こばやし はじめ	准教授	樹木生理生態学	光合成	物質生産	物質循環	人工林	演	演習林主事
宮本 裕美子	みやもと ゆみこ	助手	森林生態学	分子生態学	土壌微生物	菌根菌	生物群集	演	

11. 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

水永 博己	みずなが ひろみ	教授	造林学	林冠構造	更新	人工林生態系		演	専任
楢木 正明	ならもと まさあき	准教授	造林学	森林生態・生理学	乾燥地緑化			他	併任
今泉 文寿	いまいずみ ふみとし	准教授	砂防工学	土砂移動				他	森林生態系部門長
飯尾 淳弘	いはいお ちひろ	准教授	森林生理生態学	キャノピープロセス	アップスケーリング	モデル		他	併任
栗原 洋介	くりはら ようすけ	特任助教	動物生態学	動物生態	動物行動	哺乳類		演	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード		所属	備考
王 権	わん くあん	教授	広域生態学	生態系モデ ル	ガスフラス ク	他	併任
藪部 礼	そのべ れい	助教	広域生態学	リモートセ ンシング		他	併任
江草 智弘	えぐさ ともひろ	助教	森林水文学	森林水文		他	併任
高山 翔揮	たかやま しょうき	助教	砂防工学	土石流	水理実験	他	併任

### 12. 日本大学生物資源科学部演習林

太田 祐子	おおた ゆうこ	教授	森林病理学	腐朽菌	病原菌	樹木医	他	演習林長
後藤 一雄	ごとう かずお	技手	造林	藤沢演習林	測樹	測量	演	苗畑管理

### 13. 東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林

山崎 晃司	やまさき こうじ	教授	動物生態学	大型哺乳類	保護管理	繁殖生理	他	演習林長
矢部 和弘	やべ かずひろ	教授	森林科学	森林土木学	林業工学		他	副演習林長
根本 唯	ねもと ゆい	助教	動物生態学	行動生態	大型哺乳類	放射生態	演	演習林教務職員

### 14. 玉川大学農学部農産物研究センター

山崎 旬	やまさき じゅん	教授	生物資源保 全学、園芸科学	絶滅危惧種	ラン科植物	植物増殖技 術	他	農産物研究センター副センター長
飛田 有支	ひだ ゆうし	准教授	栽培学	栽培管理技 術			他	農産物研究センター箱根自然観察林担当
横倉 啓	よこくら けい	技術職員	技術指導・施 設管理	生態系調査	環境教育	地域連携	他	農産物研究センター北海道弟子屈農場（屈斜路演習林）理地職員

### 15. 名古屋大学大学院生命農学研究所附属フィールド科学教育研究センター

山本 一清	やまもと かずきよ	教授	森林資源管理 学	森林資源管 理	森林GIS	森林計画	他	センター長 稲武・設楽フィールド委員会委員
梶村 恒	かじむら ひさし	准教授	森林保護学	昆虫	微生物	種子	演	副センター長（稲武・設楽担当）
土岐 和多留	とき わたる	講師	森林生物学	昆虫	微生物	共生系	他	稲武・設楽フィールド委員会委員

### 16. 岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター

石田 仁	いしだ めぐみ	准教授	山地管理学	造林	森林施業	森林生態	他	森林部門長
------	---------	-----	-------	----	------	------	---	-------



氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
17. 三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター									
石川 知明	いしかわ ともあき	教授	森林環境資源利用学	路網配置	団地化	森林景観	森林作業システム	他	演習林長
松村 直人	まつむら なおと	教授	森林計画学	森林計画	森林測定	成長予測	GIS	他	熱帯林
木佐貫 博光	きさぬき ひろみつ	教授	森林保全生態学	植生	林分構造	森林動態	絶滅危惧種	他	自然再生
堤 大三	つつみ だいぞう	教授	森林環境砂防学	砂防工学	斜面崩壊	土砂生産	流砂観測	他	凍結融解
松田 陽介	まつだ ようすけ	教授	森林保護学	菌根生態	微生物	生物間相互作用	絶滅危惧種	他	樹病
中井 毅尚	なかい たかひさ	教授	木材組織	木材物理	木材強度	製材・機械加工	居住性	他	
沼本 晋也	ぬまもと しんや	准教授	森林環境砂防学	治山砂防	山地災害	森林水文	森林環境保全	演	演習林次長
洲上 佑樹	ふちがみ ゆうき	准教授	ライフサイクルアセスメント	産業連関分析	環境影響評価	木材流通	トレーサビリティ	演	

18. 京都大学フィールド科学教育研究センター

徳地 直子	とくち なおこ	教授	森林生態系生態学	物質循環	生態系	集水域	窒素利用	演	和歌山研究林長 徳山試験地長、北白川試験地長
舘野 隆之輔	たての りゅうのすけ	教授	森林生態学	物質循環	物質生産	窒素利用	伐採影響評価	演	上賀茂試験地長
長谷川 尚史	はせがわ ひさし	准教授	森林利用学	精密林業	森林資源管理	森林育成	森林利用	演	
伊勢 武史	いせ たけし	准教授	陸域生態学	物質循環	シミュレーション	気候変動	森林動態	演	
石原 正恵	いしはら まさえ	准教授	森林生態学	物質生産	生物多様性	土地利用	生活史	演	芦生研究林長
小林 和也	こばやし かずや	准教授	進化生態学	生物多様性	生物群集	分子生態学	数理モデル	演	北海道研究林長
坂野上 なお	さかのうえ なお	助教	林業経済学	木材流通	木材消費	木造住宅	市場調査	演	
中西 麻美	なかにし あさみ	助教	森林生態学	窒素循環	窒素利用	ヒノキ	ヒノキ雄花	演	二次林
松岡 俊将	まつおか しゅんすけ	助教	生物多様性科	生物多様性	環境DNA	環境傾度	菌類	演	生態系機能
杉山 賢子	すぎやま よりこ	助教	菌類生態学	菌類	生物間相互作用	外生菌根菌	群集動態	演	きのこ
赤石 大輔	あかいし だいすけ	特定講師	里山保全学	里山保全	社会連携	生物多様性	きのこ	他	環境教育

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
19. 京都府立大学生命環境学部附属演習林									
宮藤 久士	みやふじ ひさし	教授	バイオマス化学	バイオマス	木材化学	バイオエネ ルギー	森林資源循 環	他	演習林長
隅田 明洋	すみだ あきひろ	教授	森林生態学	森林構造	森林動態	階層構造	個体間競争	他	
上田 正文	うえだ まさふみ	准教授	樹木生理生態学	水分生理	森林衰退			他	
平山 貴美子	ひらやま きみこ	准教授	森林生態学	保全生態学	森林動態	種多様性		他	
美濃羽 靖	みのわ やすし	准教授	森林経理学	森林情報解 析	流域情報解 析			他	
三好 岩生	みよし いわお	准教授	砂防学	土砂災害	土石流	斜面崩壊	溪流環境	他	地域防災
佐々木 尚子	ささき なおこ	講師	森林生態学	植生変遷	森林動態	気候変動	攪乱	他	花粉分析
中田 康隆	なかた やすたか	助教	森林計画学	森林再生	ゾーニング	流域管理	大規模攪乱	他	ドローン

20. 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

日置 佳之	ひおき よしゆき	教授	生態工学	樹木学	植生学	自然再生	造園学	他	兼任教員
霜村 典宏	しもむら のりひろ	教授	菌類育種栽培学	菌類	きのこ	交雑育種	栽培	他	兼任教員
永松 大	ながまつ だい	教授	植物生態学	森林動態	生物多様性	植生科学	生態系保全	他	兼任教員
山中 啓介	やまなか けいすけ	准教授	育林学	造林	林業技術	海岸緑化	林業種苗の 育苗	他	FSC森林管理部門長
芳賀 弘和	はが ひろかず	准教授	緑地防災学	水・物質流出	源流域水文	森林水環境	山地河川	他	兼任教員
藤本 高明	ふじもと たかあき	准教授	環境木材利用学	木材物理学	木材組織学	量的遺伝学	応用分光学	他	兼任教員
岩永 史子	いわなが ふみこ	講師	樹木生理生態学	緑化	水分生理	水辺林	乾燥地	他	兼任教員
芳賀 大地	はが だいち	助教	農業政策学	森林政策	林業経済	林家		他	兼任教員

21. 島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

松本 敏一	まつもと としかず	教授	園芸学	果樹園芸	園芸利用			他	センター長
山下 多聞	やました たもん	准教授	森林土壌学	有機物分解	窒素循環	熱帯林	細根動態	演	フェノロ ジー 部門長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				流出平準化機能	水文モデル	積雪・融雪	蒸発散		
橋本 哲	はしもと てつ	准教授	森林水文学	陽樹冠	選木基準	密度管理	森林計画	他	兼任教員
高橋 絵里奈	たかはし えりな	准教授	林学	間伐				他	兼任教員

22. 愛媛大学農学部附属演習林

杉森 正敏	すぎもり まさとし	教授	森林資源利用システム	木材工学	材質評価	有節材	スギ	ヒノキ	他	兼任教員
伊藤 和貴	いとう かずたか	教授	森林化学	木材化学	リグニン	抽出成分	ファイブトレメ ディエーション	環境浄化	他	兼任教員
杉元 宏行	すぎもと ひろゆき	准教授	森林資源利用システム	木質物性	木質材料	熱分析	レオロジー		他	兼任教員
枝重 有祐	えだしげ ゆうすけ	准教授	木質バイオマス交換	木材化学	バイオマス	エネルギー	糖質化学		他	兼任教員
都築 勇人	つづき はやと	准教授	森林資源計画	森林計測	測樹	航空レーザー測量	バイオマス		他	兼任教員
寺下 太郎	てらした たろう	准教授	森林教育	森林教育	環境ESD	林業経済	林業労働	林業教育	他	兼任教員
川崎 章恵	かわさき あきえ	准教授	森林環境管理	林業経済	森林政策	林業労働者	林業事業体		他	兼任教員
小林 修	こばやし おさむ	准教授	森林教育	樹木年輪	環境ESD	樹木年輪年代学	画像解析	環境教育	他	兼任教員
嶋村 鉄也	しまむら てつや	准教授	森林資源生物	熱帯林	種多様性	森林動態	物質循環	地域研究	他	演習林長
上谷 浩一	かみや こういち	准教授	森林遺伝学	集団遺伝	分子進化	系統地理			他	兼任教員
鍋嶋 絵里	なべしま えり	准教授	森林資源生物	林冠光合成	環境応答	幹肥大成長	長期変動		他	兼任教員
木村 誇	きむら たかし	助教	森林環境制御	砂防	地すべり	土砂動態	航空レーザー測量	地理情報システム	他	兼任教員

23. 高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター

曳地 康史	ひさち やすふみ	教授	植物学、植物組織学、分子動物微生物相互作用	植物	細菌	病害防除	植物科学	分子遺伝学	他	暖地フィールドサイエンス教育研究センター長
鈴木 保志	すずき やすし	教授	林業工学	林業用架線	林道・作業道	森林バイオマス	作業システム	集材被害木	他	森林生産環境部門長
市栄 智明	いちえ ともあき	教授	樹木生理生態学	繁殖生態	林冠生態	一斉開花	被食防衛	生物間相互作用	他	森林生産環境部門副担当教員
森 牧人	もり まさと	教授	農業気象学	農業気象	局地気象	農業施設気象	地域水文	地球温暖化	他	森林生産環境部門副担当教員
松本 美香	まつもと みか	講師	地域林業	森林管理	山村振興	森林経営	森林政策		他	森林生産環境部門副担当教員

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード			所属	備考
				野生動物	森林管理	生態系変化作用 生物間相互作用		
富田 幹次	とみた かんじ	助教	動物生態学、哺乳類学			ヒグマ	他	森林生産環境部門副担当教員

24. 九州大学農学部附属演習林

大槻 恭一	おおつき きょういち	教授	森林水文学	農林気象学	流域水管理	水資源管理	乾燥地環境	土壌物理	演	研究部長
古賀 信也	こが しんや	教授	木質資源利用	材質制御	木材組織	非破壊計測	木質エネルギー	木質文化財	演	演習林長
榎木 勉	えのき つとむ	准教授	森林生態学	森林動態	生態系	物質動態	不均一性	島嶼	演	北海道演習林副演習林長
内海 泰弘	うちみ やすひろ	准教授	樹木生理学	木材組織学	水分通道	キヤピラリーシジョン	エンボリズム	植物民俗	演	北海道演習林長 かおや樹木園長
智和 正明	ちわ まさあき	准教授	生物地球化学	大気沈着	窒素循環	窒素飽和	活性酸素	森林衰退	演	福岡演習林副演習林長 調査室長
菱 拓雄	ひし たくお	准教授	森林生態学	土壌生態学	細根形態	土壌動物	土壌資源利用	群集生態学	演	福岡演習林長
久米 朋直	くめ ともゆき	准教授	森林水文学	炭素循環	東アジア	森林管理	長期モニタリング	気候変動	演	宮崎演習林長
市橋 隆自	いちばし りゅうじ	准教授	森林生態学	植物生態	つる植物	蒸散	水動態	物質分配	演	宮崎演習林副演習林長
田代 直明	たしろ なおあき	助教	森林生態学	生産生態学	樹形	光環境	可塑性	生活史	演	
片山 歩美	かたやま あゆみ	助教	炭素循環	生態系生態学	土壌呼吸	幹呼吸	熱帯雨林	炭素配分	演	
楠本 聞太郎	くすもと ぶんたろう	助教	保全生態学	生物多様性	群集集合	システム化保全計画	マクロ生態学	人為攪乱	演	

25. 宮崎大学農学部附属ワールド科学教育研究センター

高木 正博	たかぎ まさひろ	教授	森林立地学	物質循環	二酸化炭素	光合成			演	附帯施設長
西脇 亜也	にしわき あや	教授	応用生態学	野生動物	バイオマスエネルギー				演	
光田 靖	みつだ やすし	教授	森林計画学	景観生態学					他	森林部門長

26. 鹿児島大学農学部附属演習林

井倉 洋二	いのくら ようじ	准教授	森林環境教育	森林環境教育	自然学校	農山村	ソーシヤルイノベーション	自然体験	演	演習林長
牧野 耕輔	まきの こうすけ	助教	森林政策学	森林管理	林地集約化	素材生産	森林経営	農家林家	演	演習林主任

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				森林計画学	森林計画	森林計測	森林リモートセンシング		
加治佐 剛	かじさ つよし	准教授	森林計画学	森林計画	森林計測	森林リモートセンシング		他	兼務教員
奥山 洋一郎	おくやま よういちろう	助教	森林政策学	生涯学習	技術者養成	林業技術	森林教育	他	兼務教員

27. 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター

Md. Amzad Hossa in	モハメド アムザド ホサイン	教授	植物栽培環境学	熱帯・亜熱帯作物栽培	土壌・肥料管理	雑草類	薬用植物栽培	他	センター長
陳 碧霞	ちえん びしゃ	准教授	森林政策, 林業経済	集落景観	屋敷林	森林観光	森林レクリエーション	演	
高嶋 敦史	たかしま あつし	助教	森林計画学	森林計画	天然林動態	長期モニタリング	森林施業	演	琉球弧

## <令和4年度 理事会・総会>

### 令和4年度春季理事会

- (1) 理事会日程、議題等 ..... 8 1
- (2) 令和3年度決算及び令和4年度予算 ..... 8 2

### 令和4年度秋季総会

- (1) 秋季各種委員会、技術職員連絡会議、理事会日程 ..... 8 7
- (2) 総会日程、議題等 ..... 8 8

## 理 事 会 次 第

日 時 令和4年5月13日（金） 13：30～15：30  
会 場 東京大学農学部3号館141会議室及びZoomによる  
ハイブリッド開催

- ・ 開会の言葉
- ・ 理事等紹介
- ・ 文部科学省挨拶・講演
- ・ 議 題
  1. 監事の選出について
  2. 令和3年度決算及び令和4年度予算案について
  3. 森林管理技術賞選考結果について
  4. 教育関係共同利用拠点の申請等について
  5. 公開森林実習について
  6. 全国農学系学部長会議への報告事項について
  7. 共同研究について
  8. 年報の発行方式の変更について
  9. その他
- ・ 報告事項
  1. 令和4年度技術職員研修について
  2. 令和4年度秋季総会について
  3. 令和4年度技術職員連絡会議について
  4. 令和3年度演習林で発生した災害被害等について
  5. その他
- ・ 来年度春季理事会の日程について

令和3年度決算及び令和4年度予算案

(単位：円)

	項 目	令和3年度予算	令和3年度決算	比較増△減	令和4年度予算	備 考
		(A)	(B)	(B-A)		
収 入	前年度繰越額	1,289,313	1,289,313	0	1,796,035	
	会費	810,000	810,000	0	810,000	30,000円×27校
	利息		13	13		
	雑収入		0	0		
	当期収入合計	2,099,313	2,099,326	13	2,606,035	
支 出	春季理事会経費	0	0	0		
	秋季総会経費	296,600	0	△ 296,600	296,600	
	通信費	4,000	0	△ 4,000	4,000	
	事務費	30,000	4,704	△ 25,296	30,000	
	表彰経費	50,000	50,304	304	50,000	
	旅費	140,000	0	△ 140,000	140,000	
	公開森林実習関係経費	190,000	162,593	△ 27,407	190,000	ポスター印刷及び送料
	広報活動費	30,000	28,160	△ 1,840	30,000	
	ウェブサイト年間維持管理費	57,000	57,530	530	57,000	
	共同研究助成費	70,000	0	△ 70,000	70,000	
	予備費	1,231,713	0	△ 1,231,713	1,738,435	
	当期支出合計	2,099,313	303,291	△ 1,796,022	2,606,035	
	次年度繰越金		1,796,035			
	合計	2,099,313	2,099,326		2,606,035	



## 令和4年度 秋季各種委員会・技術職員連絡会・理事会

会場：つくば国際会議場

教育関係共同利用拠点検討会

9:00～10:00：「中会議室 201A」(2階)

公開森林実習運営委員会

9:00～10:00：「中会議室 202B」(2階)

森林管理技術賞表彰委員会

9:00～10:00：「中会議室 201B」(2階)

技術職員連絡会議

10:00～12:00：「大会議室 102」(1階)

理事会

10:00～12:00：「中会議室 202A」(2階)

総会

13:15～17:00：「多目的ホール」(1階)

## 秋 季 総 会 次 第

日 時 令和4年9月21日（水）13：15～17：00

会 場 つくば国際会議場（原則対面、オンライン参加も可）  
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3

- ・開会の言葉
- ・挨拶 会長（東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部演習林長）
- ・文部科学省講演
- ・表彰式 第24回森林管理技術賞

- 議 題
1. 第24回森林管理技術賞の選考方針について
  2. 今期監事について
  3. 教育関係共同利用拠点について
  4. 公開森林実習について
  5. 全国農学系学部長会議への報告事項について
  6. 共同研究について
  7. 年報の発行方式の変更について
  8. その他

- 報告事項
1. 令和4年度春季理事会について
  2. 演習林年報第37号について
  3. デジタル森林教育コンテンツについて
  4. 各大学における最近の動向等（トピックス）について
  5. 各大学における災害の発生と対応について
  6. 承合事項について
  7. 技術職員連絡会議の報告等について
  8. 令和5年度春季及び秋季会議の日程等について
  9. その他

## <令和3年度 全国演習林協議会 公開森林実習報告書>

公開森林実習ポスター .....	97
公開森林実習実施状況 .....	98
公開実習報告	
令和3年度 宮崎大学公開実習「日本一の照葉樹林とスギ林業」 .....	99

## 令和4年度公開実習ポスター



あなたが実習でいつも訪れる森はどのようなところでしょうか。日本国内には北から南まで様々なタイプの森林があります。いつもの見慣れた森だけではなく、いろんな森に入りたいと思いませんか？ この公開森林実習は、あなたの大学の授業として他の大学の実習を受けられる仕組み（単位互換制度）です。

# 日本の森を制覇しよう2022

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>筑波大学 森林水文・砂防学実習</b> 2022年7月19日～7月22日<br/>                 テーマ：流域という視点に立ち森林における水や土砂の移動を理解する<br/>                 場 所：筑波大学筑波キャンパスおよび周辺地域</p>                                   | <p><b>京都大学 夏の北海道東部の人と自然の関わり</b><br/>                 2022年8月7日～8月10日<br/>                 テーマ：道東の森林や自然環境と人のつながりを学ぶ<br/>                 場 所：京都大学北海道研究林</p>                                   |
| <p><b>静岡大学 富士・南アルプス生態学実習</b><br/>                 2022年8月8日～8月10日<br/>                 テーマ：暖温帯から森林限界までの生態系サービス<br/>                 場 所：静岡大学フィールドセンターの3つのフィールド</p>                 | <p><b>京都大学 森里海連携学実習Ⅰ</b> 2022年8月8日～8月12日<br/>                 テーマ：由良川流域の森から海までを複合したひとつの生態系として捉える<br/>                 場 所：京都大学養鱈水産実験所および芦生研究林</p>  |
| <p><b>東京大学 公開森林実習</b> 2022年8月22日～8月26日<br/>                 テーマ：溪流と土砂の測量実習 一地形や山から川に流れ出る土砂を測ろう<br/>                 場 所：東京大学生態水文学研究所</p>   | <p><b>岩手大学 冷温帯林と持続的森林・林業</b><br/>                 2022年8月22日～8月26日<br/>                 テーマ：森林観察や文化学習を通じた冷温帯林の植生や森林利用・管理<br/>                 場 所：岩手大学御明神演習林・滝沢演習林・八幡平ほか</p>                 |
| <p><b>信州大学 森林利用デザイン演習</b> 2022年8月23日～8月26日<br/>                 テーマ：木材搬出技術および森林経営デザイン能力の習得<br/>                 場 所：信州大学手長沢山ステーション</p>   | <p><b>島根大学 山陰のもり入門</b> 2022年8月23日～8月25日<br/>                 テーマ：広葉樹林と針葉樹人工林の対比の中で山陰のもりを観察する<br/>                 場 所：島根大学三瓶演習林ほか</p>  |
| <p><b>信州大学 木材工学演習</b> 2022年8月23日～8月26日<br/>                 テーマ：各種の道具や機械を用い演習林の間伐材を加工しベンチを製作する<br/>                 場 所：信州大学構内ステーション</p>   | <p><b>岩手大学 森林インターンシップ</b> 2022年8月29日～9月2日<br/>                 テーマ：高性能林業機械操作体験等を通じた冷温帯林の森林・林業技術の学習<br/>                 場 所：岩手大学御明神演習林・滝沢演習林ほか</p>   |
| <p><b>琉球大学 亜熱帯林体験実習</b> 2022年8月29日～9月1日<br/>                 テーマ：世界自然遺産の亜熱帯林を有する「やんばる地域」での人と自然の共生<br/>                 場 所：琉球大学与那フィールドおよび周辺地域</p>                                  | <p><b>北海道大学 野生動物管理実習</b> 2022年8月29日～9月2日<br/>                 テーマ：動物生態学のためのフィールド調査技術の習得<br/>                 場 所：北海道大学苫小牧研究林</p>   |
| <p><b>高知大学 森林フィールド演習</b> 2022年8月30日～9月2日<br/>                 テーマ：植生・毎木調査、森林遷移の観察、炭焼き、野焼き<br/>                 場 所：高知大学嶺北フィールド</p>   | <p><b>信州大学 山岳環境保全学演習</b> 2022年8月30日～9月2日<br/>                 テーマ：高山～亜高山帯の動植物、登山道・山小屋からみた山岳環境の保全<br/>                 場 所：信州大学西駒ステーション</p>   |
| <p><b>北海道大学 森林保全実習</b> 2022年9月5日～9月9日<br/>                 テーマ：自然科学と社会科学の視点から北海道の自然資源管理を読み解く<br/>                 場 所：北海道大学雨竜研究林</p>   | <p><b>新潟大学 フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習</b><br/>                 2022年9月5日～9月8日 / 9月12日～9月15日<br/>                 テーマ：野外調査を安全に遂行するための実践的トレーニング<br/>                 場 所：新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林</p> |
| <p><b>信州大学 自然の成り立ちと山の生業演習</b><br/>                 2022年9月6日～9月9日<br/>                 テーマ：中部山岳域における自然の成り立ちと山の生業<br/>                 場 所：信州大学西駒・構内・手長沢山ステーション</p>                 | <p><b>三重大学 公開森林実習</b> 2022年9月6日～9月9日<br/>                 テーマ：源流域森林における多面的機能の保全と利用を考える<br/>                 場 所：三重大学平倉演習林他</p>   |
| <p><b>京都大学 近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴</b><br/>                 2022年9月7日～9月9日<br/>                 テーマ：近畿地方の奥山・里山の森林生態系の特徴と課題、森と人の関わり<br/>                 場 所：京都大学上賀茂試験地・芦生研究林・北白川試験地</p> | <p><b>京都府立大学 温帯針葉樹林実習</b> 2022年9月13日～9月16日<br/>                 テーマ：温帯性針葉樹を代表するスギ天然林調査とその植生史<br/>                 場 所：京都府立大学大野演習林</p>  |
| <p><b>九州大学 生態水文学実習</b> 2022年9月12日～9月15日<br/>                 テーマ：森林生態系における水・物質循環に関する研究プロジェクトを実施<br/>                 場 所：九州大学宮崎演習林</p>   | <p><b>筑波大学 森林生態学公開実習</b> 2022年9月12日～9月16日<br/>                 テーマ：様々な遷移段階にある森林の毎木調査・林床植物調査・ロープ木登り<br/>                 場 所：筑波大学菅平高原実験所</p>  |
| <p><b>京都大学 森林・里山の生態系サービスを学ぶ</b><br/>                 2022年10月～12月の土曜日に5回<br/>                 テーマ：森林・里山の生態系サービスを体験的に学ぶ<br/>                 場 所：京都大学上賀茂試験地</p>                     | <p><b>信州大学 農林フィールド基礎実習</b><br/>                 2022年10月1～2日・8～9日<br/>                 テーマ：森林から農地までの自然をまなび、水・人・緑のつながりを考える<br/>                 場 所：信州大学構内ステーション他</p>                         |
| <p><b>北海道大学 森林空間機能学演習</b> 2023年2月10日～2月13日<br/>                 テーマ：冬の北海道で森林のもつ機能を学び、発表し、議論する<br/>                 場 所：北海道大学中川研究林</p>  | <p><b>宮崎大学 日本一の照葉樹林とスギ林業</b><br/>                 2023年2月28日～3月3日<br/>                 テーマ：常緑広葉樹林の植生、利活用と保全およびスギ林林業<br/>                 場 所：宮崎大学田野フィールド、綾コネスエコパーク他</p>                      |
| <p><b>山形大学 雪山実習</b> 2023年2月20日～2月22日<br/>                 テーマ：積雪環境について理解を深め雪と森林の相互関連について学ぶ<br/>                 場 所：山形大学上名川演習林</p>   | <p><b>鹿児島大学 屋久島の森と人</b> 2023年3月14日～3月17日<br/>                 テーマ：屋久島の自然と人の関わり（「大隅の森と人」との連続の受講を推奨）<br/>                 場 所：屋久島</p>  |
| <p><b>北海道大学 暖温帯林施業実習</b> 2023年3月6日～3月10日<br/>                 テーマ：南紀熊野における森林施業と照葉樹林<br/>                 場 所：北海道大学和歌山研究林</p>   | <p><b>鹿児島大学 大隅の森と人</b> 2023年3月18日～3月21日<br/>                 テーマ：森林や自然環境と密接に関わる地域の暮らしと文化について学ぶ<br/>                 場 所：鹿児島大学高隈演習林および大野地区</p>  |



くわしくは  
「公開森林実習」で検索！

全国大学演習林協議会



令和3年度 全国大学演習林協議会 公開森林実習実施状況

大学名	実習名	日程	受講者数			備考
			協定内	協定外	合計	
京都大学	森林・里山の生態系サービスを学ぶ	令和3年10月9日～12月11日	0	6	6	大学コンソーシアム 京都に科目提供
岩手大学	冷温帯林と持続的森林・林業	令和3年8月30日～9月3日	1	0	1	オンライン
京都大学	近畿地方の奥山・里山の森 林とその特徴	令和3年9月8日～10日	2	8	10	オンライン
筑波大学	森林生態学公開実習	令和3年9月26日～30日	0	7	7	
北海道大学	森林空間機能学演習	令和4年2月11日～2月14日	1	0	1	
宮崎大学	日本一の照葉樹林とスギ林業	令和4年2月22日～2月24日	4	1	5	オンライン
鹿児島大学	屋久島の森と人	令和4年3月14日, 3月23日	20	1	21	オンライン
鹿児島大学	大隅の森と人	令和4年3月14日, 3月23日	13	1	14	オンライン
合計			41	24	65	

令和3年度の宮崎大学の公開森林実習「日本一の照葉樹林とスギ林業」は令和4年2月にオンラインで実施されました。当初は現地開催の予定で7名の希望者があったのですが、1月にオンラインに切り替えた後には2名減り、最終的に5名の学生が受講しました。

1日目はあらかじめ送付した60種ほどの葉サンプルを用いて同定の実習を行いました。常緑広葉樹だからこそ可能な方法です。チャットで種名を正確に伝えられるのは利点です。一方あえてサンプルは個体識別せずに送付したので、そのサンプルが本当に今、説明されているその種なのかは分かりにくいものもあったようです。

2日目の午前中は綾の照葉樹林について1時間ほど講義をしたのち、事前に撮影した現地の動画をみてもらいました。ただ見ているだけだと授業らしくありません。そこで毎木調査をしている動画を撮影し、動画の中で読み上げられる測定値は各自記録してもらい、後のレポートのためのデータとしました。動画の撮影はジンバルカメラ (DJI Pocket 2) をヘルメットの側面に取り付け、撮影者と同じ目線の動画が撮影できるようにしました。

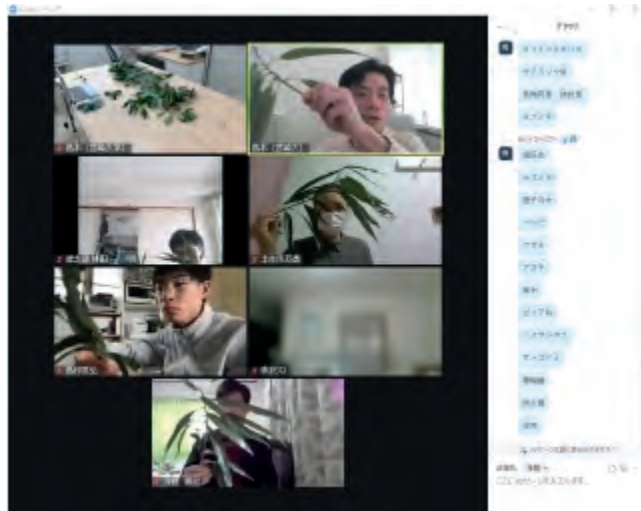
2日目の午後は、田野フィールド (演習林) 内のモニ1000サイトから、zoomアプリをインストールしたスマホを使ってライブ中継紹介をしました。携帯回線がほぼ全域で使える田野フィールドの利点です。ただし回線状況が良くてもzoomのシステムを通すときにコマ落ちするようです。谷底などで回線状況が悪くなるとさらにひどくなります。見ている方もつらかったようです。ライブ配信アプリを使うと良いのかもしれませんが。

3日目はオビスギの古い造林地である三ツ岩林木遺伝資源保存林に関する講義と、田野フィールド内の古いヨシノスギ林分のライブ中継をしました。午後は綾と田野の照葉樹林に関するレポートを各自作成してもらいました。

言葉や資料で伝える内容自体は対面でもオンラインでも変わらないので情報量としてはオンラインでも劣りはしないはずですが、言うまでも無く「実」体験ではないので、「実」習としての成果の評価は難しいのかもしれませんが。なお、受講生の感想と綾で撮影された動画の一部は田野フィールドのウェブサイトで公開されています。

[https://www.fsc.miyazaki-u.ac.jp/muf/excursions\\_and\\_event/excursions/1935/](https://www.fsc.miyazaki-u.ac.jp/muf/excursions_and_event/excursions/1935/)

宮崎大学農学部・高木正博



## <全国大学演習林協議会規約類・会員名簿>

全国大学演習林協議会規約	103
森林管理技術賞授与規定	105
公開森林実習運営委員会内規	107
全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則	108
全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ	109
全国大学演習林協議会会員名簿（令和4年11月1日現在）	110

# 全国大学演習林協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本会は全国大学演習林協議会と称し、その事務局を会長の所属する大学（会長校）に置く。

(会員)

第2条 本会は全国大学の演習林長またはこれに準ずるものをもって構成する。

(目的及び事業)

第3条 本会は森林科学を中心とする教育研究の発展に資するため、演習林等に関する調査及び研究を行い、各大学相互間の連絡を図り、あわせて演習林等の整備並びに改善の促進を期することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 演習林等の設置並びにその整備に関する協議、研究、調査
- (2) 演習林等の運営（予算、定員、試験研究項目、学生演習等）に関する調査及び研究
- (3) 演習林等に関する資料の収集及び整備
- (4) 各大学演習林等における相互の連絡調査
- (5) 関係当局への上申並びに当局の諮問に対する答申
- (6) 大学演習林等における職員の教育支援、研究支援、維持管理に関する貢献に対する表彰
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(年報の発行)

第5条 本会に大学演習林年報編集部を置き、年1回年報を発行する。  
編集部には部長を置き編集及び発行に関する事務の処理にあたる。

(役員及び期間)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名
  - (2) 副会長1名
  - (3) 理事若干名
  - (4) 監事2名
- 2 会長は本会を代表し会務を統轄する。
  - 3 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時、会長の職務を代理する。
  - 4 理事は会長の統轄のもと会務を処理する。
  - 5 監事は会務の監査を実施し、理事会に監査報告を行う。
  - 6 役員の実選方法については別に定める。

第7条 役員の実任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

(総会)

第8条 総会は必要に応じて会長が召集する。

会員の3分の1以上の要求があったときは、会長は総会を招集しなければならない。  
会長が適当と認めるときは、総会の招集に代えて書面による表決を求めることがで



きる。

第9条 総会の議長は会長がこれに当たる。

第10条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決め、可否同数のときは議長がこれを決める。

第11条 総会で議すべき事項は次の通りとする。

- (1) 演習林等の設置及び運営に関する協議、研究、調査事項の審議
- (2) 予算決算
- (3) 規約の制定及び変更
- (4) その他の重要な事項

(顧問)

第12条 本会に顧問若干名を置くことができる。

会長は総会の承認を経て顧問を委嘱する。

顧問は会長の諮問に答え、又は必要に応じ総会に出席し意見をのべるものとする。

(理事会及び委員会)

第13条 本会に会長が必要と認めた事項の検討及び審議並びに総会の審議事項の調整等を行うため、理事会を置く。

理事会は会長、副会長、理事で構成する。

理事会の議長は会長がこれに当たる。

理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

理事会は必要に応じて会長が招集する。

(会費及び会計)

第14条 本会の経費は次に掲げるものをもって支弁する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金
- (3) その他収入

第15条 本会の会費は1カ年30,000円とする。

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

附 則

この規約は、昭和26年5月28日より施行する。

< 中間の改正規約の附則は省略した。 >

附 則

この規約は、平成16年5月12日より施行する。

附 則

この規約は、平成20年9月18日より施行する。

附 則

この規約は、平成25年12月20日より施行する。

## 森林管理技術賞授与規程

第1条 全国大学演習林協議会規約第4条第6項に基づき、森林管理技術賞表彰委員会（以下「委員会」という）を以下のように定める。

第2条 委員会は、大学演習林等における教育・研究への貢献もしくは演習林等の維持管理に関する貢献に対する森林管理技術賞の選考を行う。

第3条 授賞の対象は、大学演習林等の職務にあたる職員とし、以下の各号のいずれかに該当するものについて、それぞれ若干名を対象とする。

- 1) 特別功労賞：長きにわたり演習林等の教育・研究基盤の整備を通じてその発展に多大な貢献をしたもの
- 2) 技術貢献賞：優れた森林管理技術の開発もしくは普及に多大な貢献をしたもの
- 3) 学術貢献賞：重要な教育・研究材料の収集・提供・公開を通じて学術的もしくは社会的に多大な貢献をしたもの
- 4) 若手奨励賞：応募時の年度に40歳未満あるいは採用後10年未満の職員で、演習林等の維持管理を通じて教育研究・地域連携に顕著な貢献をしたもの

第4条 委員会の委員は全国大学演習林協議会の各ブロックから選出し、会長が委嘱する。委員長は全国大学演習林協議会副会長に委嘱する。

- 2 委員長及び委員の任期は2年とする。
- 3 副委員長は次期会長選出予定ブロックの委員の互選により決定する。委員長に事故あるときは副委員長が委員長の任務を代行する。
- 4 委員長が任期途中で辞任したとき、会長は後任の全国大学演習林協議会副会長を委員長に委嘱し、後任委員長の任期は前任者の残任期間とする。
- 5 委員が任期途中で辞任したとき、全国大学演習林協議会の当該ブロックは委員を選出することができるものとし、選出された委員は会長が委嘱する。後任委員の任期は前任者の残任期間とする。

第5条 森林管理技術賞の選考手続きを以下のように定める。

委員会は毎年全国大学演習林協議会の会員大学より候補者の推薦を募る。

委員会では協議の結果多数意見をもって森林管理技術賞の選考を行い、委員長は報告書を添えてその結果を会長に報告する。

第6条 会長は選考結果を理事会に諮り、森林管理技術賞の受賞者を決定する。

### 附 則

この規定は、平成10年9月17日より施行する。

この規定は、平成12年9月19日より施行する。

この規定は、平成19年9月19日より施行する。

この規定は、平成20年9月18日より施行する。

この規定は、平成22年9月16日より施行する。

この規定は、平成26年9月25日より施行する。

この規定は、令和元年9月19日より施行する。

# 公開森林実習運営委員会内規

平成21年 5月 8日制定  
平成22年 5月 7日改正  
平成23年 9月15日改正  
平成24年 9月20日改正  
平成26年 9月25日改正

## 1. 設置目的

全国の大学演習林が共通履修科目として開講する「公開森林実習」について、情報の一元化、別々の大学によって実施される実習科目の統一性の確保、開講にむけての側面支援等をスムーズに行うために、全国大学演習林協議会（以下「全演協」という。）の中に「公開森林実習運営委員会」を設置する。

## 2. 委員会の構成と委員長

1) 委員会は次に掲げる委員をもって構成する。

- ① 公開森林実習実施校の担当者
- ② 委員長が指名する者

2) 委員長は委員の互選により定める。

3) 委員会に事務局をおき次の事項を取り扱う。

- ① 実施計画の取りまとめ
- ② 年度活動のとりまとめおよび報告書作成
- ③ ウェブサイトの管理
- ④ ポスター作成
- ⑤ その他

## 3. 委員の任期

委員長及び委員の任期は、春季会議終了後から2年間とする。

## 4. 委員会の開催

委員長は、必要に応じて、原則として全演協の春季会議及び秋季総会時に委員会を招集し、会議を開催する。委員会の結果は会長に報告し、必要に応じて会員校に報告する。

## 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則

### 1. 名 称

本会は「全国大学演習林協議会技術職員連絡会議」（以下「技術職員連絡会議」と称する。

### 2. 設置目的

技術職員相互の情報交換を通じて技術の向上を図り、各大学の演習林等の運営に寄与することを目的とする。

### 3. 組 織

- ①技術職員連絡会議は、全国大学演習林協議会に所属する大学の技術職員をもって構成する。
- ②各大学においては、代表技術職員又は連絡担当者を選定する。
- ③相互の連絡調整として事務局を置く。
- ④事務局は、全国大学演習林協議会会長校に置き、事務局長は同校の技術職員が務め、他の技術職員がこれを補佐する。

### 4. 会 議

- ①開催は、原則として年1回とし、その時期は全国大学演習林協議会秋季総会時とする。
- ②会議では、技術職員相互の情報及び意見の交換を行うとともに、技術職員に関わる諸問題についての検討を行う。

### 5. 連絡体制

- ①事務局は、代表技術職員・連絡担当者名簿を各年度の4月1日現在で作成し、会員大学に送付する。
- ②各大学の代表技術職員・連絡担当者は、年度途中に、それぞれに異動があった場合、その都度、事務局に連絡するものとし、事務局はその都度、新たな代表技術職員・連絡担当者名簿を会員大学に送付する。

### 6. 報 告

技術職員連絡会議において要望等がまとめられ、事務局から全国大学演習林協議会総会に報告するものとする。

#### 附 則

この会則は、平成16年5月12日から施行する。

#### 附 則

この会則は、平成17年9月15日から施行する。

#### 附 則

この会則は、平成20年9月18日より施行する。

## 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ

全国大学演習林協議会規約（昭和26年5月28日施行）第6条から第8条に基づき、役員を選出に関して次のように定める。

### 1. 会長

- (1) 北海道大学、東京大学、京都大学、九州大学を会長持ち回り校とし、その演習林等の長から輪番で会長を選出し、総会へ推薦し、決定する。
- (2) 任期途中で会長を交代する場合は、当該会長選出大学の次期演習林等の長を選出する。
- (3) 会長を決定するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

### 2. 理事及び副会長

- (1) 理事は、会長が選出された大学を除く以下の大学の演習林等の長とし、会長が委嘱する。
  - (i) 前条(1)に規定する会長持ち回り校
  - (ii) 下記4つのブロックのうち、会長が選出された大学が所属するブロックの大学
    - ① 北ブロック(6大学)  
北海道大学、岩手大学、東北大学、山形大学、宇都宮大学、新潟大学
    - ② 東ブロック(8大学)  
東京大学、東京農工大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、日本大学、東京農業大学、玉川大学
    - ③ 西ブロック(7大学)  
京都大学、名古屋大学、岐阜大学、三重大学、京都府立大学、鳥取大学、島根大学
    - ④ 南ブロック(6大学)  
九州大学、愛媛大学、高知大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学
- (2) 理事の互選により理事の内1名を副会長に選出し、会長が委嘱する。
- (3) 任期途中で理事及び副会長を交代する場合は、当該役員選出大学の次期演習林等の長を選出する。
- (4) ブロックの構成の変更は、総会の承認を経るものとする。
- (5) ブロックの構成変更を承認するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

### 3. 監事

- (1) 監事は、その任期が理事会を担当する任期と重ならないブロックの会長持ち回り校以外から1名ずつを会長が推薦し、総会の承認を経るものとする。
- (2) 会長、副会長、理事、各種委員会委員長は監事を兼ねることができない。
- (3) 監事は原則として4月以降春季理事会までに前年度の会務監査を実施する。
- (4) 任期途中の監事を交替する場合は、当該監事選出大学の次期演習林等の長を推薦する。
- (5) 監事を承認するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求めることができる。

#### 附 則

この申し合せは、平成25年12月20日から施行する。

#### 附 則

この申し合せの施行後最初に選出された監事の任期は、平成27年3月31日までとする。

#### 附 則

この申し合せは、平成26年9月25日から施行する。

全国大学演習林協議会会員名簿（R4年11月30日現在）

	大学名	郵便番号	住所	電話番号		林長等名
北 ブ ロ ッ ク	1 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	060-0811	札幌市北区北11条西10丁目	011-706-2520		柴田英昭
	2 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	020-8550	岩手県盛岡市上田三丁目18-8	019-621-6234 019-621-6231		山本信次
	3 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	989-6711	宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229-84-7311		小倉振一郎
	4 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	997-0369	山形県鶴岡市高坂字古町5-3	0235-28-2880		菊池俊一
	5 宇都宮大学農学部附属演習林	329-2441	栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556	0287-47-0057		大久保達弘
	6 新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	952-2206	新潟県佐渡市小田94-2	0259-78-2613		梶本卓也
東 ブ ロ ッ ク	7 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	113-8657	東京都文京区弥生1-1-1	03-5841-5227		久保田耕平
	8 東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	183-8509	東京都府中市幸町3-5-8	042-367-5813		吉田智弘
	9 筑波大学山岳科学センター	305-8577	茨城県つくば市天王台1-1-1	029-853-4629		津村義彦
	10 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	399-4598	長野県上伊那郡南箕輪村8304	0265-77-1441		春日重光
	11 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	426-0001	静岡県藤枝市仮宿63	054-641-9500		今泉文寿
	12 日本大学生物資源科学部演習林	252-0880	神奈川県藤沢市亀井野1866	0466-84-3966		太田祐子
	13 東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	198-0212	東京都西多摩郡奥多摩町氷川2137	0428-83-3351 03-5477-2235		根本 唯
	14 玉川大学農学部農産研究センター	194-8610	東京都町田市玉川学園6-1-1	042-739-8296 042-739-8294		山崎 旬
西 ブ ロ ッ ク	15 名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド	464-8601	愛知県名古屋市中千種区不老町	052-789-4181		梶村 恒
	16 岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	501-1193	岐阜県岐阜市柳戸1-1	058-293-2972		石田 仁
	17 三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター-附帯施設演習林	514-8507	三重県津市栗真町屋1577	059-231-9514		石川知明
	18 京都大学フィールド科学教育研究センター	606-8502	京都府京都市左京区北白川追分町	075-753-6442		徳地直子
	19 京都府立大学生命環境学部附属演習林	606-8522	京都府京都市左京区下鴨半木町1-5	075-703-5681 075-703-5627		隅田明洋
	20 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	680-8553	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	0857-31-5604		山中啓介
	21 島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	690-1102	島根県松江市上本庄町2059	0852-32-6590		山下多聞
南 ブ ロ ッ ク	22 愛媛大学農学部附属演習林	790-8566	愛媛県松山市樽味3-5-7	089-946-9538		杉元宏行
	23 高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	783-8502	高知県南国市物部乙200	088-864-5137		鈴木保志
	24 九州大学農学部附属演習林	811-2415	福岡県糟屋郡篠栗町大字津波黒394	092-948-3117 092-948-3100		古賀信也
	25 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター-田野フィールド（演習林）	889-1702	宮崎県宮崎市田野町乙11300	0985-86-0036		高木正博
	26 鹿児島大学農学部附属演習林	890-0065	鹿児島県鹿児島市都元1-21-24	099-285-3532		井倉洋二
	27 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	903-0213	沖縄県中頭郡西原町字千原1	098-895-8772		モハメド・アムザド・ホサイン

東北大学は昭和60年度以降オブザーバー校として参加

電話番号欄の二段書きは、上段林長室、下段研究室



令和5年3月20日 発行

編集発行責任者

全国大学演習林協議会

会長 久保田 耕平

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1